

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート
報告書
2017年度

聖マリアンナ医科大学
田園調布学園大学

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート
報告書
2017年度

聖マリアンナ医科大学
田園調布学園大学

目次

I. 調査組織	3
II. 調査概要	4
1. 調査目的	4
2. 調査対象	4
3. 調査期間	4
4. 調査方法	4
5. 調査項目	5
6. 回収状況	5
7. 調査結果の概要と考察	5
1) 基礎調査の結果概要	5
2) 地域の医療について	6
3) 災害時における行動や医療について	8
4) 日常生活について	10
III. 調査結果と分析結果	
「宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート」	15
1. アンケート単純集計結果	15
2. 宮前区民の地域の医療と災害に関する分析結果（クロス集計）	55
3. 宮前区民の福祉・生活に関する分析結果（クロス集計）	87
IV. 調査票	
宮前区のくらしを豊かにするためのアンケート調査票原本	115

I. 調査組織

本調査は、平成 28 年 7 月 1 日に締結された聖マリアンナ医科大学・田園調布学園大学・宮前区の 3 者協定に基づき、宮前区民の医療・福祉に関する意識調査に係る業務委託を受けて実施したものである。

<調査代表者>

◆聖マリアンナ医科大学 予防医学教室

高田 礼子

本橋 隆子

◆田園調布学園大学 心理福祉学科

小林 俊子

小平 隆雄

<調査協力者>

◆宮前区役所保健福祉センター 地域みまもり支援センター

Ⅱ．調査の概要

1. 調査目的

平成 28 年 7 月 1 日、聖マリアンナ医科大学、田園調布学園大学及び川崎市宮前区の 3 者は、保健・医療・福祉、教育等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に連携して取り組むことを目的に、連携協定を締結した。

この協定に基づく取り組みとして、宮前区における全世代を通じた安心・安全な生活の実現のための地域包括ケアシステムの推進に向けて、宮前区民を対象とした意識調査を実施し、その結果を大学と行政、住民が共有し、住民への啓発活動について検討する。

調査は、平成 28 年度にプレ調査、平成 29 年度に本調査を実施した。平成 28 年度のプレ調査では、聖マリアンナ医科大学は医療に関する意識調査、田園調布学園大学は福祉に関する意識調査を個別に実施した。平成 29 年度の本調査では、平成 28 年度のプレ調査の結果に基づき、両大学が協働して「宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート」を実施し、医療と福祉の視点から生活上の課題を把握することで、今後進めていく地域医療体制の整備や災害対策、地域福祉の実現に資することを目的とし、区民の意識調査を実施した。

2. 調査対象

平成 29 年 8 月 23 日現在、神奈川県川崎市宮前区に住む 30 歳以上の男女 1,000 名を調査対象とした。調査対象者の抽出は、市民文化局戸籍住民サービス課に依頼し、住民基本台帳ネットワークシステムから性・年齢階級別に無作為に抽出した。

3. 調査期間

平成 29 年度 9 月 1 日から 9 月 20 日まで

4. 調査方法

平成 28 年度のプレ調査の結果に基づき、聖マリアンナ医科大学と田園調布学園大学の協働で自記式の調査票を作成した。調査形式は郵送調査を行った。調査票の発送・回収は宮前区役所が実施し、匿名化したデータを両大学が分析した。なお、調査への参加は、調査票の回収をもって調査への同意が得られたものとした。

5. 調査項目

調査票は、「Ⅰ. 基礎調査」「Ⅱ. 地域の医療について」「Ⅲ. 災害時の行動と医療について」「Ⅳ. 日常生活について」の4項目について、36の質問を設定した。(詳細は p117-136 の調査票原本を参照)

Ⅰ. 基礎調査 (7 質問)

性別、年齢、居住(町域・年数・形態)、家族構成、職業について

Ⅱ. 地域の医療について (9 質問)

現在の居住地域の医療施設の充足・満足度、かかりつけ医療機関の有無、休日・夜間の医療体制の充足度、充実してもらいたい医療機能、在宅療養に対する意識について

Ⅲ. 災害時における行動や医療について (7 質問)

災害への備えに対する意識、災害時の助け合いに対する意識、災害時の医療に対する意識、災害時に医療機関に求めるサービス、災害時のお薬管理について

Ⅳ. 日常生活について (13 質問)

近所の方とのつきあいに対する意識、地域活動への参加の意識、近所の方との助け合いに対する意識、見守り支援活動に対する意識、リタイア後の就労に対する意識、日常生活における地域環境について、地域包括ケアシステムの理解度

6. 回収状況

調査票回収数は 425 件 (42.5%)

7. 調査結果の概要と考察

1) 基礎調査の結果概要 (結果の詳細は p 17-20)

回答者は、男 205 人 (49.3%)、女性 211 (50.7%) であった。年齢は 30-49 歳 158 人 (38.0%)、50-64 歳 111 人 (27.7%)、65 歳以上 147 人 (35.3%) であった。居住年数は 20 年以上が 154 人 (37.1%) で最も多く、持ち家(一戸建て・マンション)は 305 人 (73.5%) であった。同居している家族は、配偶者が 316 人 (76.0%)、子どもが 236

人（56.7%）が多かった。

本調査の回答者は男女比が等しく、30-49歳の子育て世代の回答者も多かったため、医療や災害、福祉に対する性別や年齢による意識の違いを把握することができると思われる。

2) 地域の医療について（結果の詳細は p21-28, p57-81）

①医療施設（病院・診療所）について

病院の数は、「多い、特に不便を感じていない」が55.3%、「少ない」が32.3%であった。年代別にみると、どの年代においても約30%の人が「少ない」と感じている一方で、30-49歳の約20%が「わからない」と回答し、他の年齢と比較して多かった。また、受診したいと思う病院があるかについては、48.3%が「ある」、31.5%が「ない」、20.3%が「わからない」と回答していた。年代別に比較すると、30-49歳は「わからない」、50-64歳は「ない」、65歳以上は「ある」が、他の年代と比べて多かった。

以上の結果から、30-49歳は他の年代に比べ「わからない」との回答している人が多く、病院に関する情報が不足していると考えられる。今後は、若い世代への病院情報の普及が必要と考えられる。

次に診療所の数は、「多い、または特に不便を感じていない」が76.7%、「少ない」が16.9%で、病院に比べ「多い、特に不便を感じていない」と感じている人が多かった。しかし、地域別に比較してみると、水沢・潮見台・菅生ケ丘・菅生・初山地区では「少ない」と感じている人が他の地域に比べ多かった。地域別の診療所数を調べたところ、地域によつてばらつきがみられた。また、受診したいと思う診療所があるかについては、71.2%が「ある」と回答していた。特に、65歳以上では82.7%が「ある」と回答し、他の年代に比べて多かった。

以上の結果から、65歳以上では居住地域における診療所やクリニックの満足度は高く、かかりつけの医療機関も74.3%が「ある」と回答していることから、宮前区の高齢者には「かかりつけ医」制度が浸透してきていると考えられる。

②今後、より充実して欲しい医療機能について

居住地域の医療体制でより充実して欲しい医療機能の上位5つは、「救急医療（夜間・休日の医療）」（57.9%）、「在宅医療」（23.0%）、「小児医療」（14.6%）、「がん医療」（14.1%）、「脳疾患医療」（13.2%）であった。

夜間・休日の医療については、42.0%が夜間・休日対応の医療施設数が「少ない」と感

じていた。一方で、休日・夜間診療に対応している医療施設や問い合わせ先を「知らない・わからない」と回答している人は32.1%いた。この結果から、休日・夜間対応の医療機関の数を充実させることも重要であるが、まずは休日・夜間に対応している医療施設の情報や問い合わせ先を普及させることが重要と考える。

また、休日・夜間診療に対応している医療施設の数について、子どもと同居している人や女性、30-39歳で「少ない」と感じている人が多かった。また、子どもと同居している人は休日・夜間診療に対応している医療施設や問い合わせ先についても「知っている」と回答している人が多かった。以上の結果より、子どもと同居している人は、休日・夜間診療に対応している医療施設についての情報は知っているにもかかわらず、「少ない」と感じている。よって、どのような場面で「少ない」と感じているのかを調査し、住民のニーズを把握する必要があると考える。

「在宅医療」については50-64歳、65歳以上の人、「脳疾患医療」については50-64歳の人で充実を望んでいる人が多かった。

「小児医療」は、他の年代に比べ30-49歳、子どもと同居している人で望んでいる人が多かった。また、鷺沼・土橋・犬蔵地区は、他の地域に比べ充実して欲しいと望んでいる人が多かった。鷺沼・土橋・犬蔵地区の小児科を標榜している診療所・クリニックの数を調べたところ、鷺沼と犬蔵では小児科を標榜している診療所の数は0件であった。

③在宅医療について

自分や家族が病気やケガ、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合、病院には入院せずに在宅で療養することは可能かについて、「可能である、または試してみたい」は32.5%、「できれば避けたい、無理である」は67.6%であった。性別や年代による差は見られなかった。この結果から、性別・年代を問わず、在宅療養については消極的であることが考えられる。

自分や家族が長期療養しなければならない場合、誰にどれくらい頼りたいかについて、医療機関や医療専門職（医師、看護師、保健師）、介護サービス業者、市役所・区役所に対しては約80%以上の人々が「とても頼りたい、できれば頼りたい」と回答している一方で、父母（義父母）、兄弟姉妹、友人・知人、近隣住民に対しては約80%以上の人々が「できれば頼りたくない、絶対に頼りたくない、頼れない・いない」と回答していた。

性別では、男性は女性に比べて兄弟姉妹や近隣の住民に対して「絶対に頼りたくない」と考えている人が多かった。一方、女性は男性に比べて配偶者に対して「頼れない・いない」と考えている人が多かった。年代別では、医療専門職（医師、看護師、保健師）や介

介護サービス業者に対して、30-49歳は「とても頼りたい」と思っている人が他の年代に比べて多く、65歳以上では「頼れない」と思っている人が多かった。また、30-49歳では、近隣住民に対しては「できれば頼りたくない」と考えている人が他の年齢に比べて多かった。

自分や家族が長期療養しなければならない場合、公的制度を利用して、介護サービスをどれくらい利用してみたいかについて、居宅療養管理指導、訪問看護、訪問リハビリについては約85%以上の人、「とても利用したい、できれば利用したい」と回答し、訪問介護、訪問入浴介護、通所サービス、短期入所サービスについては約70%以上の人「とても利用したい、できれば利用したい」と回答していた。

性別では、すべてのサービスに対して、女性は「とても利用したい」と考えている人が多かった。一方で、男性は、通所サービスについては「できれば利用したくない」、訪問リハビリテーションと短期入所サービスは「どちらともいえない」と回答している人が多かった。年代別では、64歳以下の方は居宅療養管理指導、訪問看護、訪問リハビリ、通所サービスを「とても利用したい」と考えている人が多く、65歳以上では「できれば利用したくない」「どちらともいえない」と回答している人が64歳以下に比べて多かった。

これらの結果から、長期の医療や介護が必要になった場合、親族に対しても「できれば頼りたくない、頼れない」と考えている人が多く、知人・友人、近隣の住民には「絶対に頼りたくない、頼れない」と思っている。しかし、医療機関や医療専門職（医師・看護師・保健師）には「とても頼りたい、できれば頼りたい」と思っていることから、個人の健康や障害に関する情報を多く含む医療や介護におけるご近所同士の助け合いはハードルが高いのではないかと考える。一方で、女性や64歳以下では、積極的に公的制度を利用しようという意識が見られるが、男性や高齢者では介護サービスの利用に対して抵抗がある人もいる。在宅療養が無理な理由で最も多かったのは「家でお世話する人が確保できない」であったが、介護保険や介護サービスを有効に活用することで、介護する側もされる側も負担軽減につながることを啓発していく必要があると考える。在宅療養についてはハード面での整備ばかりではなく、サービスを利用する人たちへの啓発も重要と考える。

3) 災害時における行動や医療について（結果の詳細は p29-33, p82-85）

①災害や危機に対する備えについて

地震や洪水、土砂崩れなどの自然災害に対する備えをしている人は約50%程度いるのに対し、人的災害や凶悪犯罪、健康に関する危機に対してはほとんど備えをしていなかった。一方で、65歳以上の方は感染症など健康に関する危機の発生に備えをしている人が他の年代と比べて多かった。東日本大震災から7年が経ち、災害に対する意識が薄れてきていると

考える。

次に、防災訓練への参加について、75.4%が「積極的に参加したい、できれば参加したい」と考えている。特に、65歳以上は他の年代と比べ、積極的に参加したいと考えている人が多かった。

②「トリアージ」について

「トリアージ」について、「トリアージ」という言葉を聞いたこともあるし、意味も知っている人は44.1%、聞いたこともないし、意味も知らない人は43.1%であった。年代別に見ると65歳以上では「聞いたこともないし、意味も知らない」と回答している人が他の年代と比較して多かった。この結果から、全世代においてトリアージという言葉が浸透していないことが明らかとなった。災害時に病院の医療スタッフは「トリアージ」に基づいて重症な人から治療を行うが、一般の人たちが「トリアージ」という言葉を理解していなければ、様々なトラブルや混乱が生じる可能性が予想される。よって、すべての世代が平常時から「トリアージ」の意味を理解しておくことが、災害時のパニックを防ぐひとつの手段になると考えられる。

③災害時の行動について

命には危険がなく（極めて軽傷）、自分で動ける程度の病気やけがをした場合について、「市販薬を使い自分で手当てする」が41.8%と最も多かった。年代別では、65歳以上では「避難所（医療救護所）に行く」と回答している人が他の年代に比べ多かった。この結果から、災害時に極めて軽傷で、自分で動ける程度の病気やけがをした場合、すぐに災害拠点病院や災害時救急病院を受診するのではなく、まずは様子を見て、市販薬で手当てをするといった対応を考えている人が多いことが分かった。しかし、実際に災害が起こった場合、とっさに冷静な判断をすることは難しいため、日ごろから診療所や避難所の医療救護所等についての情報を知っておく必要があると思われる。

また、自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきた状況で、医療機関に強く望むもので最も多かったのは、「子どもを優先して診てほしい」であり、全世代が共通して望んでいた。次に「一般外来を早く再開して欲しい」、「医療機関の情報（開院状況等）を知らせてほしい」であった。安定した電気の供給や通信手段の確保が困難な災害時において、タイムリーに医療機関の情報を入手することは難しいと思われる。今後の災害時対策のひとつとして、災害時において誰が、どこで、どのようにして医療機関の情報を発信し、その情報を区民はどのようにして

入手することが可能なのかを検討し、区民に周知しておくことが重要と考える。

4) 日常生活について（結果の詳細は p34-54, p89-114）

①近所の方とのつきあいについて

全体では「生活面で協力しあっている人もいる」11.5%、「日常的に立ち話をする程度」33.1%、「あいさつ程度の最小限のつきあい」46.5%、「つきあいはほとんどない」8.9%であった。

年齢層による比較では、30～64歳では「あいさつ程度の最小限のつきあい」（53.4%）の割合が高く、65歳以上では「日常的に立ち話をする程度」（45.5%）の割合が高かった。性別では女性の方がつきあいの程度が高くなる傾向にあり、特に65歳以上の女性は「生活面で協力しあっている人もいる」（21.8%）の割合が高い。

居住年数による比較では、居住年数が長くなるほど「日常的に立ち話をする程度」の割合が高まり、「あいさつ程度」と「つきあいはほとんどない」の割合が低くなる傾向が見られた。また、住居形態による比較では、「持ち家（一戸建て）」は「日常的に立ち話をする程度」（45.1%）の割合が高い結果となり、「借家（マンション・アパート等）」は「日常的に立ち話をする程度」（20.7%）の割合が低く、「つきあいはほとんどない」（17.4%）の割合が高い結果となった。

近所のつきあいは互助活動を推進する基盤となるものであるため、つきあいの程度を高めていくことが求められる。比較的つきあいの程度が低い、若い人たちや男性、また、居住年数の短い人々、賃貸のマンション・アパート等に住む方を考慮に入れた交流や活動参加の働きかけが有効であると考えられる。

②地域活動について

全体の結果では各種地域活動に「参加していない」が最も多かった。「地域内の祭りや行事」と「町内会・自治会やマンション管理組合の活動」では5割弱、そのほかの地縁活動、サークルやクラブの活動、団体や個人としてのボランティア活動は7割以上の方が参加していない。「継続的に参加」と「時々参加」を合計して割合が高かったものは、「町内会・自治会やマンション管理組合の活動」（36.9%）、「地域内の祭りや行事」（29.9%）であった。年齢層による比較では65歳以上の参加傾向がやや高かった。

地域活動に参加しない・しづらい理由については、全体では「時間的に余裕がない」（40.3%）、「参加するきっかけが得にくい」（35.1%）、「身近に参加したいと思う活動や団体がいない」（26.4%）の順に多かった。年齢層で比較すると、30～64歳においては、「時間

的に余裕がない」(52.0%)、「活動内容に関する情報が発信されていない」(28.3%)、「人間関係がわずらわしいことがある」(27.6%)、「一度参加すると抜けられず、負担が大きくなる」(26.0%)の割合が高く、65歳以上においては「健康・体力に自信がなくなってきた」(27.3%)の割合が高かった。

地域活動に「継続的に参加している」・「時々参加している」理由については、全体では「家族や親戚、友人や知人に勧められたから」(27.1%)と「広報紙、ポスター、チラシ、回覧板などを見て興味を持ったから」(27.1%)が最も多い。年齢層による比較で差があったものとしては、30～64歳では「広報紙、ポスター、チラシ、回覧板などを見て興味を持ったから」(33.3%)の割合が高く、65歳以上では「健康を維持・増進するため」(29.0%)、「自分の経験や技術がいかせるものであったため」(17.4%)、「生きがいとして新たなことに取り組みたいと思ったため」(14.5%)の割合が高かった。

互助活動の推進や、健康維持、生きがいづくりの観点から、多数の方が地域活動の担い手になっていくことが望ましいといえる。今後の取り組みの課題としては、参加のきっかけをつくるための情報発信、参加の負担を軽減させる方法について検討する必要がある。

③介護や子育てなどで悩んだ時の相談先について

30～64歳においては、1番目の相談先では「家族・親族」(59.2%)、2番目では「友人や、職場の知人など」(38.1%)、3番目では「行政や専門機関の相談窓口」(25.6%)の割合が高い。65歳以上においては、すべての順位において「行政や専門機関の相談窓口」の割合が高く(1番目42.1%、2番目23.9%、3番目19.2%)、他に1番目で「家族・親族」(39.7%)、2番目では「普段かかわりのある専門職」(20.5%)の割合が高かった。

年齢層による差が見られたものとしては、30～64歳では「友人や、職場の知人など」、「相談ではなくインターネットや書籍に頼る」、「インターネット上で不特定の人に相談」の割合が高く、65歳以上では「民生委員・児童委員」、「近所の人」が高かった。

65歳以上の方は、公的機関・専門職に頼る傾向が強いといえる。相談窓口の周知を図るとともに、身近な方と相談できるような関係や場を作っていくことが求められる。

④日常生活のお手伝いについて

日常生活に困難を感じている近所の方へのお手伝いについて「機会があれば今後行ってもよい」と回答したもので多かったのは、「声かけや安否確認・見守り」(58.7%)、「ゴミ出しや電球の取り換えなど些細なこと」(50.6%)、「買い物の手伝い」(49.2%)であった。

性別による有意差が見られたものについて、女性の割合が高かったものは、「買い物の手

伝い」(57.7%)、「洗濯の手伝い」(32.7%)、「部屋の掃除」(28.7%)、「お食事・お弁当づくり」(24.5%)、であった。男性の割合が高かったものは、「家具の移動などの力仕事」(46.7%)、「自動車で送迎する」(28.4%)であった。

年齢層も含めて分析すると、30～64歳において女性は、上記にあげたもの以外に「声かけや安否確認・見守り」の割合が高い。また、「自動車で送迎する」は、30～64歳においては性別による有意差はなく、65歳以上において男性が高い割合を示した。

一方、自分が日常生活に不具合が出てきたときに助けてもらいたい相手については、全体的に「公的サービス」(40%前後)に頼る割合が高く、また、「買い物」(38.8%)・「食事の支度」(43.7%)・「自動車での送迎」(35.2%)は「一般の有料サービス」の割合も高い結果であった。「近所の人」や「ボランティア」に頼る割合は低い。この傾向は、年齢層、地域、居住年数、つきあいの程度、地域活動の参加状況によって比較してもほとんど関連がなかった。

しかし、「声かけや安否確認・見守り」について「現在お手伝いをしている」・「機会があれば今後行ってもよい」を選んでいる方が、「定期的に様子を見に来てもらう」について「近所の人」・「ボランティアによる手伝い」を選択する割合が高いことがわかった。お手伝いの活動をすることが、お手伝いを受ける意識につながると考えられる。

現状では近所の人やボランティアによるお手伝い活動を受ける意識が低い結果であったが、「声かけ」・「ゴミ出しなどの些細なこと」・「買い物」といった比較的活動しやすいものから推進していくことで、担い手の増加や、支援を受ける意識を高めていけると考えられる。

⑤近隣での見守り支援活動について

「見守り支援活動」のイメージについては、「日常的に近隣の住民がみんなて互いに支え合う」(34.4%)が最も多かった。その組織や体制としては、「町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤として活動グループをつくる」(28.4%)、「公的機関や福祉施設が主体」(26.2%)の順に多い。65歳以上では「隣り合う5～10軒程度で協力して」(26.4%)の割合が高くなる。住居形態による比較においては、「持ち家(一戸建て)」の方は「隣り合う5～10軒程度で協力して」(31.3%)が、「持ち家(マンション・団地)」の方は「町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤」(45.1%)が高い割合を示した。

見守り支援活動を行う場合の個人情報の提供については、「管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい」(53.4%)が最も多かった。「管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」と回答した方の理由については「情報の流出や悪用の恐

れがある」(76.9%)が最も多く、特に30～64歳では84.8%にもなっている。

見守り支援活動の一環として日常生活上のお手伝いを行う場合の利用料金については、「300～700円ぐらいで謝礼あり」(42.1%)が最も多かった。これは近所の方とのつきあいの程度で比較しても、差が見られなかった。つきあいがあるにしろ、ないにしろ、利用料金・謝礼が介在した方がうまくいくと考える方が多いようである。

見守り支援活動を行っていくことについての意識は低くはないので、各地域や住居形態に応じた組織や体制を構築していくことと、その管理体制や規則を整備し、明確に周知させていくことがこれからの取り組み課題であるといえる。

⑥近隣の環境について不足していると感じること

全体では、「運動やスポーツができる場所(運動公園、体育館など)」(33.5%)、「買い物などの外出の際に一休みするような場所(ベンチ、屋根のある休憩所など)」(29.9%)が多い結果となった。

年齢層による比較では、30～64歳において、「運動やスポーツができる場所」(39.3%)の割合が高い。他には子ども関係の「子どもだけで安全に過ごせる場所(児童館など)」(30.4%)、「子どもたちが自由に遊べる屋外の場所(公園など)」(30.0%)、「小さな子どもを一時的に預かってくれる場所(一時保育など)」(26.1%)の割合が高かった。「買い物などの外出の際に一休みするような場所」は、年齢層を問わず30%程度の回答があった。

今後はこのような環境整備を進めるとともに、その場を交流や地域活動に有効に活用する方策を検討する必要がある。

⑦高齢期の就労について

全体で最も回答が多かったのは「日常生活の支援活動」(24.6%)であった。これは性別や現在の年齢によってもほとんど差はなかった。ボランティアとして日常生活の支援を行う方法だけでなく、就労のような形で活動を推進していくことも一つの方法であるといえる。

現在65歳以上の方において、「働きたいと思わない」は2割程度であった。高齢期の就労は、「日常生活の支援活動」等の担い手として期待されるだけでなく、自身が健康でいきいきとした生活を継続するために有効なことである。今後、高齢者が活躍できる就労の機会の開発や、環境整備を進めていくことが課題である。

⑧「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について

全体の48.2%が「聞いたこともない」であった。30～64歳では57.0%にもなる。特に若い世代に向けての啓発が必要である。

65歳以上の方は、30～64歳に比べて「理解していて、そのための行動をしている」(4.6%)と「理解しているが、そのための行動はしていない」(34.4%)の割合が高いこともわかった。今後さらに理解度を高め、行動につながっていくような取り組みが求められる。

Ⅲ. 調査結果と分析結果

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート

1. アンケート単純集計結果

【集計方法】

(1) 単回答項目について

無記入、無回答は欠損とし、度数分布を作成した。グラフは有効パーセントで作成した。

(2) 多重回答項目について

全ての項目に無記入のものは無回答と判断し、欠損とした。集計表は各項目を選択している数を度数として分布を作成した。グラフは有効回答数を 100 としたパーセント（表中の「ケースのパーセント」）で作成した。

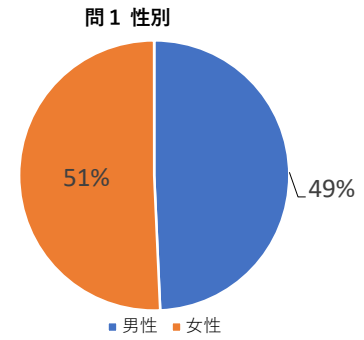
(3) 3 番目まで選択する項目（問 23、問 29）について

無記入も無回答として集計に含めて度数分布を作成した。グラフも無回答を含めた回答数を 100 としたパーセントで作成した。

1. あなたの性別・年齢・お住まいなどについておたずねします。

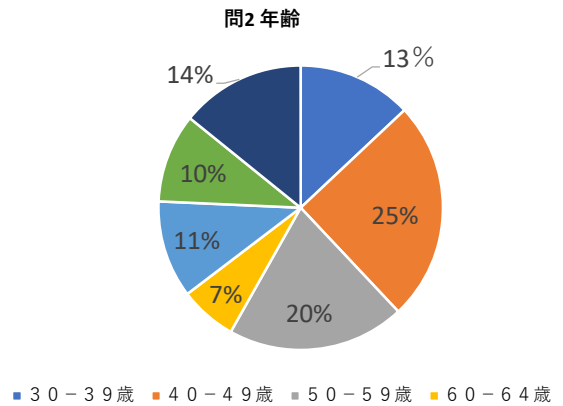
問1 性別

		度数	パーセント
有効	男性	205	49.3
	女性	211	50.7
	合計	416	100.0
欠損値	欠損・無回答	9	
合計		425	



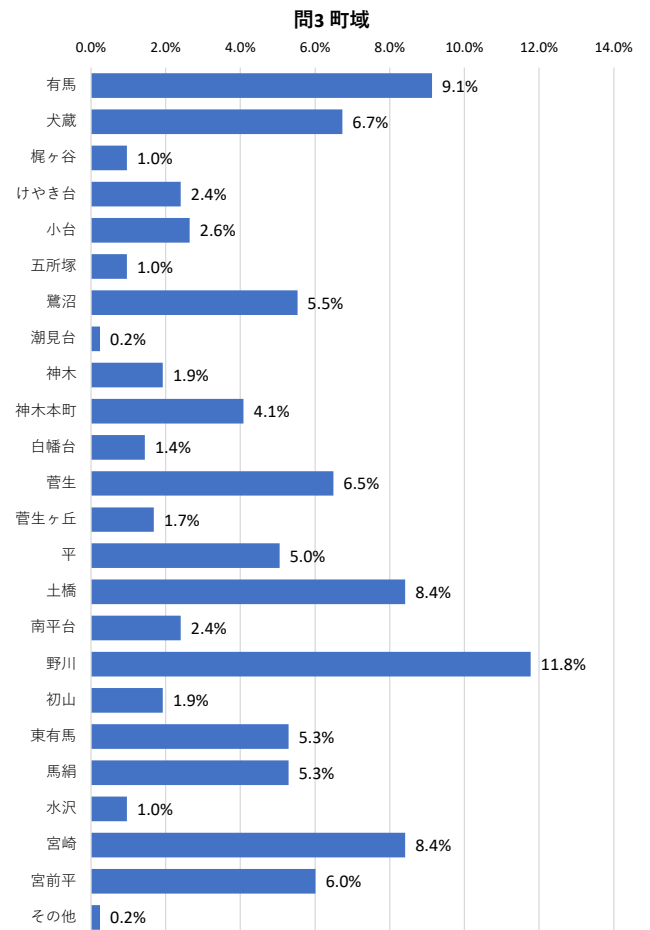
問2 年齢

		度数	パーセント
有効	30-39歳	54	13.0
	40-49歳	104	25.0
	50-59歳	84	20.2
	60-64歳	27	6.5
	65-69歳	46	11.1
	70-74歳	42	10.1
	75歳以上	59	14.2
	合計	416	100.0
欠損値	欠損・無回答	9	
合計		425	



問3 町域

		度数	パーセント	
有効	有馬	38	9.1	
	犬蔵	28	6.7	
	梶ヶ谷	4	1.0	
	けやき台	10	2.4	
	小台	11	2.6	
	五所塚	4	1.0	
	鷺沼	23	5.5	
	潮見台	1	0.2	
	神木	8	1.9	
	神木本町	17	4.1	
	白幡台	6	1.4	
	菅生	27	6.5	
	菅生ヶ丘	7	1.7	
	平	21	5.0	
	土橋	35	8.4	
	南平台	10	2.4	
	野川	49	11.8	
	初山	8	1.9	
	東有馬	22	5.3	
	馬絹	22	5.3	
	水沢	4	1.0	
	宮崎	35	8.4	
	宮前平	25	6.0	
	その他	1	0.2	
	合計	416	100.0	
	欠損値	欠損・無回答	9	
	合計		425	



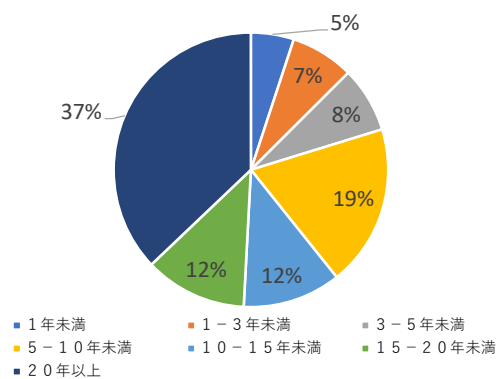
問3 町域その他

		度数	パーセント
有効	空欄	424	99.8
	野川	1	0.2
	合計	425	100.0

問4 現在のお住まいに何年住んでいるか

		度数	パーセント
有効	1年未満	21	5.1
	1-3年未満	31	7.5
	3-5年未満	32	7.7
	5-10年未満	79	19.0
	10-15年未満	48	11.6
	15-20年未満	50	12.0
	20年以上	154	37.1
	合計	415	100.0
欠損値	欠損・無回答	10	
合計		425	

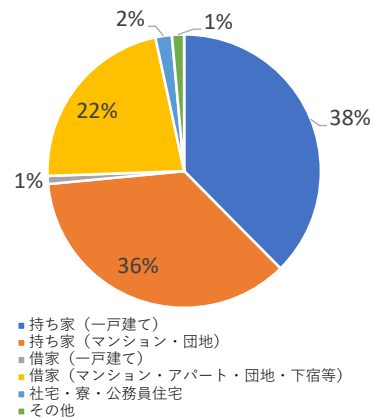
問4 現在のお住まいに何年住んでいるか



問5 現在のお住まいについて

		度数	パーセント
有効	持ち家（一戸建て）	156	37.6
	持ち家（マンション・団地）	149	35.9
	借家（一戸建て）	4	1.0
	借家（マンション・アパート・団地・下宿等）	92	22.2
	社宅・寮・公務員住宅	8	1.9
	その他	6	1.4
	合計	415	100.0
欠損値	欠損・無回答	10	
合計		425	

問5 現在のお住まいについて



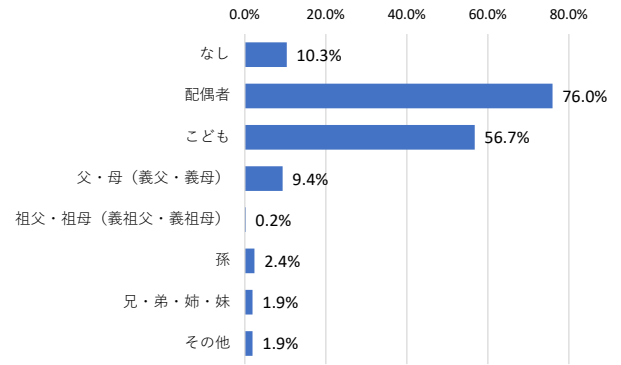
問5 その他

		度数	パーセント
有効	空欄	422	99.3
	市営住宅	2	0.5
	有料老人ホーム	1	0.2
	合計	425	100.0

問6 同居している家族

		応答数		ケースのパーセント
		度数	パーセント	
同居している家族	なし	43	6.5%	10.3%
	配偶者	316	47.8%	76.0%
	子ども	236	35.7%	56.7%
	父・母（義父・義母）	39	5.9%	9.4%
	祖父・祖母（義祖父・義祖母）	1	0.2%	0.2%
	孫	10	1.5%	2.4%
	兄・弟・姉・妹	8	1.2%	1.9%
	その他	8	1.2%	1.9%
	合計	661	100.0%	158.9%

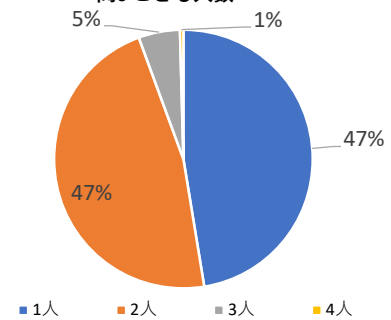
問6 同居している家族 (n=416)



問6 子ども人数

		度数	パーセント
有効	1人	110	47.4
	2人	109	47.0
	3人	12	5.2
	4人	1	0.4
	合計	232	100.0
欠損値	不正回答	1	
	無回答	192	
	合計	193	
合計		425	

問6 子ども人数

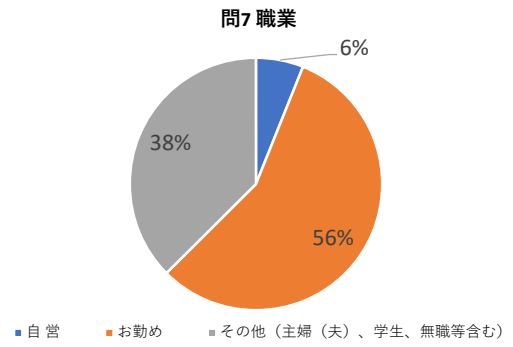


問6 同居している家族_その他

		度数	パーセント
有効	空欄	417	98.1
	1	1	0.2
	68才の息子と嫁	1	0.2
	嫁	1	0.2
	義姉（妻の姉）	1	0.2
	子供、嫁、孫	1	0.2
	社員寮	1	0.2
	長女の夫	1	0.2
	同居人	1	0.2
	合計	425	100.0

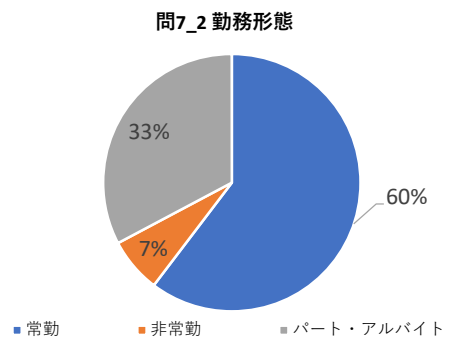
問7 職業

		度数	パーセント
有効	自 営	25	6.1
	お勤め	232	56.4
	その他（主婦（夫）、学生、無職等含む）	154	37.5
	合計	411	100.0
欠損値	欠損・無回答	14	
合計		425	



問7_2 勤務形態

		度数	パーセント
有効	常勤	140	60.3
	非常勤	16	6.9
	パート・アルバイト	76	32.8
	合計	232	100.0
欠損値	非該当	193	
合計		425	



II. 地域の医療についておたずねします。

問8 あなたのお住まいの地域の医療施設の数についてどのように感じていますか。
当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

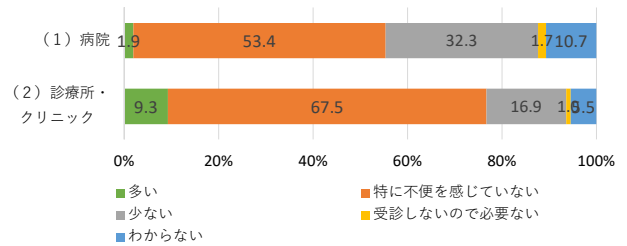
(1) 病院（入院できる医療施設）の数

		度数	パーセント
有効	多い	8	1.9
	特に不便を感じていない	225	53.4
	少ない	136	32.3
	受診しないので必要ない	7	1.7
	わからない	45	10.7
	合計	421	100.0
欠損値	欠損・無回答	4	
合計		425	

(2) 診療所・クリニック（入院できない医療施設）の数

		度数	パーセント
有効	多い	39	9.3
	特に不便を感じていない	284	67.5
	少ない	71	16.9
	受診しないので必要ない	4	1.0
	わからない	23	5.5
	合計	421	100.0
欠損値	欠損・無回答	4	
合計		425	

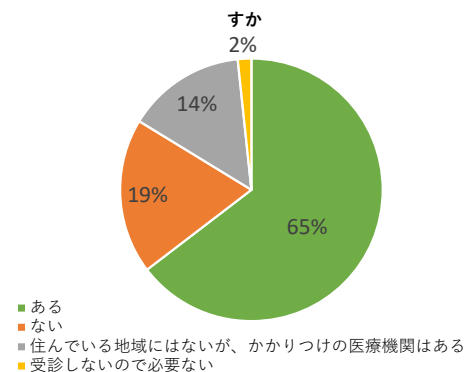
問8 あなたのお住まいの地域の医療施設の数についてどのように感じていますか。



問9 あなたのお住まいの地域にかかりつけの医療機関はありますか
当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	ある	270	64.6
	ない	80	19.1
	住んでいる地域にはないが、かかりつけの医療機関はある	61	14.6
	受診しないので必要ない	7	1.7
	合計	418	100.0
	欠損値	不正回答	1
	欠損・無回答	6	
合計		425	

問9 あなたのお住まいの地域にかかりつけの医療機関はありますか



問10 あなたや家族が病気やけがをしたとき、あなたのお住まいの地域に受診したいと思う病院、診療所・クリニックはありますか。
それぞれについて、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

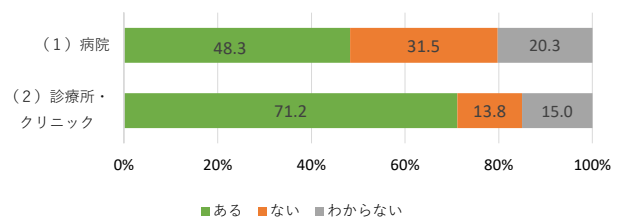
(1) 病院

		度数	パーセント
有効	ある	193	48.3
	ない	126	31.5
	わからない	81	20.3
	合計	400	100.0
欠損値	欠損・無回答	25	
合計		425	

(2) 診療所・クリニック

		度数	パーセント
有効	ある	284	71.2
	なし	55	13.8
	わからない	60	15.0
	合計	399	100.0
欠損値	欠損・無回答	26	
合計		425	

問10 あなたや家族が病気やけがをしたとき、あなたのお住まいの地域に受診したいと思う病院、診療所・クリニックはありますか。

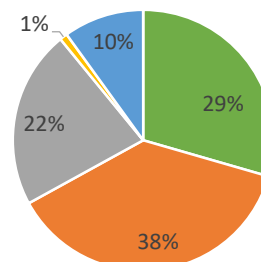


問 1 1 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設、または問い合わせ先（連絡先）について知っていますか。

当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	両方知っている	124	29.5
	どちらかは知っている	158	37.5
	両方知らない	93	22.1
	受診しないので必要ない	4	1.0
	わからない	42	10.0
	合計	421	100.0
欠損値	欠損・無回答	4	
合計		425	

問 1 1 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設、または問い合わせ先（連絡先）について知っていますか。



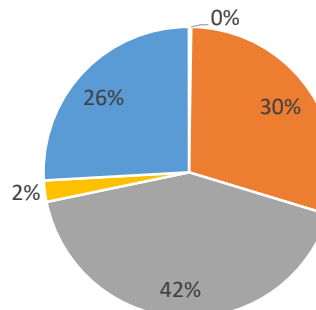
■ 両方知っている ■ どちらかは知っている ■ 両方知らない
■ 受診しないので必要ない ■ わからない

問 1 2 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設の数について、どのように感じていますか。

当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	多い	1	0.2
	特に不便に感じていない	124	29.5
	少ない	177	42.0
	受診しないので必要ない	10	2.4
	わからない	109	25.9
	合計	421	100.0
欠損値	欠損・無回答	4	
合計		425	

問 1 2 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設の数について、どのように感じていますか。



■ 多い ■ 特に不便に感じていない ■ 少ない ■ 受診しないので必要ない ■ わからない

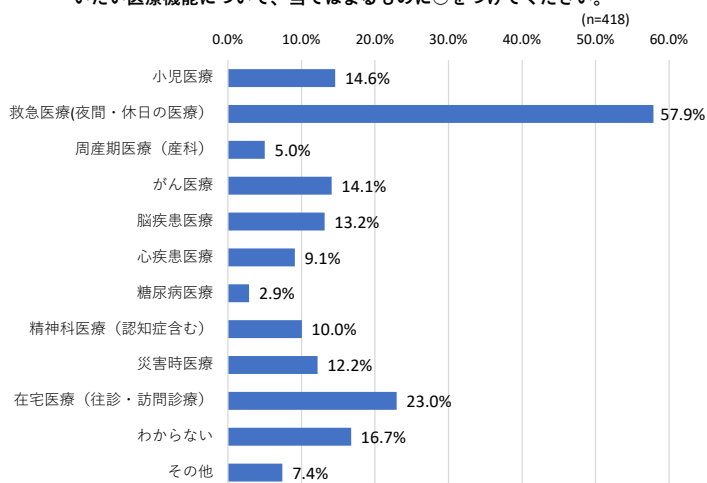
問 1 3 あなたのお住まいの地域の医療体制について、より充実してもらいたい医療機能について、当てはまるものに○をつけてください。

(複数回答可)

問13 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		度数	パーセント	
小児医療		61	7.8%	14.6%
救急医療(夜間・休日の医療)		242	31.1%	57.9%
周産期医療(産科)		21	2.7%	5.0%
がん医療		59	7.6%	14.1%
脳疾患医療		55	7.1%	13.2%
心疾患医療		38	4.9%	9.1%
糖尿病医療		12	1.5%	2.9%
精神科医療(認知症含む)		42	5.4%	10.0%
災害時医療		51	6.6%	12.2%
在宅医療(往診・訪問診療)		96	12.3%	23.0%
わからない		70	9.0%	16.7%
その他		31	4.0%	7.4%
合計		778	100.0%	186.1%

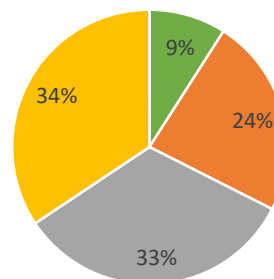
問 1 3 あなたのお住まいの地域の医療体制について、より充実してもらいたい医療機能について、当てはまるものに○をつけてください。



問14 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気・けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。当てはまるもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	可能である (または、現在行っている)	38	9.1
	試してみたい	98	23.4
	できれば避けたい	139	33.2
	無理である	144	34.4
	合計	419	100.0
欠損値	欠損・無回答	6	
合計		425	

問14 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気・けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。



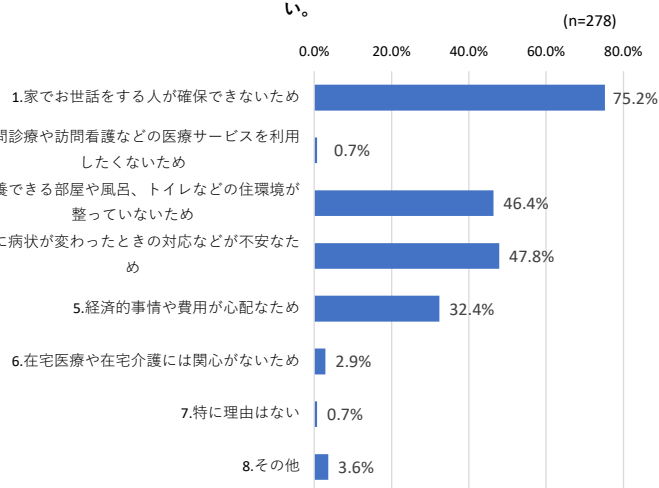
■可能である ■試してみたい ■できれば避けたい ■無理である
(または、現在行っている)

★「3. できれば避けたい」または「4. 無理である」と回答された方に伺います。その理由について当てはまるものに○をつけてください。☒ (複数回答可)

問14 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント
	度数	パーセント	
1. 家でお世話をする人が確保できないため	209	35.8%	75.2%
2. 訪問診療や訪問看護などの医療サービスを利用したくないため	2	0.3%	0.7%
3. 療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため	129	22.1%	46.4%
4. 急に病状が変わったときの対応などが不安なため	133	22.8%	47.8%
5. 経済的事情や費用が心配なため	90	15.4%	32.4%
6. 在宅医療や在宅介護には関心がないため	8	1.4%	2.9%
7. 特に理由はない	2	0.3%	0.7%
8. その他	10	1.7%	3.6%
合計	583	100.0%	209.7%

★「3. できれば避けたい」または「4. 無理である」と回答された方に伺います。その理由について当てはまるものに○をつけてください。



問 1 5 あなたやご家族が在宅で長期療養をしなければならない場合、誰にどれくらい頼りやすいですか。

①~⑭についてそれぞれ当てはまるもの一つだけ選んで○をつけてください。

① 配偶者

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	113	31.7
	できれば頼りたい	110	30.8
	できれば頼りたくない	65	18.2
	絶対に頼りたくない	2	0.6
	頼れない いない	67	18.8
	合計	357	100.0
欠損値	欠損・無回答	68	
合計		425	

② 父・母（義父・義母）

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	6	1.8
	できれば頼りたい	49	14.8
	できれば頼りたくない	84	25.4
	絶対に頼りたくない	18	5.4
	頼れない いない	174	52.6
	合計	331	100.0
欠損値	欠損・無回答	94	
合計		425	

③ こども

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	21	5.9
	できれば頼りたい	75	21.2
	できれば頼りたくない	153	43.2
	絶対に頼りたくない	18	5.1
	頼れない いない	87	24.6
	合計	354	100.0
欠損値	不正回答	2	
	欠損・無回答	69	
合計		71	
合計		425	

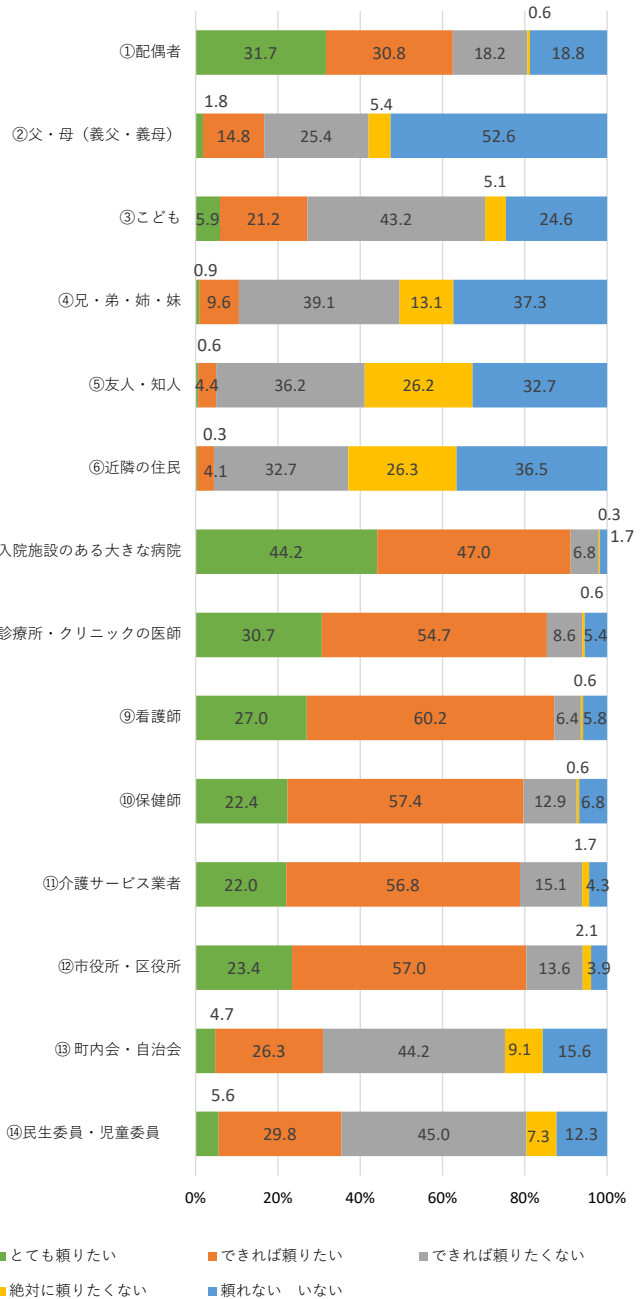
④ 兄・弟・姉・妹

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	3	0.9
	できれば頼りたい	33	9.6
	できれば頼りたくない	134	39.1
	絶対に頼りたくない	45	13.1
	頼れない いない	128	37.3
	合計	343	100.0
欠損値	欠損・無回答	82	
合計		425	

⑤ 友人・知人

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	2	0.6
	できれば頼りたい	15	4.4
	できれば頼りたくない	124	36.2
	絶対に頼りたくない	90	26.2
	頼れない いない	112	32.7
	合計	343	100.0
欠損値	欠損・無回答	82	
合計		425	

問 1 5 あなたやご家族が在宅で長期療養をしなければならない場合、誰にどれくらい頼りやすいですか。



⑥ 近隣の住民

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	1	0.3
	できれば頼りたい	14	4.1
	できれば頼りたくない	112	32.7
	絶対に頼りたくない	90	26.3
	頼れない いない	125	36.5
	合計	342	100.0
欠損値	欠損・無回答	83	
合計		425	

⑦ 入院施設のある大きな病院

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	155	44.2
	できれば頼りたい	165	47.0
	できれば頼りたくない	24	6.8
	絶対に頼りたくない	1	0.3
	頼れない いない	6	1.7
	合計	351	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	73	
	合計	74	
合計		425	

⑧ 診療所・クリニックの医師

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	107	30.7
	できれば頼りたい	191	54.7
	できれば頼りたくない	30	8.6
	絶対に頼りたくない	2	0.6
	頼れない いない	19	5.4
	合計	349	100.0
欠損値	欠損・無回答	76	
合計		425	

⑨ 看護師

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	93	27.0
	できれば頼りたい	207	60.2
	できれば頼りたくない	22	6.4
	絶対に頼りたくない	2	0.6
	頼れない いない	20	5.8
	合計	344	100.0
欠損値	欠損・無回答	81	
合計		425	

⑩ 保健師

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	76	22.4
	できれば頼りたい	195	57.4
	できれば頼りたくない	44	12.9
	絶対に頼りたくない	2	0.6
	頼れない いない	23	6.8
	合計	340	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	84	
	合計	85	
合計		425	

⑪ 介護サービス業者

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	76	22.0
	できれば頼りたい	196	56.8
	できれば頼りたくない	52	15.1
	絶対に頼りたくない	6	1.7
	頼れない いない	15	4.3
	合計	345	100.0
欠損値	欠損・無回答	80	
合計		425	

⑫ 市役所・区役所

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	79	23.4
	できれば頼りたい	192	57.0
	できれば頼りたくない	46	13.6
	絶対に頼りたくない	7	2.1
	頼れない いない	13	3.9
	合計	337	100.0
欠損値	不正回答	5	
	欠損・無回答	83	
	合計	88	
合計		425	

⑬ 町内会・自治会

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	16	4.7
	できれば頼りたい	89	26.3
	できれば頼りたくない	150	44.2
	絶対に頼りたくない	31	9.1
	頼れない いない	53	15.6
	合計	339	100.0
欠損値	欠損・無回答	86	
合計		425	

⑭ 民生委員・児童委員

		度数	パーセント
有効	とても頼りたい	19	5.6
	できれば頼りたい	102	29.8
	できれば頼りたくない	154	45.0
	絶対に頼りたくない	25	7.3
	頼れない いない	42	12.3
	合計	342	100.0
欠損値	欠損・無回答	83	
合計		425	

問16 あなたが在宅で長期療養をしなければならない場合、公的制度を利用して、どのサービスをどれくらい利用してみたいですか。

①～⑦について、それぞれ当てはまるもの一つだけ選んで○をつけてください。

① 居宅療養管理指導

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	146	37.7
	できれば利用したい	187	48.3
	できれば利用したくない	26	6.7
	絶対に利用したくない	4	1.0
	どちらともいえない	24	6.2
	合計	387	100.0
欠損値	欠損・無回答	38	
合計		425	

② 訪問看護

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	155	39.7
	できれば利用したい	180	46.2
	できれば利用したくない	30	7.7
	絶対に利用したくない	5	1.3
	どちらともいえない	20	5.1
	合計	390	100.0
欠損値	欠損・無回答	35	
合計		425	

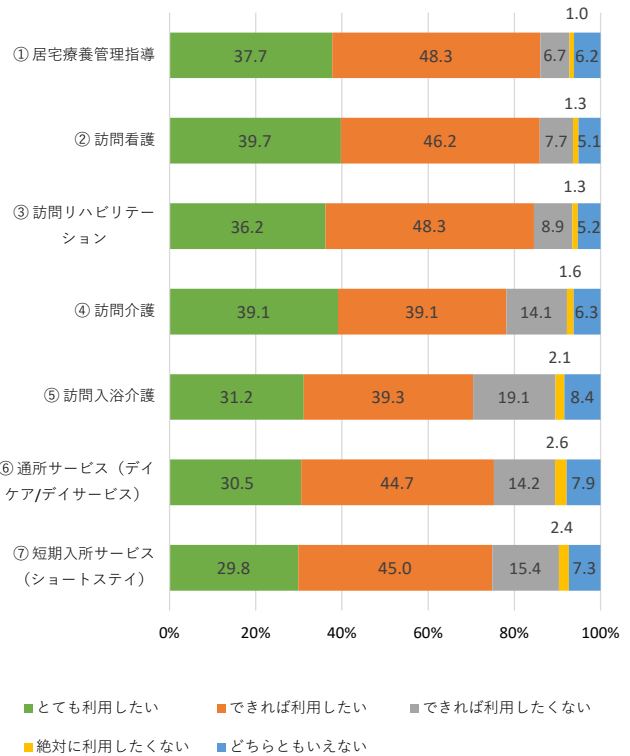
③ 訪問リハビリテーション

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	138	36.2
	できれば利用したい	184	48.3
	できれば利用したくない	34	8.9
	絶対に利用したくない	5	1.3
	どちらともいえない	20	5.2
	合計	381	100.0
欠損値	欠損・無回答	44	
合計		425	

④ 訪問介護

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	150	39.1
	できれば利用したい	150	39.1
	できれば利用したくない	54	14.1
	絶対に利用したくない	6	1.6
	どちらともいえない	24	6.3
	合計	384	100.0
欠損値	欠損・無回答	41	
合計		425	

問16 あなたが在宅で長期療養をしなければならない場合、公的制度を利用して、どのサービスをどれくらい利用してみたいですか。



⑤ 訪問入浴介護

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	119	31.2
	できれば利用したい	150	39.3
	できれば利用したくない	73	19.1
	絶対に利用したくない	8	2.1
	どちらともいえない	32	8.4
	合計	382	100.0
欠損値	欠損・無回答	43	
合計		425	

⑥ 通所サービス（デイケア）（デイサービス）

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	116	30.5
	できれば利用したい	170	44.7
	できれば利用したくない	54	14.2
	絶対に利用したくない	10	2.6
	どちらともいえない	30	7.9
	合計	380	100.0
欠損値	欠損・無回答	45	
合計		425	

⑦ 短期入所サービス（ショートステイ）

		度数	パーセント
有効	とても利用したい	114	29.8
	できれば利用したい	172	45.0
	できれば利用したくない	59	15.4
	絶対に利用したくない	9	2.4
	どちらともいえない	28	7.3
	合計	382	100.0
欠損値	欠損・無回答	43	
合計		425	

Ⅲ. 災害時における行動や医療についておたずねします。

問17 あなたは以下の4項目の災害や危機に対して、日ごろからの程度備えていますか。

①~④について、それぞれ当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

① 地震、洪水、土砂崩れなどの自然災害

		度数	パーセント
有効	十分に備えている	5	1.2
	ある程度備えている	179	43.7
	ほとんど備えていない	213	52.0
	わからない	13	3.2
	合計	410	100.0
欠損値	欠損・無回答	15	
合計		425	

② 原子力事故、大規模火災などの人的災害

		度数	パーセント
有効	十分に備えている	2	0.5
	ある程度備えている	36	9.1
	ほとんど備えていない	304	77.0
	わからない	53	13.4
	合計	395	100.0
欠損値	欠損・無回答	30	
合計		425	

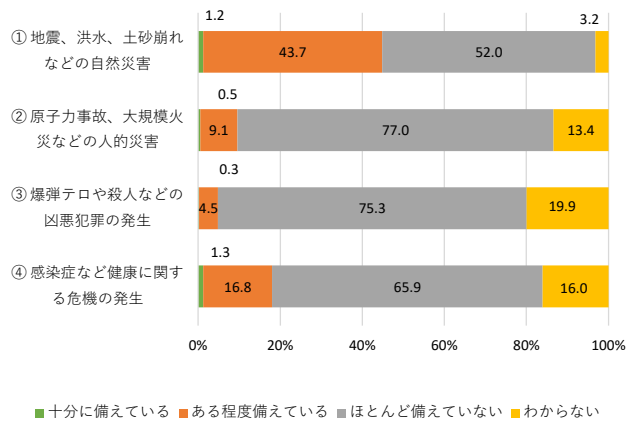
③ 爆弾テロや殺人などの凶悪犯罪の発生

		度数	パーセント
有効	十分に備えている	1	0.3
	ある程度備えている	18	4.5
	ほとんど備えていない	298	75.3
	わからない	79	19.9
	合計	396	100.0
欠損値	欠損・無回答	29	
合計		425	

④ 感染症など健康に関する危機の発生

		度数	パーセント
有効	十分に備えている	5	1.3
	ある程度備えている	67	16.8
	ほとんど備えていない	263	65.9
	わからない	64	16.0
	合計	399	100.0
欠損値	欠損・無回答	26	
合計		425	

問17 あなたは以下の4項目の災害や危機に対して、日ごろからの程度備えていますか。

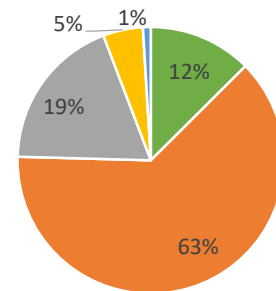


問18 あなたのお住まいの地域を対象とした防災訓練が実施されたら参加しますか。

当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	積極的に参加したい(参加している)	52	12.5
	できれば参加したい	261	62.9
	できれば参加したくない	78	18.8
	参加したくない	20	4.8
	参加する必要がある	4	1.0
合計		415	100.0
欠損値	欠損・無回答	10	
合計		425	

問18 あなたのお住まいの地域を対象とした防災訓練が実施されたら参加しますか。



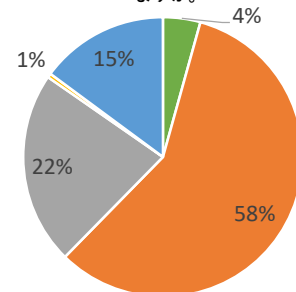
- 積極的に参加したい(参加している)
- できれば参加したい
- できれば参加したくない
- 参加したくない
- 参加する必要がある

問19 あなたがお住まいの地域では、災害や危機に対して、近隣の住民が協力し、お互いに助け合って行動できると思いますか。

当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	十分に助け合って行動できる	18	4.3
	ある程度は助け合って行動できる	242	58.0
	ほとんど助け合って行動できない	93	22.3
	助け合う必要がある	2	0.5
	わからない	62	14.9
	合計	417	100.0
欠損値	欠損・無回答	8	
合計		425	

問19 あなたがお住まいの地域では、災害や危機に対して、近隣の住民が協力し、お互いに助け合って行動できると思いますか。



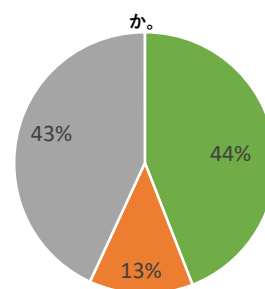
- 十分に助け合って行動できる
- ある程度は助け合って行動できる
- ほとんど助け合って行動できない
- 助け合う必要がある
- わからない

問20 「トリアージ」とは、傷病者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めることですが、「トリアージ」という言葉を聞いたことがありますか、また意味を知っていましたか。

当てはまるもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	聞いたこともあるし、意味も知っている	182	44.1
	聞いたことはあるが、意味は知らない	53	12.8
	聞いたこともないし、意味も知らない	178	43.1
	合計	413	100.0
欠損値	欠損・無回答	12	
合計		425	

問20 「トリアージ」とは、傷病者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めることですが、「トリアージ」という言葉を聞いたことがありますか、また意味を知っていましたか。



■ 聞いたこともあるし、意味も知っている ■ 聞いたことはあるが、意味は知らない ■ 聞いたこともないし、意味も知らない

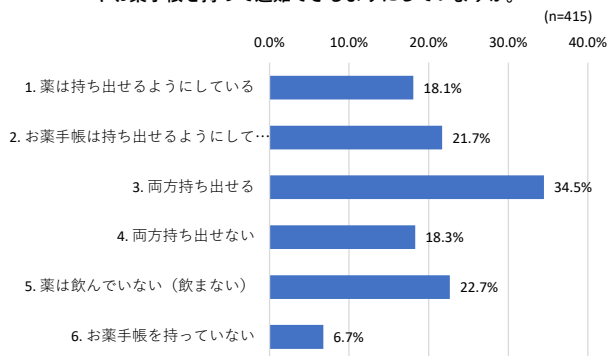
問21 災害時に常備薬（病院のお薬や薬局で売っている薬）やお薬手帳を持って避難できるようにしていますか。

当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

問21 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		度数	パーセント	
有効	1. 薬は持ち出せるようにしている	75	14.8%	18.1%
	2. お薬手帳は持ち出せるようにしている	90	17.8%	21.7%
	3. 両方持ち出せる	143	28.3%	34.5%
	4. 両方持ち出せない	76	15.0%	18.3%
	5. 薬は飲んでいない（飲まない）	94	18.6%	22.7%
	6. お薬手帳を持っていない	28	5.5%	6.7%
合計		506	100.0%	121.9%

問21 災害時に常備薬（病院のお薬や薬局で売っている薬）やお薬手帳を持って避難できるようにしていますか。

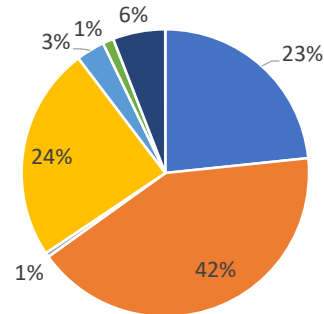


問22 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。あなたが命には危険がなく（極めて軽傷）、自分で動ける程度の病気やけがをした場合、あなたはどうしますか

当てはまるもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	我慢する・様子を見る	95	23.3
	市販薬を使い自分で手当とする	170	41.8
	救急車を呼ぶ	2	0.5
	近隣の診療所に行く	98	24.1
	災害拠点病院に行く	13	3.2
	災害時救急病院に行く	5	1.2
	避難所（医療救護所等）に行く	24	5.9
	合計	407	100.0
	欠損値	不正回答	9
	欠損・無回答	9	
	合計	18	
合計		425	

問22 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。あなたが命には危険がなく（極めて軽傷）、自分で動ける程度の病気やけがをした場合、あなたはどうしますか



■ 我慢する・様子を見る ■ 市販薬を使い自分で手当とする ■ 救急車を呼ぶ ■ 近隣の診療所に行く ■ 災害拠点病院に行く ■ 災害時救急病院に行く ■ 避難所（医療救護所等）に行く

問22 ★「4. 5. 6. 7.」を選択された方に伺います。どのような手段でいきますか。
 当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

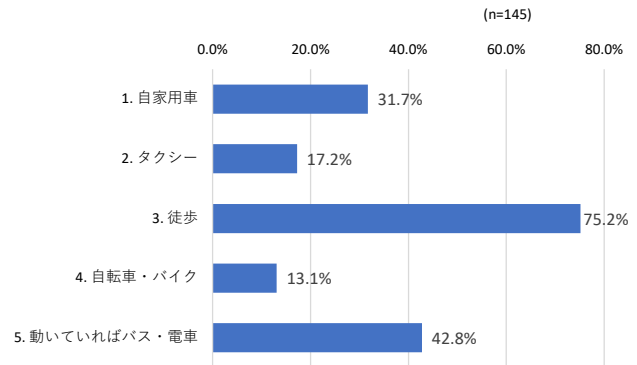
問22 副問 度数分布表

	応答数		ケースの パーセント
	度数	パーセント	
1. 自家用車	46	17.6%	31.7%
2. タクシー	25	9.6%	17.2%
3. 徒歩	109	41.8%	75.2%
4. 自転車・バイク	19	7.3%	13.1%
5. 動いていればバス・電車	62	23.8%	42.8%
合計	261	100.0%	180.0%

問22 副問 その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	424	99.8
	車イス (介助者が必要)	1	0.2
	合計	425	100.0

問22 ★「4. 5. 6. 7.」を選択された方に伺います。
 どのような手段でいきますか。

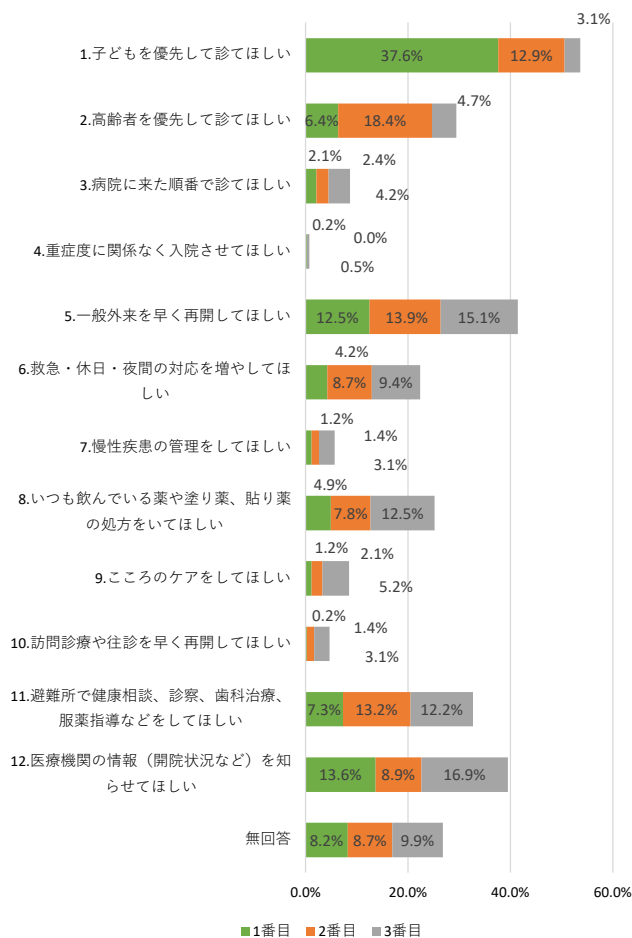


問23 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。医療機関に強く望むものから順に3つ選んでください。

1番目

		度数	パーセント
有効	1.子どもを優先して診てほしい	160	37.6
	2.高齢者を優先して診てほしい	27	6.4
	3.病院に来た順番で診てほしい	9	2.1
	4.重症度に関係なく入院させてほしい	1	0.2
	5.一般外来を早く再開してほしい	53	12.5
	6.救急・休日・夜間の対応を増やしてほしい	18	4.2
	7.慢性疾患の管理をしてほしい	5	1.2
	8.いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方をしてほしい	21	4.9
	9.こころのケアをしてほしい	5	1.2
	10.訪問診療や往診を早く再開してほしい	1	0.2
	11.避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導などをしてほしい	31	7.3
	12.医療機関の情報（開院状況など）を知らせてほしい	58	13.6
	欠損・無回答	35	8.2
合計	424	99.8	
欠損値	不正回答	1	0.2
合計		425	100.0

問23 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。医療機関に強く望むものから順に3つ選んでください。



2番目

		度数	パーセント
有効	1.子どもを優先して診てほしい	55	12.9
	2.高齢者を優先して診てほしい	78	18.4
	3.病院に来た順番で診てほしい	10	2.4
	5.一般外来を早く再開してほしい	59	13.9
	6.救急・休日・夜間の対応を増やしてほしい	37	8.7
	7.慢性疾患の管理をしてほしい	6	1.4
	8.いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方をしてほしい	33	7.8
	9.こころのケアをしてほしい	9	2.1
	10.訪問診療や往診を早く再開してほしい	6	1.4
	11.避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導などをしてほしい	56	13.2
	12.医療機関の情報（開院状況など）を知らせてほしい	38	8.9
	欠損・無回答	37	8.7
	合計	424	99.8
欠損値	不正回答	1	0.2
合計		425	100.0

3番目

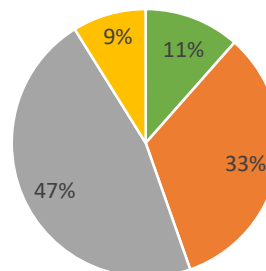
		度数	パーセント
有効	1.子どもを優先して診てほしい	13	3.1
	2.高齢者を優先して診てほしい	20	4.7
	3.病院に来た順番で診てほしい	18	4.2
	4.重症度に関係なく入院させてほしい	2	0.5
	5.一般外来を早く再開してほしい	64	15.1
	6.救急・休日・夜間の対応を増やしてほしい	40	9.4
	7.慢性疾患の管理をしてほしい	13	3.1
	8.いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方をしてほしい	53	12.5
	9.こころのケアをしてほしい	22	5.2
	10.訪問診療や往診を早く再開してほしい	13	3.1
	11.避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導などをしてほしい	52	12.2
	12.医療機関の情報（開院状況など）を知らせてほしい	72	16.9
	欠損・無回答	42	9.9
合計	424	99.8	
欠損値	不正回答	1	0.2
合計		425	100.0

IV. 日常生活についておたずねします。

問24 あなたはご近所の方といま現在どのようなおつきあいをしていますか。
つきあいの程度について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる	48	11.5
	日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている	138	33.1
	あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない	194	46.5
	つきあいはほとんどない	37	8.9
	合計	417	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	7	
	合計	8	
合計		425	

問24 あなたはご近所の方といま現在どのようなおつきあいをしていますか。



- 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる
- 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
- あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
- つきあいはほとんどない

問25 あなたは現在、下記の地域活動にどの程度参加していますか。
各項目について当てはまる程度をそれぞれ一つだけ選んで○をつけてください。

① 地域内の祭りや行事（誰でも参加できるもの）

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	32	7.8
	時々参加している	90	22.1
	あまり参加していない	90	22.1
	参加していない	196	48.0
	合計	408	100.0
欠損値	欠損・無回答	17	
合計		425	

② 自治会・町内会やマンション管理組合の活動

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	59	14.6
	時々参加している	90	22.3
	あまり参加していない	76	18.8
	参加していない	179	44.3
	合計	404	100.0
欠損値	欠損・無回答	21	
合計		425	

③ 年齢層や属性が限定された地縁活動（子ども会、PTA、おやじの会、婦人会、老人会等）

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	21	5.3
	時々参加している	31	7.8
	あまり参加していない	48	12.0
	参加していない	300	75.0
	合計	400	100.0
欠損値	欠損・無回答	25	
合計		425	

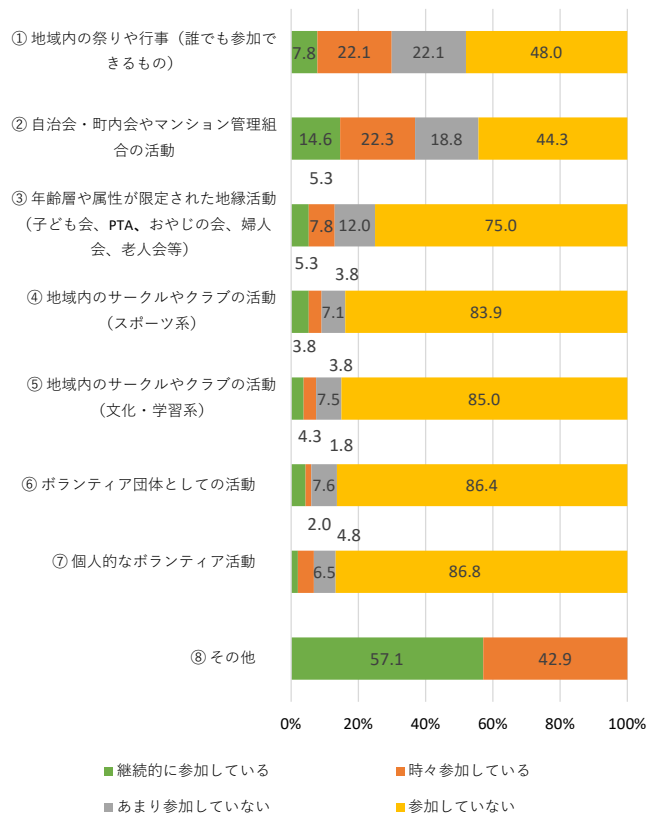
④ 地域内のサークルやクラブの活動（スポーツ系）

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	21	5.3
	時々参加している	15	3.8
	あまり参加していない	28	7.1
	参加していない	333	83.9
	合計	397	100.0
欠損値	欠損・無回答	28	
合計		425	

⑤ 地域内のサークルやクラブの活動（文化・学習系）

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	15	3.8
	時々参加している	15	3.8
	あまり参加していない	30	7.5
	参加していない	340	85.0
	合計	400	100.0
欠損値	欠損・無回答	25	
合計		425	

問25 あなたは現在、下記の地域活動にどの程度参加していますか。



⑥ ボランティア団体としての活動

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	17	4.3
	時々参加している	7	1.8
	あまり参加していない	30	7.6
	参加していない	343	86.4
	合計	397	100.0
欠損値	欠損・無回答	28	
合計		425	

⑦ 個人的なボランティア活動

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	8	2.0
	時々参加している	19	4.8
	あまり参加していない	26	6.5
	参加していない	347	86.8
	合計	400	100.0
欠損値	欠損・無回答	25	
合計		425	

⑧ その他

		度数	パーセント
有効	継続的に参加している	4	57.1
	時々参加している	3	42.9
	合計	7	100.0
欠損値	欠損・無回答	418	
合計		425	

⑨ その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	407	95.8
	※当地区に引越して2、5か月。まだ地域について知らないことが多い。転居前の地域では、①～⑧すべてについて、継続かつ積極的に参加していた。	1	0.2
	7月中旬に転入したばかりなので、これから可能な限り参加していきたい。	1	0.2
	ジム（民間）に通っている	1	0.2
	だんちのそうじ	1	0.2
	ナン	1	0.2
	介護4のため地域活動は無理です。家族が①の草刈り等参加している	1	0.2
	気の合ったグループで活動	1	0.2
	交通、消防	1	0.2
	仕事しているのであまり時間がない	1	0.2
	私は学会員ですので、しっかりとその組織の中で活動しているので絆は強いです!!	1	0.2
	自営業、仕事有り	1	0.2
	実家の地域祭礼（祭りや法事墓参など）に参加	1	0.2
	小学校登下校の見守り 交差点に立つ	1	0.2
	消防団	1	0.2
	身体障害者手帳1級の為と歩行が難しい為	1	0.2
	体調に合せ運動	1	0.2
	町内会、行事	1	0.2
	防犯活動等に対応している	1	0.2
	合計	425	100.0

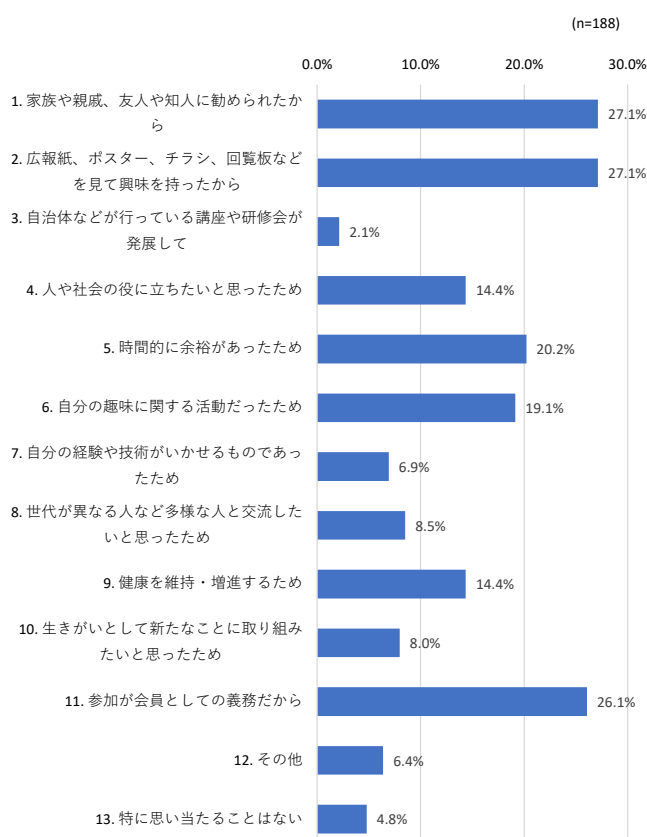
問26 問25であなたが「継続的に参加している」、「時々参加している」と答えた地域活動について、参加のきっかけや理由として当てはまるものに○をつけてください。

(複数回答可)

問26 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント
	度数	パーセント	
1. 家族や親戚、友人や知人に勧められたから	51	14.7%	27.1%
2. 広報紙、ポスター、チラシ、回覧板などを見て興味を持ったから	51	14.7%	27.1%
3. 自治体などが行っている講座や研修会が発展して	4	1.1%	2.1%
4. 人や社会の役に立ちたいと思ったため	27	7.8%	14.4%
5. 時間的に余裕があったため	38	10.9%	20.2%
6. 自分の趣味に関する活動だったため	36	10.3%	19.1%
7. 自分の経験や技術がいかにせるものであったため	13	3.7%	6.9%
8. 世代が異なる人など多様な人と交流したいと思ったため	16	4.6%	8.5%
9. 健康を維持・増進するため	27	7.8%	14.4%
10. 生きがいとして新たなことに取り組みたいと思ったため	15	4.3%	8.0%
11. 参加が会員としての義務だから	49	14.1%	26.1%
12. その他	12	3.4%	6.4%
13. 特に思い当たることはない	9	2.6%	4.8%
合計	348	100.0%	185.1%

問26 問25であなたが「継続的に参加している」、「時々参加している」と答えた地域活動について、参加のきっかけや理由として当てはまるものに○をつけてください。



問26_12 その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	414	97.4
	マンションの総会だから	1	0.2
	マンションの草むしり	1	0.2
	子供の為	1	0.2
	指名があったため	1	0.2
	自治会当番のとき and 頼まれたとき	1	0.2
	住居環境を維持、改善したいから	1	0.2
	順番でマンション管理組合の役員をやるので	1	0.2
	情は人のためならずーイヤだが非常時のメリット考えて	1	0.2
	身体状態で参加できない	1	0.2
	地域の情報収集のため	1	0.2
	転入前、横浜市の消防団へ入団しており継続という形で団転入した。	1	0.2
	合計	425	100.0

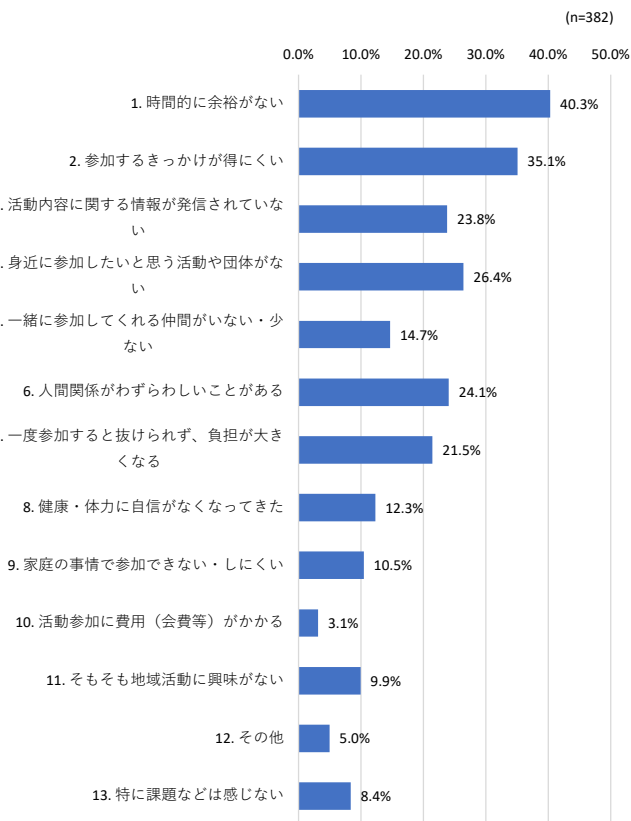
問27 あなたが地域活動に参加していて課題を感じる点、または、地域活動に参加しない・しづらい理由として当てはまるものに○をつけてください。

(複数回答可)

問27 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		度数	パーセント	
1.	時間的に余裕がない	154	17.1%	40.3%
2.	参加するきっかけが得にくい	134	14.9%	35.1%
3.	活動内容に関する情報が発信されていない	91	10.1%	23.8%
4.	身近に参加したいと思う活動や団体が無い	101	11.2%	26.4%
5.	一緒に参加してくれる仲間がいない・少ない	56	6.2%	14.7%
6.	人間関係がわずらわしいことがある	92	10.2%	24.1%
7.	一度参加すると抜けられず、負担が大きくなる	82	9.1%	21.5%
8.	健康・体力に自信がなくなってきた	47	5.2%	12.3%
9.	家庭の事情で参加できない・しにくい	40	4.5%	10.5%
10.	活動参加に費用(会費等)がかかる	12	1.3%	3.1%
11.	そもそも地域活動に興味がない	38	4.2%	9.9%
12.	その他	19	2.1%	5.0%
13.	特に課題などは感じない	32	3.6%	8.4%
合計		898	100.0%	235.1%

問27 あなたが地域活動に参加していて課題を感じる点、または、地域活動に参加しない・しづらい理由として当てはまるものに○をつけてください。



問27_12その他内容

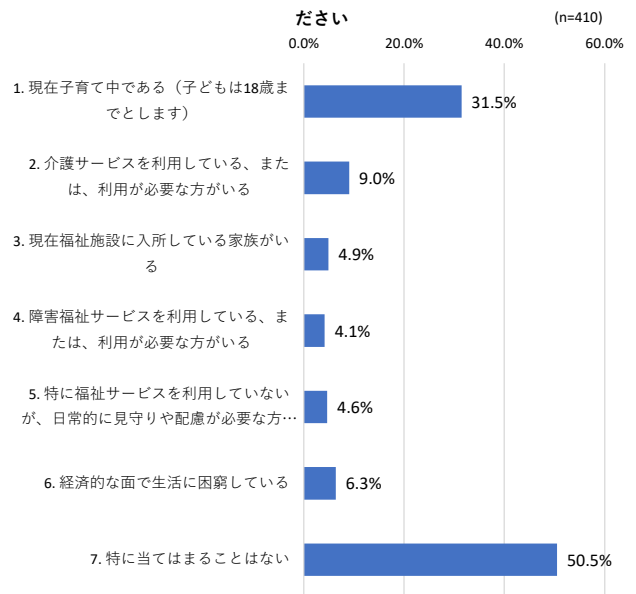
有効		度数	
		度数	パーセント
	空欄	406	95.5
	とても楽しい	1	0.2
	どのような活動があるのか知らない	1	0.2
	引越したところが賃貸だから	1	0.2
	引越後、まだ毎日が仕事に通う事だけで地域になじむこともなくため	1	0.2
	介護4のため参加できない	1	0.2
	活動場所が遠い	1	0.2
	去年、東京(渋谷)より引越したばかりでわからない。	1	0.2
	今、特定疾患難病の療養中	1	0.2
	妻が活動に参加しているので情報等はそこから得られる	1	0.2
	仕事やシフトの為休みがとりにくい	1	0.2
	時間、日程に合わせるのにがてです。	1	0.2
	自分の老後の経済的不安があるので、今は年金だけで暮らせる人は少ないのでは	1	0.2
	社会常識の範囲や知識範囲が大きく異なり話しにくい	1	0.2
	住み始めてから3ヶ月と日が浅い	1	0.2
	障害者のため	1	0.2
	身体が自由に動かせない(認知症)	1	0.2
	他にボランティアをしていて時間がない	1	0.2
	地域活動を継続するためのコア(リーダー)のメンバーの高齢化	1	0.2
	内々で行っていて参加しづらい。	1	0.2
	合計	425	100.0

問28 あなたの世帯の状況に当てはまるものに○をつけてください
(複数回答可)

問28 度数分布表

	応答数		ケースの パーセント
	度数	パーセント	
1. 現在子育て中である（子どもは18歳までとします）	129	28.4%	31.5%
2. 介護サービスを利用している、または、利用が必要な方がいる	37	8.1%	9.0%
3. 現在福祉施設に入所している家族がいる	20	4.4%	4.9%
4. 障害福祉サービスを利用している、または、利用が必要な方がいる	17	3.7%	4.1%
5. 特に福祉サービスを利用していないが、日常的に見守りや配慮が必要な方がいる	19	4.2%	4.6%
6. 経済的な面で生活に困窮している	26	5.7%	6.3%
7. 特に当てはまることはない	207	45.5%	50.5%
合計	455	100.0%	111.0%

問28 あなたの世帯の状況に当てはまるものに○をつけてく

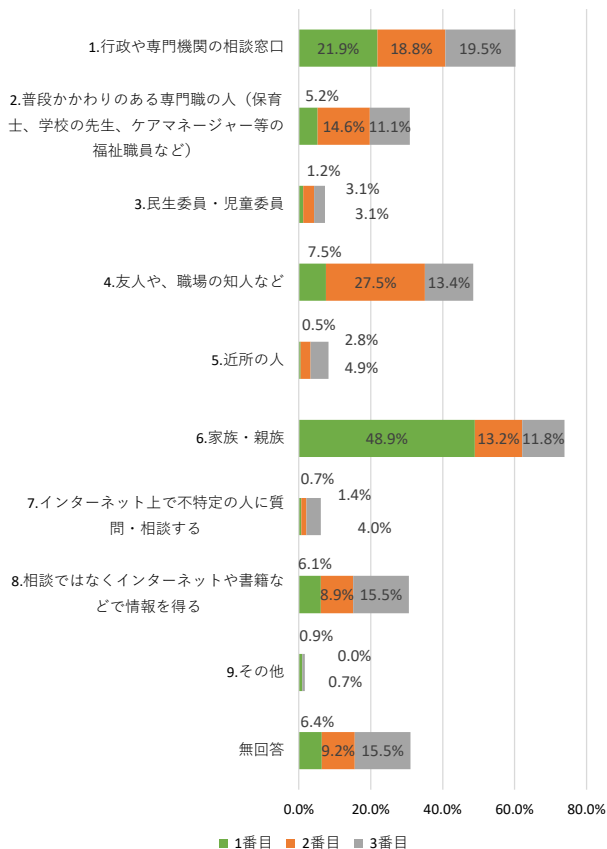


問29 あなたは家族の介護や子育てなどで悩んだとしたら、誰に相談しますか。あなたが最初に頼るものから順に3つまで選んでください。

1番目

		度数	パーセント
有効	1. 行政や専門機関の相談窓口	93	21.9
	2. 普段かかわりのある専門職の人（保育士、学校の先生、ケアマネージャー等の福祉職員など）	22	5.2
	3. 民生委員・児童委員	5	1.2
	4. 友人や、職場の知人など	32	7.5
	5. 近所の人	2	0.5
	6. 家族・親族	208	48.9
	7. インターネット上で不特定の人に質問・相談する	3	0.7
	8. 相談ではなくインターネットや書籍などで情報を得る	26	6.1
	9. その他	4	0.9
	欠損・無回答	27	6.4
合計	422	99.3	
欠損値	不正回答	3	0.7
合計		425	100.0

問29 あなたは家族の介護や子育てなどで悩んだとしたら、誰に相談しますか。あなたが最初に頼るものから順に3つまで選んでください。



2番目

		度数	パーセント
有効	1. 行政や専門機関の相談窓口	80	18.8
	2. 普段かかわりのある専門職の人（保育士、学校の先生、ケアマネージャー等の福祉職員など）	62	14.6
	3. 民生委員・児童委員	13	3.1
	4. 友人や、職場の知人など	117	27.5
	5. 近所の人	12	2.8
	6. 家族・親族	56	13.2
	7. インターネット上で不特定の人に質問・相談する	6	1.4
	8. 相談ではなくインターネットや書籍などで情報を得る	38	8.9
	欠損・無回答	39	9.2
	合計	423	99.5
欠損値	不正回答	2	0.5
合計		425	100.0

3番目

		度数	パーセント
有効	1. 行政や専門機関の相談窓口	83	19.5
	2. 普段かかわりのある専門職の人（保育士、学校の先生、ケアマネージャー等の福祉職員など）	47	11.1
	3. 民生委員・児童委員	13	3.1
	4. 友人や、職場の知人など	57	13.4
	5. 近所の人	21	4.9
	6. 家族・親族	50	11.8
	7. インターネット上で不特定の人に質問・相談する	17	4.0
	8. 相談ではなくインターネットや書籍などで情報を得る	66	15.5
	9. その他	3	0.7
	欠損・無回答	66	15.5
合計	423	99.5	
欠損値	不正回答	2	0.5
合計		425	100.0

その他

		度数	パーセント
有効	空欄	422	99.3
	ギリギリまで我慢する、診療所	1	0.2
	そういう人はいない	1	0.2
	特に悩んだことはない。時間で解決する。	1	0.2
	合計	425	100.0

問30 日常生活に困難を感じている近所の方へのお手伝いについて、あなたの活動状況や思いについて伺います。
各項目について、あなたに当てはまるものをそれぞれ一つだけ選んで○をつけてください。

① 買い物のお手伝い

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	4	1.0
	機会があれば今後行ってもよい	190	49.2
	できるが、あまりやりたくない	84	21.8
	できない 又はやりたくない	108	28.0
	合計	386	100.0
欠損値	欠損・無回答	39	
合計		425	

② お食事・お弁当づくり

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	4	1.0
	機会があれば今後行ってもよい	69	17.9
	できるが、あまりやりたくない	99	25.7
	できない 又はやりたくない	213	55.3
	合計	385	100.0
欠損値	欠損・無回答	40	
合計		425	

③ 洗濯のお手伝い

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	1	0.3
	機会があれば今後行ってもよい	90	23.4
	できるが、あまりやりたくない	118	30.7
	できない 又はやりたくない	175	45.6
	合計	384	100.0
欠損値	欠損・無回答	41	
合計		425	

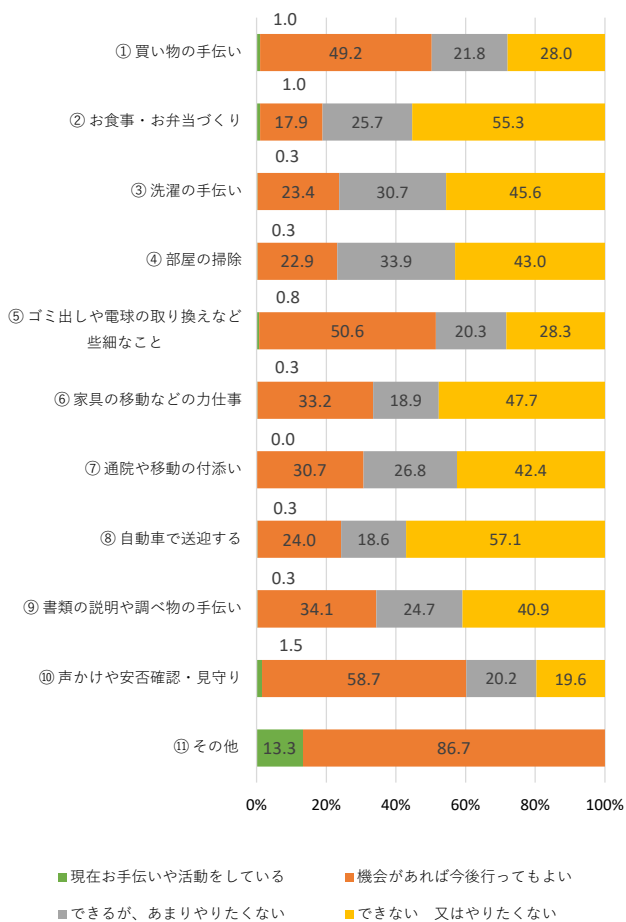
④ 部屋の掃除

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	1	0.3
	機会があれば今後行ってもよい	88	22.9
	できるが、あまりやりたくない	130	33.9
	できない 又はやりたくない	165	43.0
	合計	384	100.0
欠損値	欠損・無回答	41	
合計		425	

⑤ ゴミ出しや電球の取り換えなど些細なこと

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	3	0.8
	機会があれば今後行ってもよい	195	50.6
	できるが、あまりやりたくない	78	20.3
	できない 又はやりたくない	109	28.3
	合計	385	100.0
欠損値	欠損・無回答	40	
合計		425	

問30 日常生活に困難を感じている近所の方へのお手伝いについて、あなたの活動状況や思いについて伺います。



⑥ 家具の移動などの力仕事

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	1	0.3
	機会があれば今後行ってもよい	128	33.2
	できるが、あまりやりたくない	73	18.9
	できない 又はやりたくない	184	47.7
	合計	386	100.0
欠損値	欠損・無回答	39	
合計		425	

⑦ 通院や移動の付添い

		度数	パーセント
有効	機会があれば今後行ってもよい	118	30.7
	できるが、あまりやりたくない	103	26.8
	できない 又はやりたくない	163	42.4
	合計	384	100.0
欠損値	欠損・無回答	41	
合計		425	

⑧ 自動車で送迎する

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	1	0.3
	機会があれば今後行ってもよい	93	24.0
	できるが、あまりやりたくない	72	18.6
	できない 又はやりたくない	221	57.1
	合計	387	100.0
欠損値	欠損・無回答	38	
合計		425	

⑨ 書類の説明や調べ物の手伝い

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	1	0.3
	機会があれば今後行ってもよい	131	34.1
	できるが、あまりやりたくない	95	24.7
	できない 又はやりたくない	157	40.9
	合計	384	100.0
欠損値	欠損・無回答	41	
合計		425	

⑩ 声かけや安否確認・見守り

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	6	1.5
	機会があれば今後行ってもよい	230	58.7
	できるが、あまりやりたくない	79	20.2
	できない 又はやりたくない	77	19.6
	合計	392	100.0
欠損値	欠損・無回答	33	
合計		425	

⑩ その他

		度数	パーセント
有効	現在お手伝いや活動をしている	2	13.3
	機会があれば今後行ってもよい	13	86.7
	合計	15	100.0
欠損値	欠損・無回答	410	
合計		425	

⑪ その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	413	97.2
	ナシ	1	0.2
	リウマチで手足に不自由なことがあります。お手伝いは出来ません。	1	0.2
	わからない	1	0.2
	近所に越して来た人	1	0.2
	近所の86才の老人が一人で暮らしていた時、近所の人がお互いに助け合って食事をとけあいました。数年前に死にました。現在主人の介護でいっぱいです。(在宅介護に切り替わります。)	1	0.2
	困難さを感じている方が近所にいないので	1	0.2
	仕事が介護福祉なので、時間と機会があれば手伝いをしてもよい	1	0.2
	自身80才ひとりぐらしのため自身のことでめいっぱいです。	1	0.2
	自分自身がお世話になっている為	1	0.2
	雪道での雪かき	1	0.2
	答できない	1	0.2
	頼られても困るから、今後いろいろな所に動く必要がある。	1	0.2
	合計	425	100.0

問3 1 あなたは自分の体が弱って、家事や育児等の日常生活に不具合が出てきたときに、家族や親戚の世話を受けられないとしたら、以下の事柄を誰に助けてもらいたいですか。

それぞれについて、あなたの考えに近いもの一つだけ選んで○をつけてください。

① 食料品・日用品の買い物

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	48	12.1
	ボランティアによる手伝い	28	7.1
	一般の有料サービス	154	38.8
	公的サービス	138	34.8
	人に頼らない	29	7.3
	合計	397	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	27	
	合計	28	
合計		425	

② 食事の支度（弁当などの宅配を含む）

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	23	5.9
	ボランティアによる手伝い	16	4.1
	一般の有料サービス	171	43.7
	公的サービス	148	37.9
	人に頼らない	33	8.4
	合計	391	100.0
欠損値	欠損・無回答	34	
	合計	425	

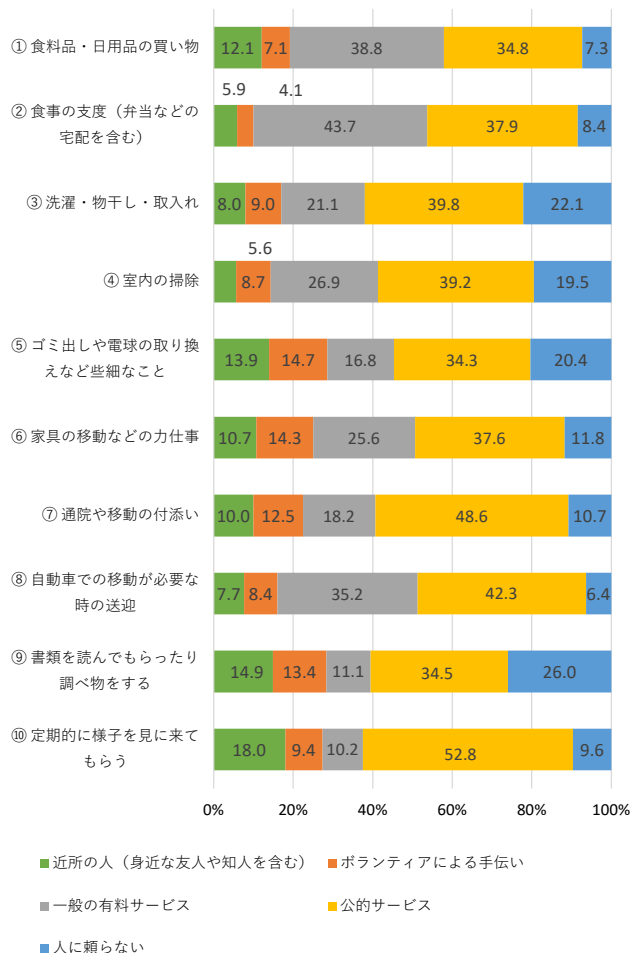
③ 洗濯・物干し・取入れ

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	31	8.0
	ボランティアによる手伝い	35	9.0
	一般の有料サービス	82	21.1
	公的サービス	155	39.8
	人に頼らない	86	22.1
	合計	389	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	35	
	合計	36	
合計		425	

④ 室内の掃除

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	22	5.6
	ボランティアによる手伝い	34	8.7
	一般の有料サービス	105	26.9
	公的サービス	153	39.2
	人に頼らない	76	19.5
	合計	390	100.0
欠損値	欠損・無回答	35	
	合計	425	

問3 1 あなたは自分の体が弱って、家事や育児等の日常生活に不具合が出てきたときに、家族や親戚の世話を受けられないとしたら、以下の事柄を誰に助けてもらいたいですか。



⑤ ゴミ出しや電球の取り換えなど些細なこと

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	54	13.9
	ボランティアによる手伝い	57	14.7
	一般の有料サービス	65	16.8
	公的サービス	133	34.3
	人に頼らない	79	20.4
	合計	388	100.0
欠損値	欠損・無回答	37	
合計		425	

⑥ 家具の移動などの力仕事

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	42	10.7
	ボランティアによる手伝い	56	14.3
	一般の有料サービス	100	25.6
	公的サービス	147	37.6
	人に頼らない	46	11.8
	合計	391	100.0
欠損値	欠損・無回答	34	
合計		425	

⑦ 通院や移動の付添い

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	39	10.0
	ボランティアによる手伝い	49	12.5
	一般の有料サービス	71	18.2
	公的サービス	190	48.6
	人に頼らない	42	10.7
	合計	391	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	33	
	合計	34	
合計		425	

⑧ 自動車での移動が必要な時の送迎

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	30	7.7
	ボランティアによる手伝い	33	8.4
	一般の有料サービス	138	35.2
	公的サービス	166	42.3
	人に頼らない	25	6.4
	合計	392	100.0
欠損値	欠損・無回答	33	
合計		425	

⑨ 書類を読んでもらったり調べ物をする

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	58	14.9
	ボランティアによる手伝い	52	13.4
	一般の有料サービス	43	11.1
	公的サービス	134	34.5
	人に頼らない	101	26.0
	合計	388	100.0
欠損値	欠損・無回答	37	
合計		425	

⑩ 定期的に様子を見に来てもらう

		度数	パーセント
有効	近所の人（身近な友人や知人を含む）	71	18.0
	ボランティアによる手伝い	37	9.4
	一般の有料サービス	40	10.2
	公的サービス	208	52.8
	人に頼らない	38	9.6
	合計	394	100.0
欠損値	欠損・無回答	31	
合計		425	

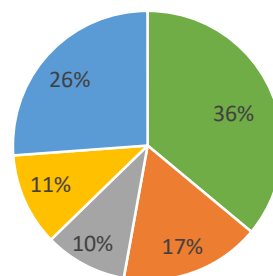
問3 2 近隣の「見守り支援活動」に関する以下の問いにお答えください。

(1) あなたは「見守り支援活動」について、どのようなイメージを持っていますか。

あなたの考えにもっとも近いもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	日常的に近隣の住民がみんなで互いに支え合うべき	146	36.0
	気遣いや支援が必要な人々の日常生活を特定の支援活動者が支えていくべき	68	16.8
	日常生活全般というよりは、防災や防犯など目的を限定した活動を行うべき	40	9.9
	人間関係やプライバシーの難しさがあるため、気の合う人で行えばよい	45	11.1
	いままで考えたことがないのでわからない	106	26.2
	合計	405	100.0
欠損値	不正回答	1	
	欠損・無回答	19	
	合計	20	
合計		425	

(1) あなたは「見守り支援活動」について、どのようなイメージを持っていますか。



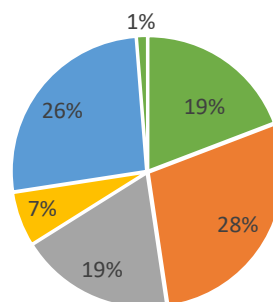
- 日常的に近隣の住民がみんなで互いに支え合うべき
- 気遣いや支援が必要な人々の日常生活を特定の支援活動者が支えていくべき
- 日常生活全般というよりは、防災や防犯など目的を限定した活動を行うべき
- 人間関係やプライバシーの難しさがあるため、気の合う人で行えばよい
- いままで考えたことがないのでわからない

(2) あなたの近隣で「見守り支援活動」を行うとしたら、どのような組織や体制が望ましいと考えますか。

あなたの考えに近いもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	隣り合う5~10軒程度で協力して取り組む	77	19.2
	町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤として活動グループをつくる	114	28.4
	町内会・自治会、地区社協、民生委員・児童委員、老人クラブ、PTA等の既存組織が連携して活動グループをつくる	74	18.5
	地域にある既存組織とは別に新たな活動組織（ボランティア団体、NPO）を立ち上げる	26	6.5
	公的機関や福祉施設が主体となって活動グループを運営する	105	26.2
	その他	5	1.2
	合計	401	100.0
欠損値	欠損・無回答	24	
合計		425	

(2) あなたの近隣で「見守り支援活動」を行うとしたら、どのような組織や体制が望ましいと考えますか。



- 隣り合う5~10軒程度で協力して取り組む
- 町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤として活動グループをつくる
- 町内会・自治会、地区社協、民生委員・児童委員、老人クラブ、PTA等の既存組織が連携して活動グループをつくる
- 地域にある既存組織とは別に新たな活動組織（ボランティア団体、NPO）を立ち上げる
- 公的機関や福祉施設が主体となって活動グループを運営する
- その他

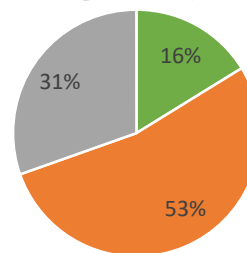
問32 (2) その他

		度数	パーセント
有効		423	99.5
	わからない	1	0.2
	強制されるのはイヤだし、あまりよく知らない人は逆に負担感がある。友人、知り合い中心がよい	1	0.2
	合計	425	100.0

(3) 上記(2)で選択した組織・体制で「見守り支援活動」を行う場合、その組織に自分や家族の個人情報（緊急連絡先など）を提供することについてあなたの考えに近いもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	個人情報の提供に特に抵抗感はない	65	16.2
	個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい	214	53.4
	個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある	122	30.4
	合計	401	100.0
欠損値	欠損・無回答	24	
合計		425	

(3) 上記(2)で選択した組織・体制で「見守り支援活動」を行う場合、その組織に自分や家族の個人情報（緊急連絡先など）を提供することについてあなたの考えに近いもの一つだけ選んで○をつけてください。



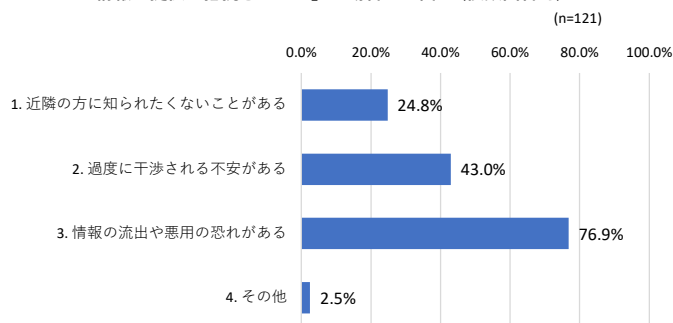
- 個人情報の提供に特に抵抗感はない
- 個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい
- 個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある

問32 「3.個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」の場合の理由（複数回答可）

問32_3 副問 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		度数	パーセント	
有効	1. 近隣の方に知られたくないことがある	30	16.9%	24.8%
	2. 過度に干渉される不安がある	52	29.2%	43.0%
	3. 情報の流出や悪用の恐れがある	93	52.2%	76.9%
	4. その他	3	1.7%	2.5%
合計		178	100.0%	147.1%

問32 「3.個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」の場合の理由（複数回答可）



問32_3 副問 その他内容

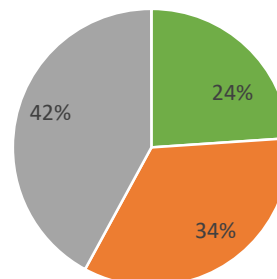
		度数	パーセント
有効	空欄	424	99.8
	近所の人が立ち話で他人の個人情報を平気で話してるのを何度も見た	1	0.2
	合計	425	100.0

(4) あなたの近隣で「見守り支援活動」の一環として日常生活上のお手伝い（問30であげた各項目のようなこと）を実施する場合、利用料金についてどのようにするとよいと思いますか。

あなたの考えに近いもの一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	無料にする（運営費は補助金等に頼る。活動者への謝礼は無し）	95	23.9
	1回のお手伝いにつき100～200円程度の最低限度の利用料を払ってもらい、受け取った料金は運営費にあて、活動者へ謝礼は渡さない	135	34.0
	1回のお手伝いにつき300～700円ぐらいの利用料を払ってもらい、受け取った料金の一部を活動者に謝礼として渡す	167	42.1
	合計	397	100.0
欠損値	欠損・無回答	28	
合計		425	

(4) あなたの近隣で「見守り支援活動」の一環として日常生活上のお手伝い（問30であげた各項目のようなこと）を実施する場合、利用料金についてどのようにするとよいと思いますか。



- 無料にする（運営費は補助金等に頼る。活動者への謝礼は無し）
- 1回のお手伝いにつき100～200円程度の最低限度の利用料を払ってもらい、受け取った料金は運営費にあて、活動者へ謝礼は渡さない
- 1回のお手伝いにつき300～700円ぐらいの利用料を払ってもらい、受け取った料金の一部を活動者に謝礼として渡す

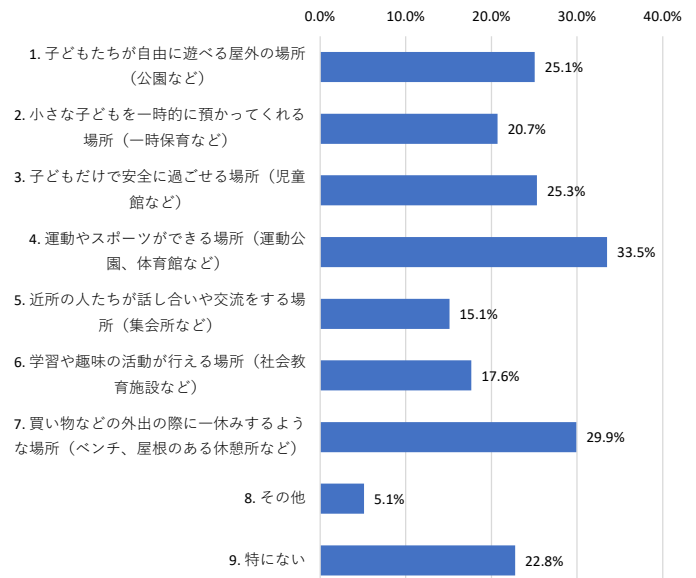
問3 3 あなたが日常生活を送っている近隣の環境について、不足していると感じることとして当てはまるものに○をつけてください。
(複数回答可)

問33 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント
	度数	パーセント	
1. 子どもたちが自由に遊べる屋外の場所（公園など）	98	12.8%	25.1%
2. 小さな子どもを一時的に預かってくれる場所（一時保育など）	81	10.6%	20.7%
3. 子どもだけで安全に過ごせる場所（児童館など）	99	13.0%	25.3%
4. 運動やスポーツができる場所（運動公園、体育館など）	131	17.2%	33.5%
5. 近所の人たちが話し合いや交流をする場所（集会所など）	59	7.7%	15.1%
6. 学習や趣味の活動が行える場所（社会教育施設など）	69	9.0%	17.6%
7. 買い物などの外出の際に一休みするような場所（ベンチ、屋根のある休憩所など）	117	15.3%	29.9%
8. その他	20	2.6%	5.1%
9. 特にない	89	11.7%	22.8%
合計	763	100.0%	195.1%

問3 3 あなたが日常生活を送っている近隣の環境について、不足していると感じることとして当てはまるものに○をつけてください。

(n=391)



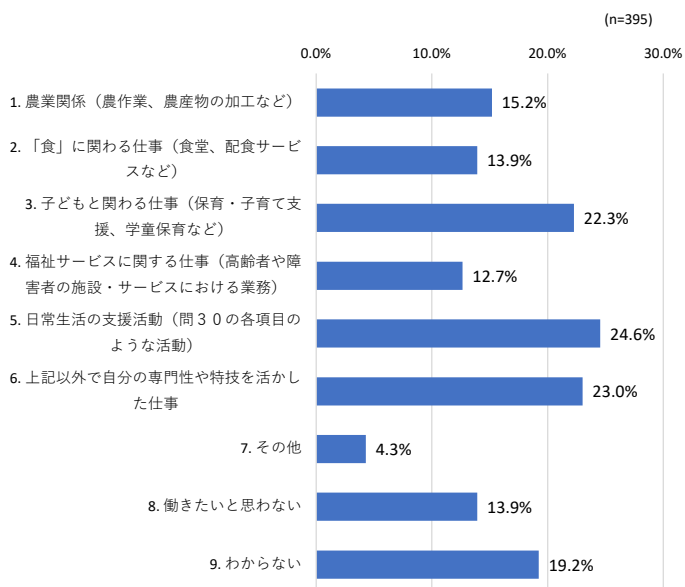
問33 その他内容

	度数	パーセント
有効	405	95.3
空欄		
①公園にゴミをおいていく、(子供菓子の袋など) ついてきた大人はそしらぬ顔、公園をまわって管理、子供に指導してほしい。②バス通りのケヤ木の根が、もりあがっており、歩行が危い。	1	0.2
スーパーマーケット	1	0.2
たまブラザーのような駅ビル	1	0.2
ヘルパー、運転手、相談できる専門職などソフトな環境の養成	1	0.2
暗い場所に街灯を増やしてほしい。	1	0.2
緑、豊かな自然を活かした公園	1	0.2
犬が遊べるドッグラン付の公園	1	0.2
交通手段	1	0.2
公園が汚いので、数はあるけど利用できる所がない。	1	0.2
高齢者の憩いの場	1	0.2
災害時の施設(専用、本〇)上記のどの施設をつくるときも兼にすべき	1	0.2
車の裏通りになっている(抜道) 激しい	1	0.2
食料品や日用品のお店、気軽に立ち寄れるカフェ	1	0.2
森<林>などで遊べる場所	1	0.2
図書館、科学館、それにプール(市営)	1	0.2
図書館が汚い、病児保育がない	1	0.2
水あそび場、花火ができる場所、BBQができる公園	1	0.2
青葉区(横浜市)の病院を利用したい(健診) 道路は喜んで青葉区なので...	1	0.2
転入したばかりでよくわからない	1	0.2
歩道を確保してほしい 菅生ヶ丘にほとんどない学校往復に支障きたしている	1	0.2
合計	425	100.0

問34 あなたが高齢期になってそれまでの仕事をリタイアしたあと、近隣で就労できるとしたらどのようなことをしたいですか。
 当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

	応答数		ケースのパーセント
	度数	パーセント	
1. 農業関係(農作業、農産物の加工など)	60	10.2%	15.2%
2. 「食」に関わる仕事(食堂、配食サービスなど)	55	9.3%	13.9%
3. 子どもに関わる仕事(保育・子育て支援、学童保育など)	88	14.9%	22.3%
4. 福祉サービスに関する仕事(高齢者や障害者の施設・サービスにおける業務)	50	8.5%	12.7%
5. 日常生活の支援活動(問30の各項目のような活動)	97	16.5%	24.6%
6. 上記以外で自分の専門性や特技を活かした仕事	91	15.4%	23.0%
7. その他	17	2.9%	4.3%
8. 働きたいと思わない	55	9.3%	13.9%
9. わからない	76	12.9%	19.2%
合計	589	100.0%	149.1%

問34 あなたが高齢期になってそれまでの仕事をリタイアしたあと、近隣で就労できるとしたらどのようなことをしたいですか。



問34 自分の専門性や特技を活かした仕事内容

	度数	パーセント
有効	406	95.5
空欄	1	0.2
2~4のサービスではなく、事務業務	1	0.2
スーパー	1	0.2
パソコン	1	0.2
パソコンでの作業	1	0.2
飲食業	1	0.2
英会話	1	0.2
家庭教師	1	0.2
画家	1	0.2
教育関係	1	0.2
語学、IT教育	1	0.2
公証人	1	0.2
広報、資料作成など	1	0.2
最先端ソフト・ハード開発 カメラ ASDSなど	1	0.2
知的財産の供与	1	0.2
電気機材	1	0.2
年金相談等	1	0.2
薬、医学、健康に関する相談業務	1	0.2
IT関連	1	0.2
PC	1	0.2
合計	425	100.0

問34その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	408	96.0
	そうじ	1	0.2
	その時と場合によるが、軽作業だと思われま	1	0.2
	その時の健康状態がわからないので、なんと	1	0.2
	パート	1	0.2
	ボランティアで医療の現場で働きたい(車いすを	1	0.2
	英語を使って外国人の支援	1	0.2
	既に高齢	1	0.2
	高齢のため出来ない	1	0.2
	自営のためリタイアない	1	0.2
	自営業 自然写真撮影業	1	0.2
	書類の説明、調べ物の手伝	1	0.2
	心理関係	1	0.2
	体が思う様に動けない	1	0.2
	低学力の中学生への学習支援(英語、数学など)	1	0.2
	販売	1	0.2
	不動産投資	1	0.2
	老夫婦(81才、75才)なので無理	1	0.2
	合計	425	100.0

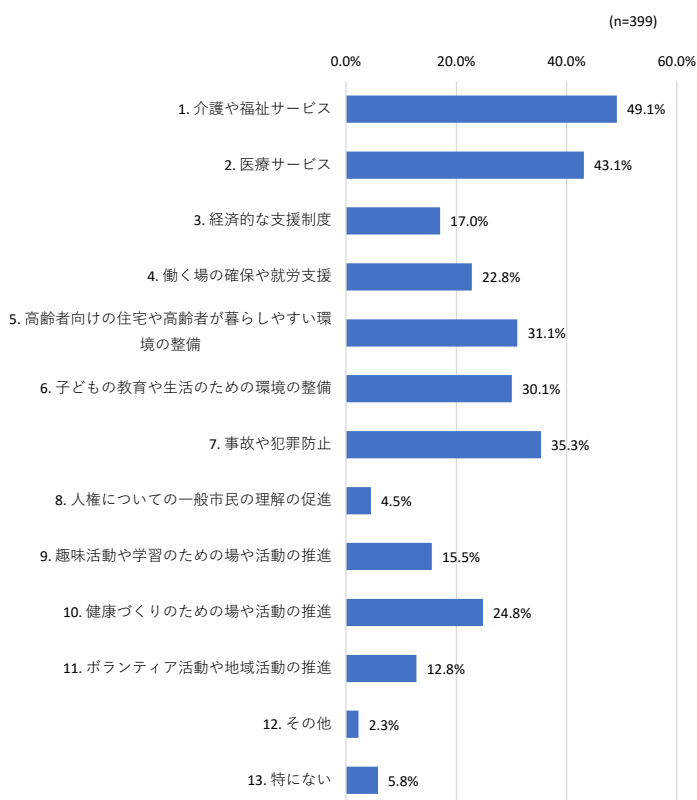
問35 今後お住まいの地域で生活していくうえで、公的な取り組みとして特に充実させたいと思うことについて、当てはまるものに○をつけてください。

(複数回答可)

問35 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント
	度数	パーセント	
1. 介護や福祉サービス	196	16.7%	49.1%
2. 医療サービス	172	14.7%	43.1%
3. 経済的な支援制度	68	5.8%	17.0%
4. 働く場の確保や就労支援	91	7.8%	22.8%
5. 高齢者向けの住宅や高齢者が暮らしやすい環境の整備	124	10.6%	31.1%
6. 子どもの教育や生活のための環境の整備	120	10.2%	30.1%
7. 事故や犯罪防止	141	12.0%	35.3%
8. 人権についての一般市民の理解の促進	18	1.5%	4.5%
9. 趣味活動や学習のための場や活動の推進	62	5.3%	15.5%
10. 健康づくりのための場や活動の推進	99	8.4%	24.8%
11. ボランティア活動や地域活動の推進	51	4.3%	12.8%
12. その他	9	0.8%	2.3%
13. 特にない	23	2.0%	5.8%
合計	1174	100.0%	294.2%

問35 今後お住まいの地域で生活していくうえで、公的な取り組みとして特に充実させたいと思うことについて、当てはまるものに○をつけてください。



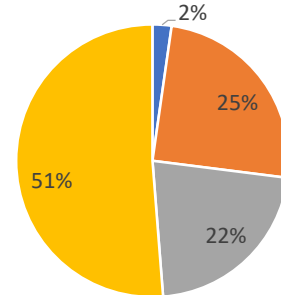
問35 その他内容

		度数	パーセント
有効	空欄	417	98.1
	コミュニティバスの運行を早めること	1	0.2
	バス以外の交通手段もしくはバス利用等の補助	1	0.2
	ベンチ、屋根のある休憩所、バス停に屋根とベンチの設置	1	0.2
	リバースモーター	1	0.2
	医療費無料化。東京都などは所得に関わらず無料です。子育ての街とうたっているのに実態は一定の所得をこえると、満足に社会保障も受けられず、不公平すぎます。	1	0.2
	現在は自家用車があるため、施設・病気に不十分と〇〇ないが、市営地下鉄の開通やバス補助など交通費のサポートが必要	1	0.2
	大型スーパー 宮前平にイトーヨー堂がほしい⇒介護用下着等が充実	1	0.2
	文化活動、科学啓蒙活動	1	0.2
	合計	425	100.0

問3 6 宮前区では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めているところです。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

		度数	パーセント
有効	地域包括ケアシステムについて、理解していて、そのための行動をしている	9	2.3
	地域包括ケアシステムについて、理解しているが、そのための行動はしていない	99	24.8
	地域包括ケアシステムについて、聞いたことはあるが、意味はよく分からない	87	21.8
	地域包括ケアシステムについて、聞いたこともない	205	51.3
欠損	欠損・無回答	25	100.0
合計		425	

問3 6 宮前区では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めているところです。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。



- 地域包括ケアシステムについて、理解していて、そのための行動をしている
- 地域包括ケアシステムについて、理解しているが、そのための行動はしていない
- 地域包括ケアシステムについて、聞いたことはあるが、意味はよく分からない
- 地域包括ケアシステムについて、聞いたこともない

Ⅲ. 調査結果と分析結果

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート

2. 宮前区民の地域の医療と災害に関する分析結果

クロス集計

聖マリアンナ医科大学

【集計方法】

(1) クロス集計

各設問について性別、年代階級別、地域別、家族構成別のクロス集計を行った。検定は χ^2 乗検定、Fisher法、モンテカルロ法、Wilcoxon法を用いて検討した。両側検定で $p < 0.05$ を統計学的に有意とした。

(2) グループ化

○性別
男・女

○年代階級別（年代別）

- ・ 3階級：30-49歳・50-64歳・65歳以上
- ・ 2階級：64歳以下・65歳以上

○地域別

地域分類は、川崎市宮前区の地域包括支援センターの担当地域に基づいて分類（一部変更）

- ・ みかど荘 → 野川、梶ヶ谷
- ・ 鷺ヶ峯 → 水沢、潮見台、菅生ヶ丘、菅生、初山
- ・ 富士見プラザ → 東有馬、有馬
- ・ レストア川崎 → 鷺沼、土橋、犬蔵
- ・ フレンド神木 → 五所塚、平、白幡台、神木本町
- ・ 宮前平 → 小台、宮前平、馬絹
- ・ ビオラ宮崎 → けやき平、南平台、神木、宮崎、宮崎 1-6 丁目

○家族構成

- ・ 同居家族（有・無）
- ・ 子どもとの同居（有・無）
- ・ 配偶者（有・無）

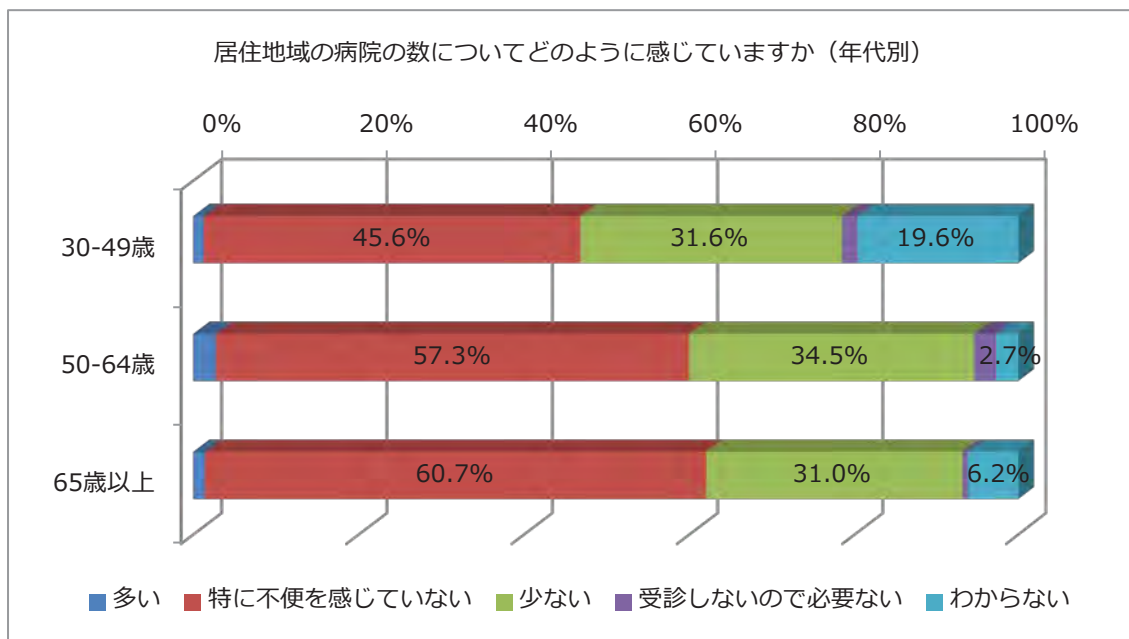
(3) 地域別の医療機関の数

川崎市宮前区ホームページの「医療機関情報（かわさきのお医者さん）」を用いて、地域別の病院数、診療所数を調べた。

(4) 性別、年代別、地域別の分析については、統計的に有意差が認められた結果のみを掲載した。

問 8 あなたのお住まいの地域の医療施設の数についてどのように感じていますか。

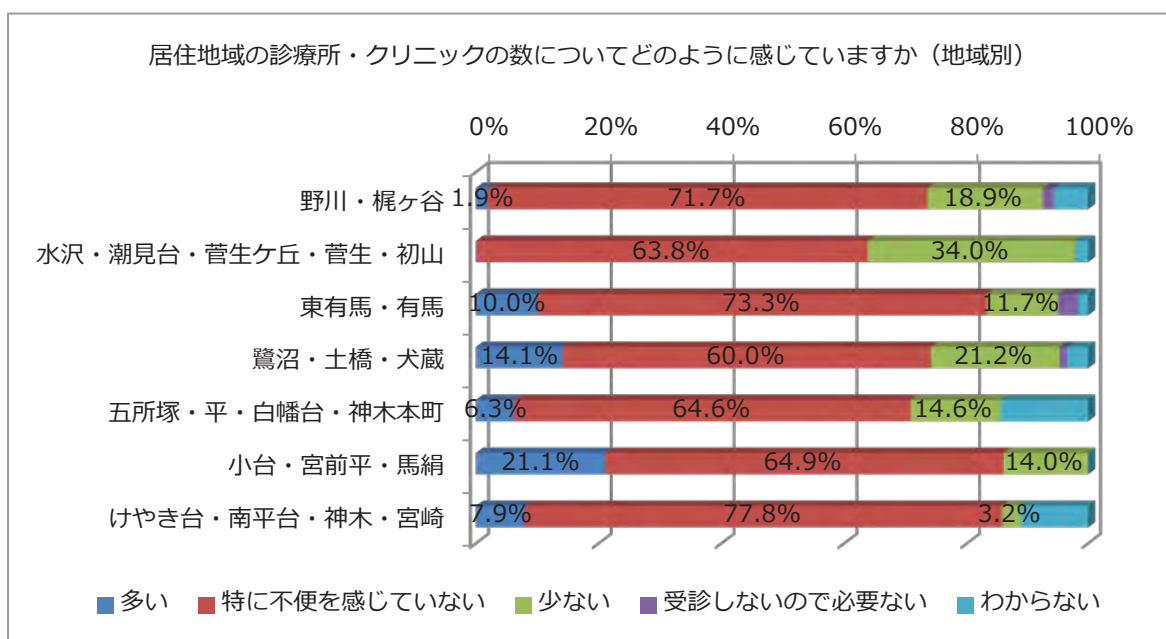
(1) 病院（入院できる医療施設）の数について、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別による差が認められた。30-49歳では「特に不便を感じていない」が少なく、「わからない」が多かった。50-64歳では「わからない」が少なく、65歳以上では「特に不便を感じていない」が多く、「わからない」が少なかった ($p<0.001$)。性別、地域別、家族構成別による差は認められなかった。



(2) 診療所・クリニック（入院できない医療施設）の数について、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、地域別と子どもの同居の有無による差が認められた。

地域別では、水沢・潮見台・菅生ケ丘・菅生・初山地区では「少ない」が多く、小台・宮前平・馬絹地区では「多い」が多かった ($p<0.001$)。けやき台・南平台・神木・宮崎地区では「多い・特に不便を感じていない」が多かった ($p=0.003$)。

子どもの同居の有無では、子どもと同居していない人は「わからない」が多かった ($p=0.026$)。性別、年代別、家族構成別（同居家族の有無）による差は認められなかった。



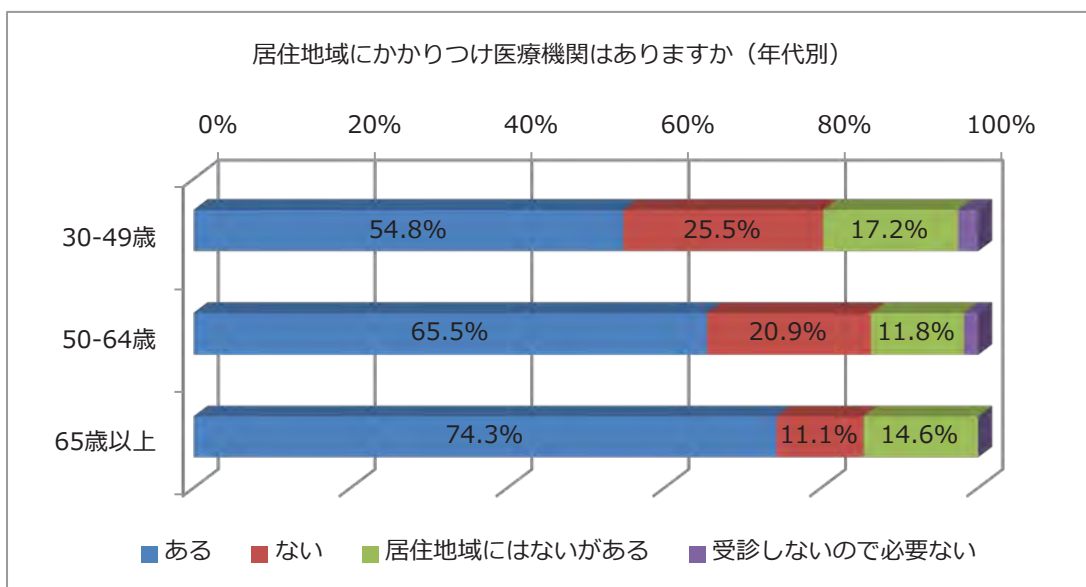
居住地域の診療所・クリニックの数が「多い、または特に不便していない」と回答した人が多かった地域と「少ない」と回答した人が多かった地域の診療所・クリニックの数を調べた結果、充足感と診療所やクリニックの数には関連が見られた。

地域別診療所・クリニック数と充足感の比較

町域	診療所数 (小区分)	診療所数 (大区分)	充足感			受診しない ので必要ない	わからない	合計
			多い	特に不便を感じていない	少ない			
野川	4	4	1	33	10	1	3	48
梶ヶ谷	0		0	4	0	0	0	4
水沢	1	4	0	1	3	0	0	4
潮見台	1		0	1	0	0	0	1
菅生ヶ丘	0		0	4	3	0	0	7
菅生	2		0	17	9	0	1	27
初山	0		0	7	1	0	0	8
東有馬	3	6	5	16	1	0	0	22
有馬	3		1	28	6	2	1	38
鷺沼	11	20	3	13	6	0	1	23
土橋	9		6	24	3	0	2	35
犬蔵	0		3	14	9	1	0	27
五所塚	1	4	1	3	0	0	0	4
平	1		1	15	3	0	2	21
白幡台	1		0	4	0	0	2	6
神木本町	1		1	9	4	0	3	17
小台	7	17	2	9	0	0	0	11
宮前平	7		6	15	3	0	0	24
馬絹	3		4	13	5	0	0	22
けやき台	2	17	0	7	0	0	3	10
南平台	1		0	8	1	0	1	10
神木	1		0	6	1	0	1	8
宮崎	13		5	28	0	0	2	35

問9 あなたのお住まいの地域にかかりつけの医療機関はありますか。

かかりつけの医療機関の有無について、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別による差が認められた。30-49歳では「ない」、65歳以上では「ある」が多かった (p=0.004)。性別、地域別、家族構成別による差は認められなかった。

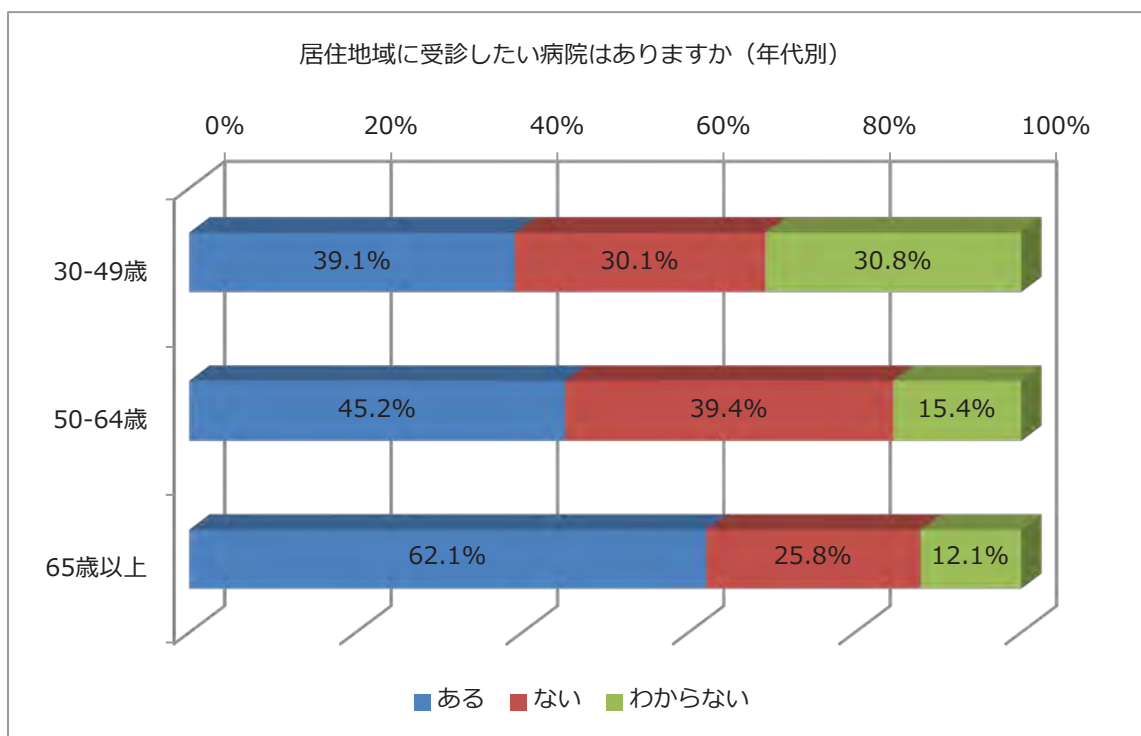
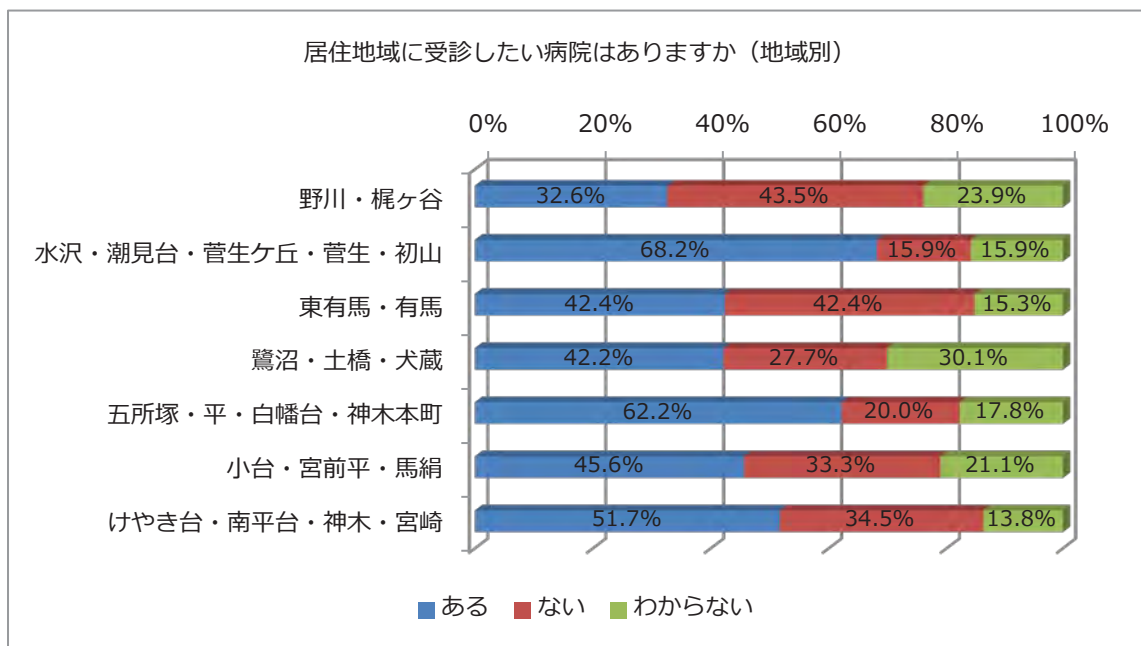


問 10 あなたのお住まいの地域に受診したいと思う病院や診療所・クリニックはありますか。

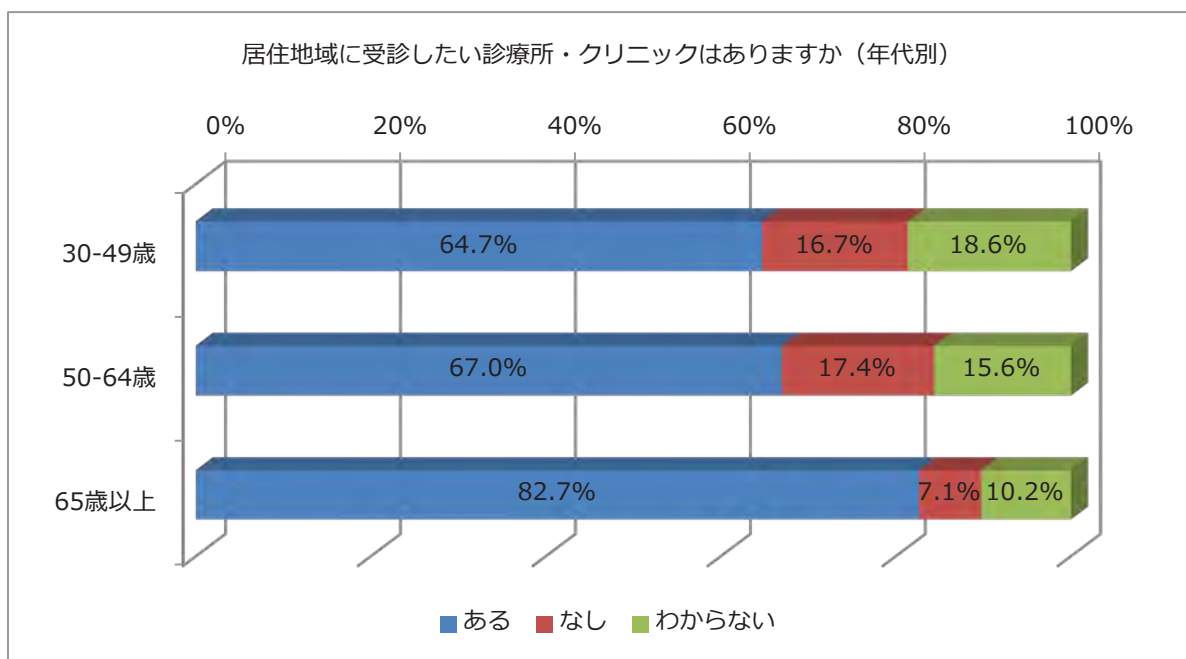
(1) 居住地域に受診したいと思う病院があるかについて、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別と地域別による差が認められた。

地域別では、水沢・潮見台・菅生ケ丘・菅生・初山地区と五所塚・平・白幡台・神木本町地区では「ある」が多く、野川・梶ヶ谷地区では「ある」が少なかった。東有馬・有馬地区では「ない」が多く、鷺沼・土橋・犬蔵地区では「わからない」が多かった (p=0.011)。

年代別では、30-49 歳では「ある」が少なく、「わからない」が多かった。50-64 歳では「ない」が多かった。65 歳以上では「ある」が多く、「わからない」が少なかった (p<0.001)。性別や家族構成別による差は認められなかった。

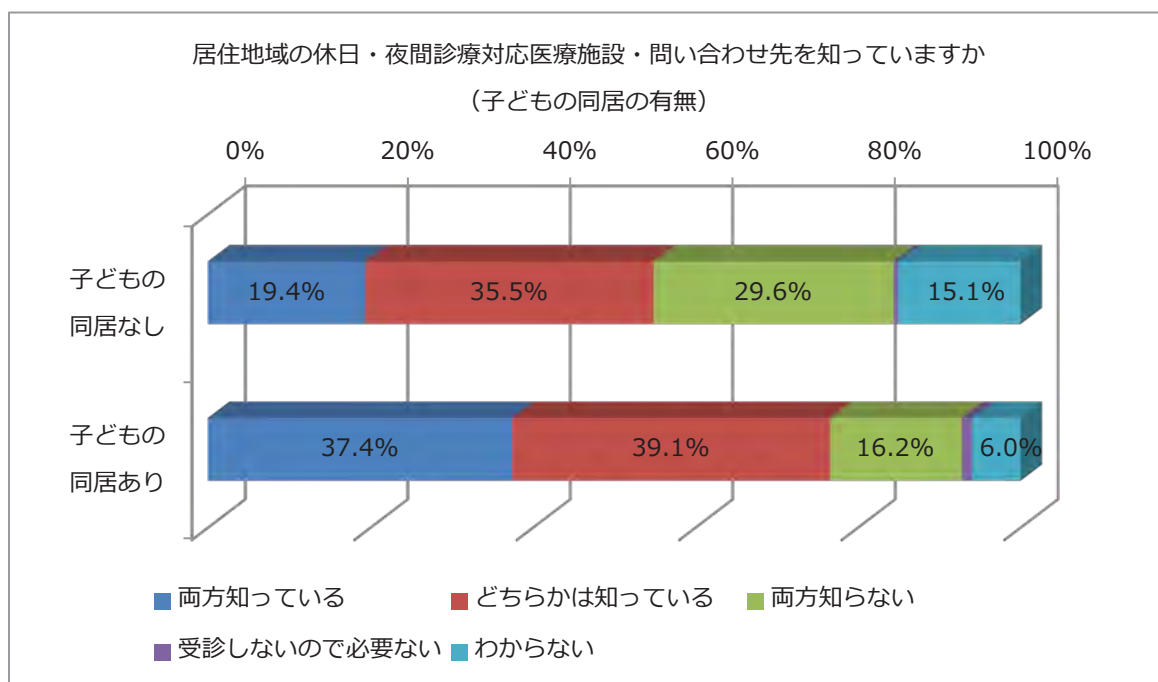


(2) 居住地域に受診したいと思う診療所・クリニックがあるかについて、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別による差が認められた。30-49歳では「ある」が少なく、65歳以上では「ある」が多く、「ない」が少なかった (p=0.012)。性別、地域別、家族構成別による差は認められなかった。



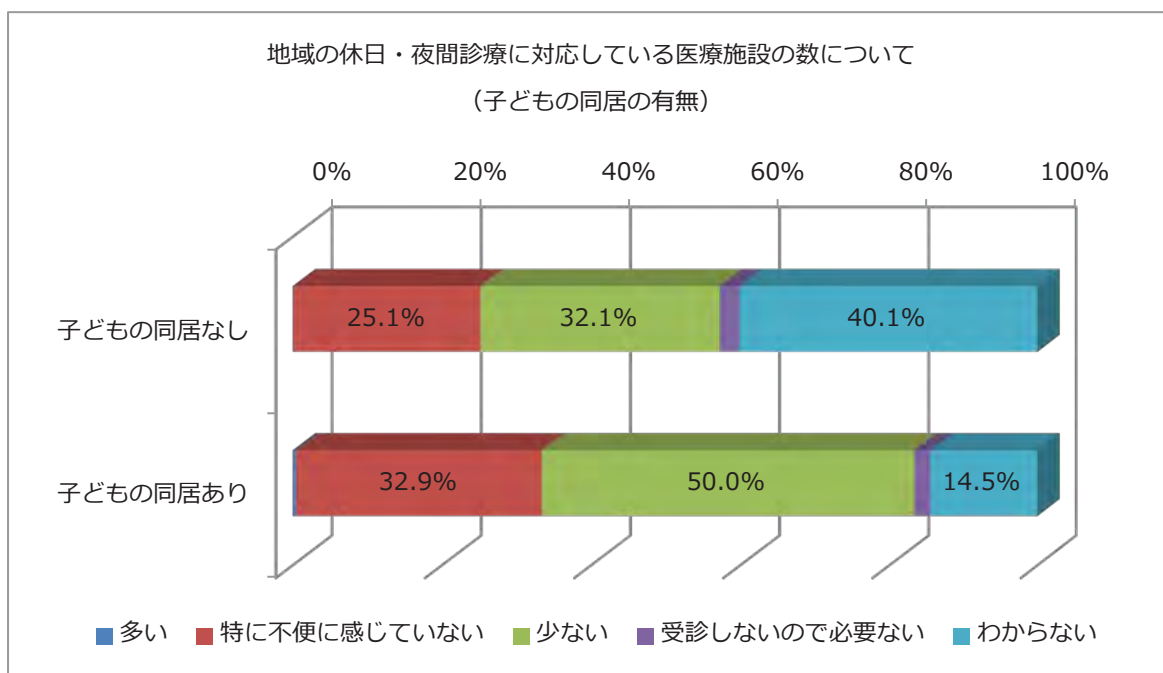
問 11 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設、または問い合わせ先 (連絡先) について知っていますか。

地域の休日・夜間診療に対応している医療施設、または問い合わせ先について、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、子どもの同居の有無による差が認められた。子どもと同居している人は「両方知っている」が多く、子どもと同居していない人は「両方知らない」「わからない」が多かった (p<0.001)。性別、年代別、地域別による差は認められなかった。



問 12 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設の数について、どのように感じていますか。

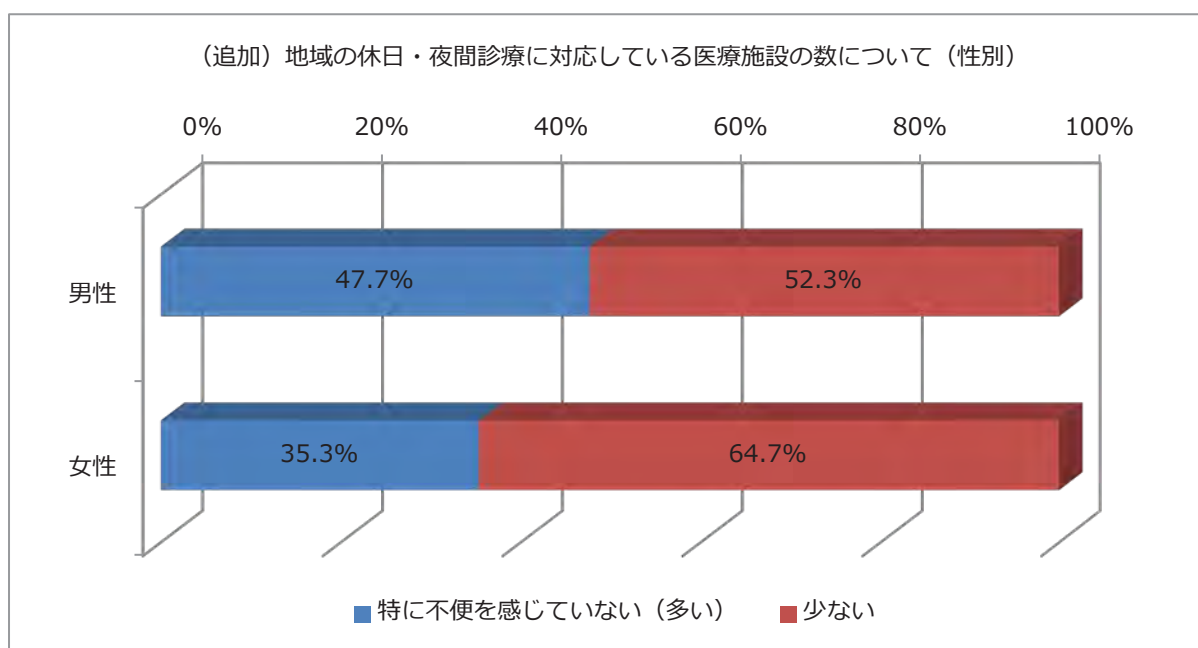
「1. 多い」、「2・不便を感じない」、「3. 少ない」、「4. 受診しないので必要ない」、「5. わからない」の 5 択で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、性別、年代別、地域別による差は認められなかったが、子どもの同居の有無による差が認められた。子どもと同居していない人は「わからない」が多く、子どもと同居している人は「少ない」が多かった (p<0.001)。



【追加解析 1】

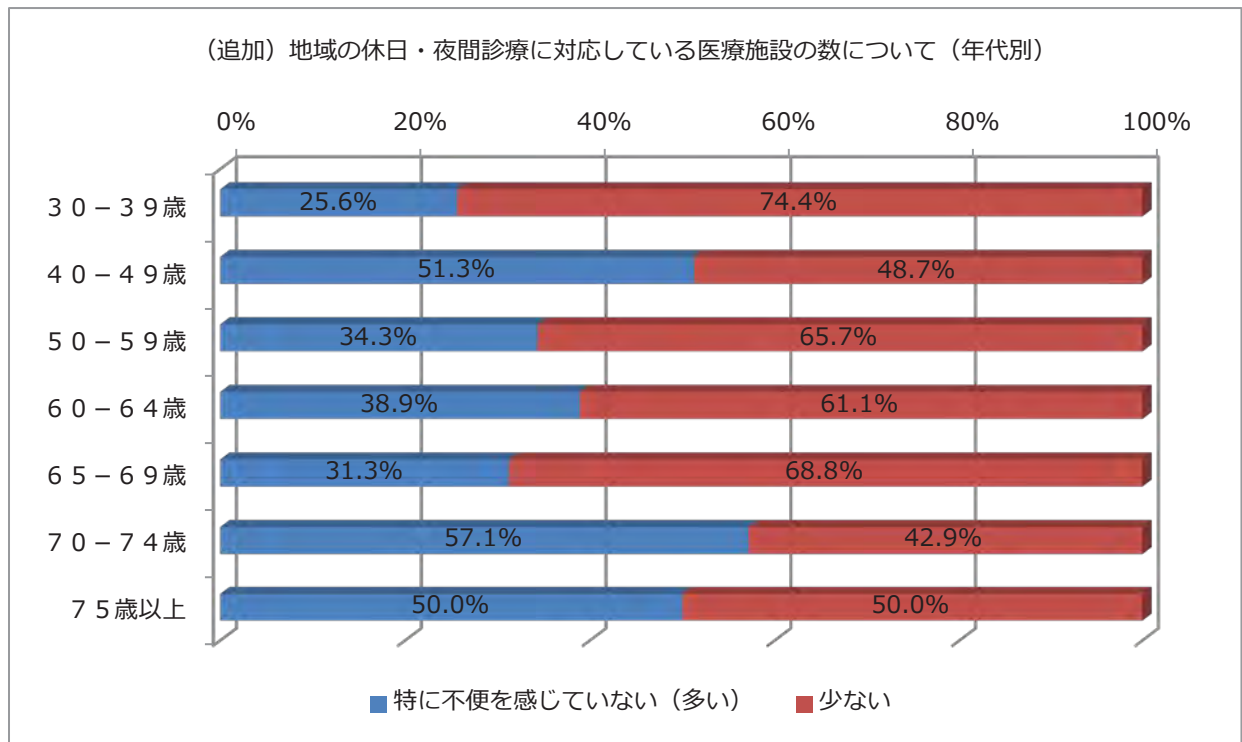
回答の選択肢を「多いまたは不便を感じない」と「少ない」で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、性別と年代別で差が認められた。

性別では、男性は「多い、または不便を感じない」が多く、女性は「少ない」が多かった (p=0.031)。



【追加解析 2】

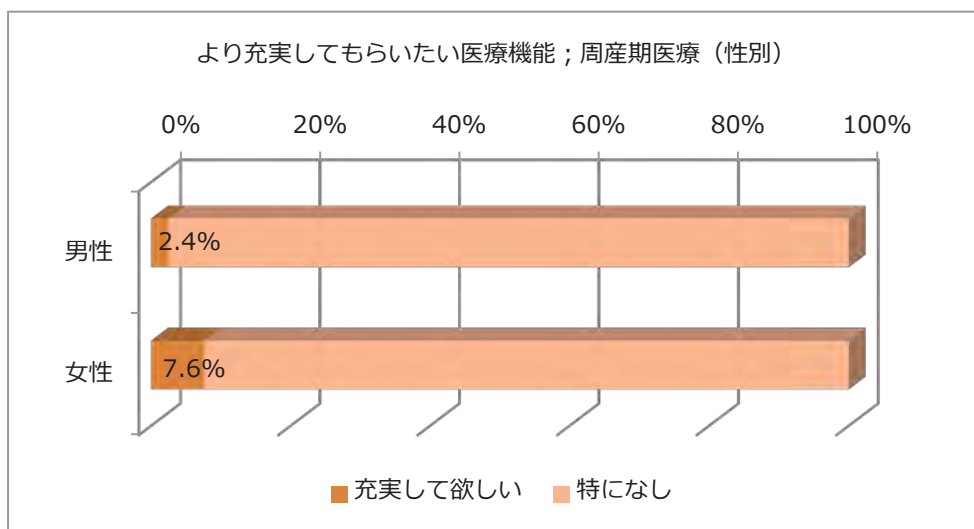
年代別では、30-39歳では「少ない」が多く、40-49歳では「多い」が多かった (p=0.031)。

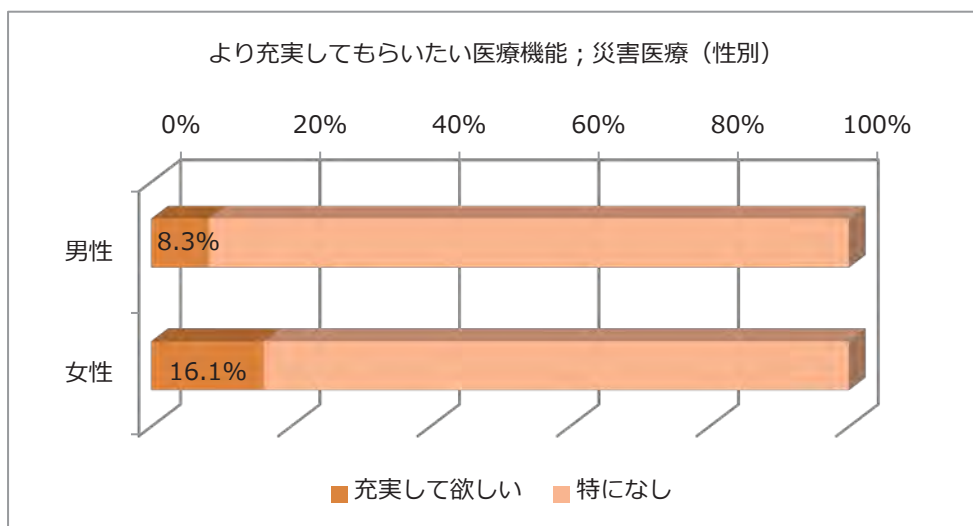


問 13 あなたのお住まいの地域の医療体制について、より充実してもらいたい医療機能について、当てはまるものに○を付けてください。(複数回答可)

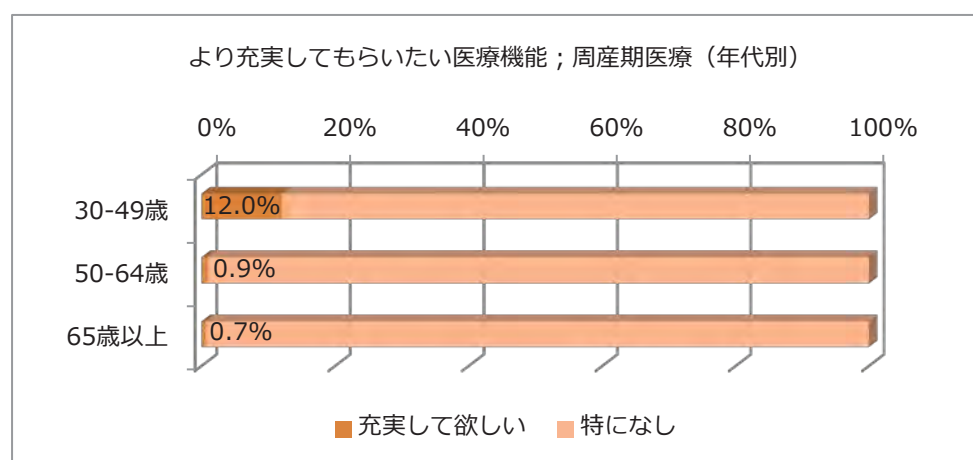
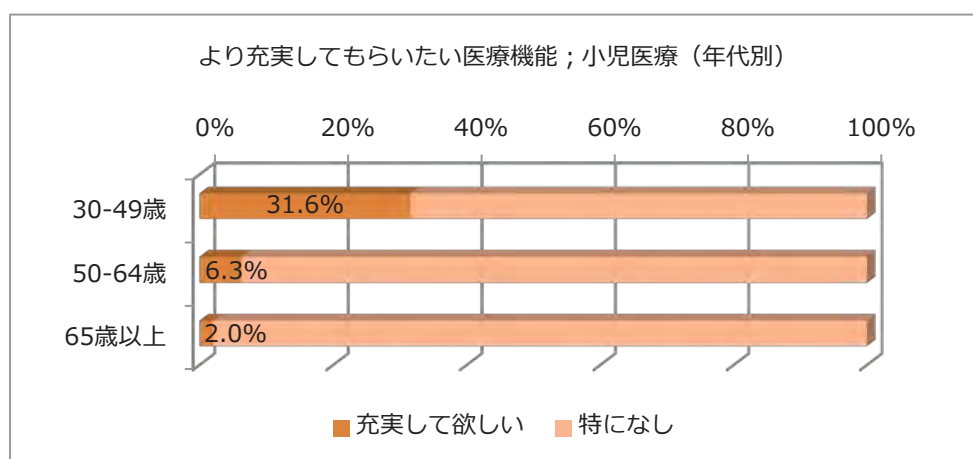
- 1. 小児医療 2. 救急医療 (夜間・休日の医療) 3. 周産期医療 (産科) 4. がん医療
- 5. 脳疾患医療 6. 心疾患医療 7. 糖尿病医療 8. 精神科医療 (認知症含む)
- 9. 災害時医療 10. 在宅医療 (往診・訪問診療)

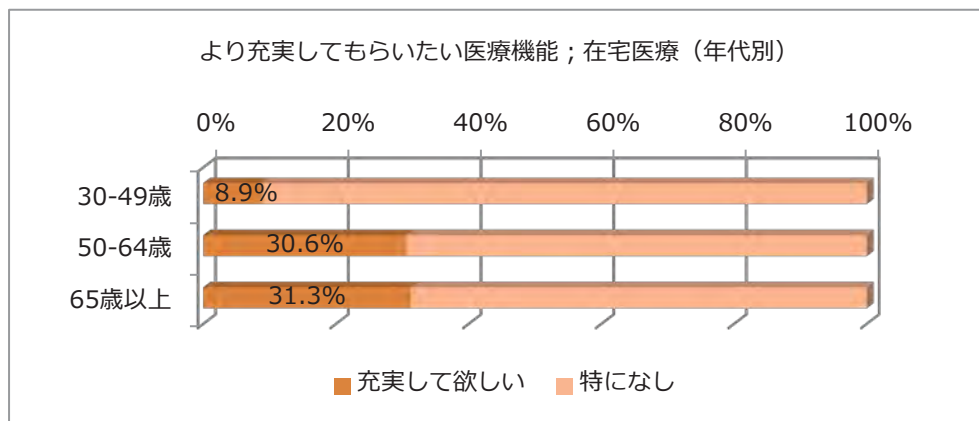
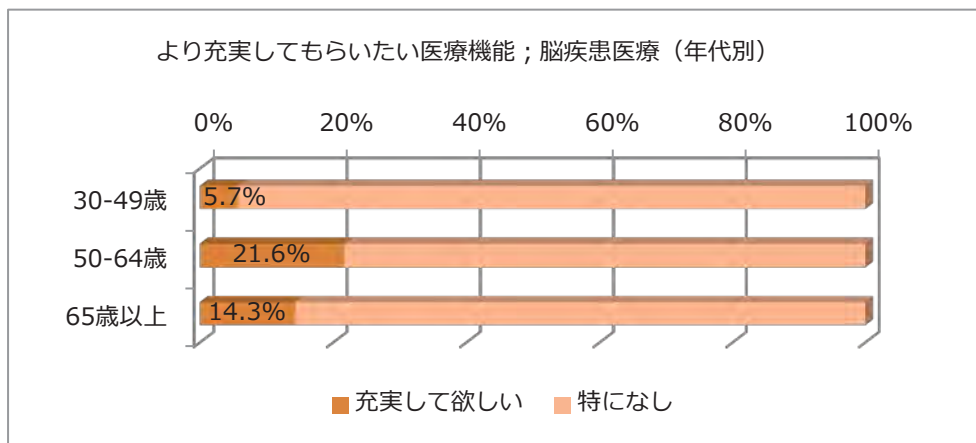
上記の 1~10 を選択した人 (充実して欲しい) と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、性別で差が認められたのは周産期医療と災害医療であった。「周産期医療」と「災害医療」を選択した人は、女性が多かった (周産期医療 p=0.017, 災害医療 p=0.015)。



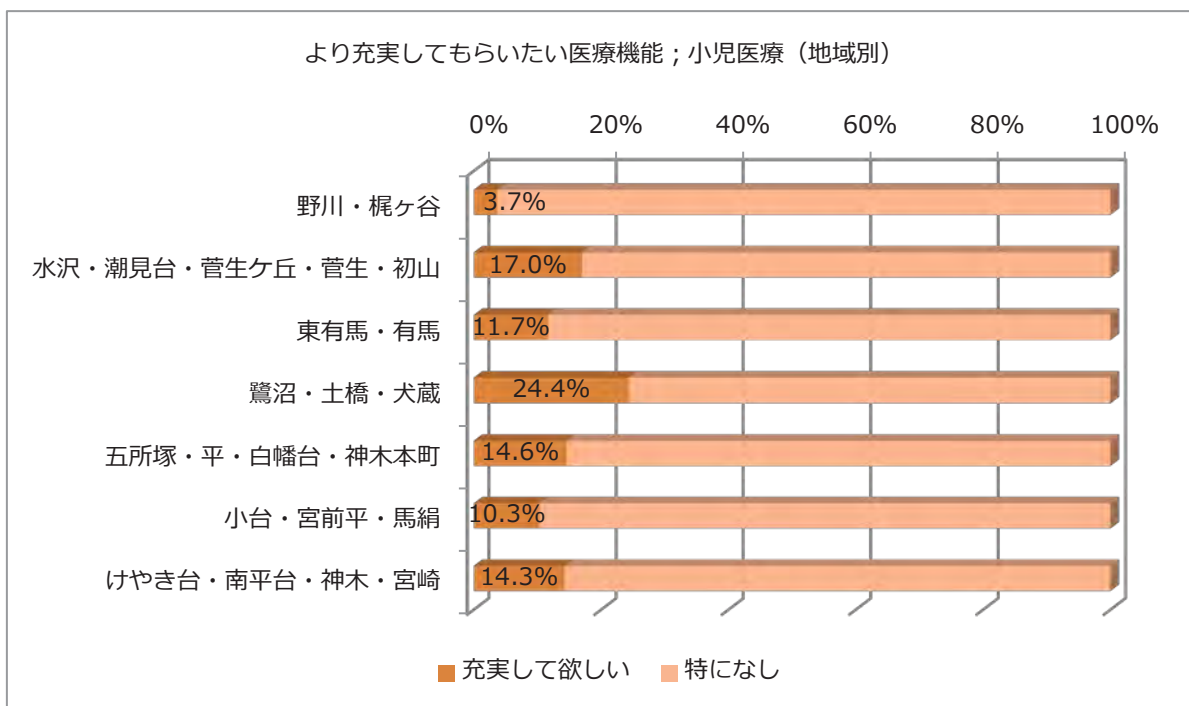


次に、年代別で差が認められたのは、小児医療、周産期医療、脳疾患医療、在宅医療であった。
「小児医療」と「周産期医療」を選択した人は、30-49歳が多く、50-64歳、65歳以上は少なかった（小児医療 $p<0.001$ ，周産期医療 $p<0.001$ ）。
「脳疾患医療」を選択した人は、50-64歳が多く、30-49歳は少なかった（ $p=0.001$ ）。
「在宅医療」を選択した人は、50-64歳、65歳以上が多く、30-49歳は少なかった（ $p<0.001$ ）。





次に、地域別で差が認められたのは、小児医療であった。
「小児医療」を選択した人は、鷺沼・土橋・犬蔵地区に多く、野川・梶ヶ谷地区では少なかった (p=0.037)。

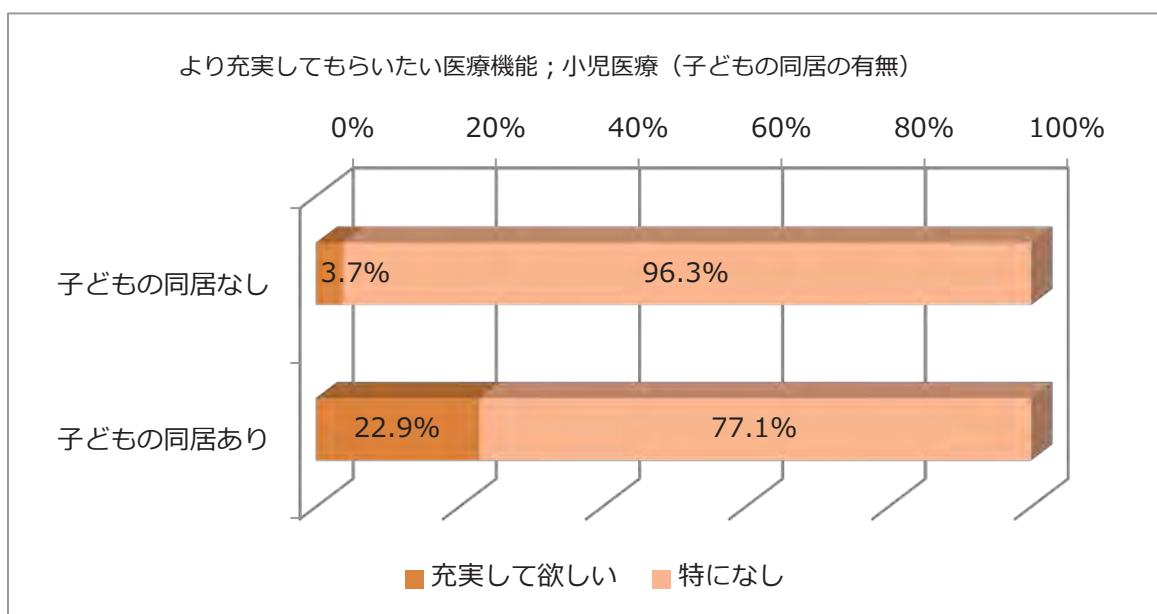


「小児医療」を選択した人が多かった地域（鷺沼・土橋・犬蔵）の小児科を標榜している診療所・クリニックの数を調べた結果、鷺沼と犬蔵には小児科を標榜している診療所やクリニックはなかった。

地域別の小児科を標榜している診療所・クリニック数と小児医療の充実を望む人数の比較

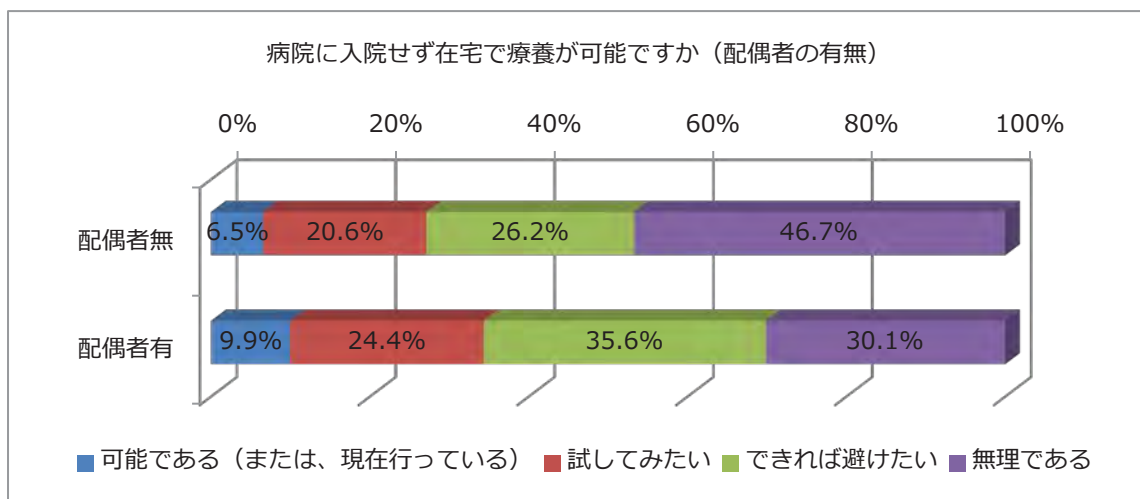
町域	診療所数	診療所数	充実して 欲しい	特になし	合計
	(小区分)	(大区分)			
野川	2	2	1	48	49
梶ヶ谷	0		0	4	4
水沢	0	1	1	3	4
潮見台	1		0	1	1
菅生ヶ丘	0		1	6	7
菅生	0		6	21	27
初山	0		0	8	8
東有馬	0	1	2	20	22
有馬	1		5	33	38
鷺沼	0	3	8	15	23
土橋	3		3	32	35
犬蔵	0		10	18	28
五所塚	1	3	0	4	4
平	1		4	17	21
白幡台	1		0	6	6
神木本町	0		3	14	17
小台	0	4	2	9	11
宮前平	2		1	24	25
馬絹	2		3	19	22
けやき台	1	7	1	9	10
南平台	1		2	8	10
神木	0		2	6	8
宮崎	5		4	31	35

家族構成別で子どもの同居の有無で差が認められたのは、小児医療であった。
「小児医療」を選択した人は、子どもと同居している人が多かった (p<0.001)。



問 14 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気・けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。

「病院には入院せず在宅で療養することは可能か」について、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、配偶者の有無で差が認められた。配偶者がいない人は「無理である」が多く、配偶者のいる人は「無理である」が少なかった（ $p=0.018$ ）。性別、年代別、地域別、家族構成別（同居家族の有無、子どもの同居の有無）による差は認められなかった。



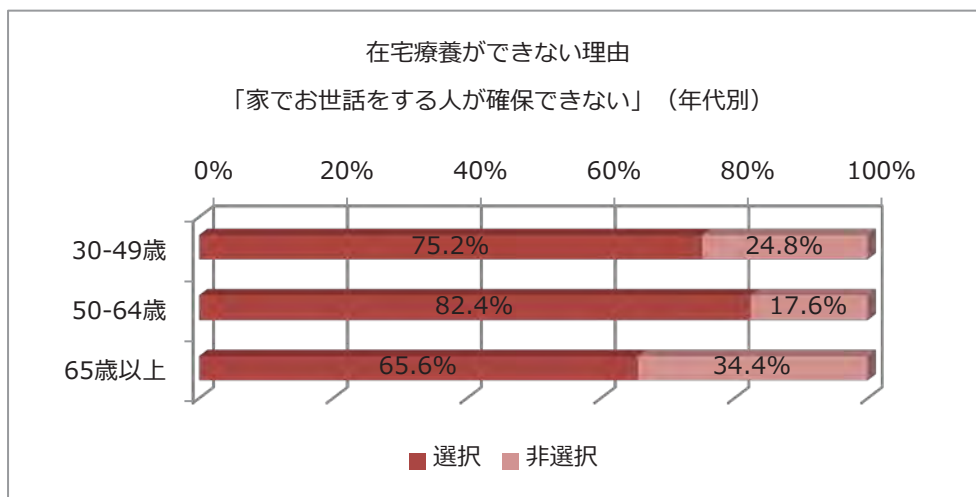
★「3. できれば避けたい」または「4. 無理である」と回答した理由の上位4つについて、これらの選択肢を選じた人と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。

【上位4つの理由】

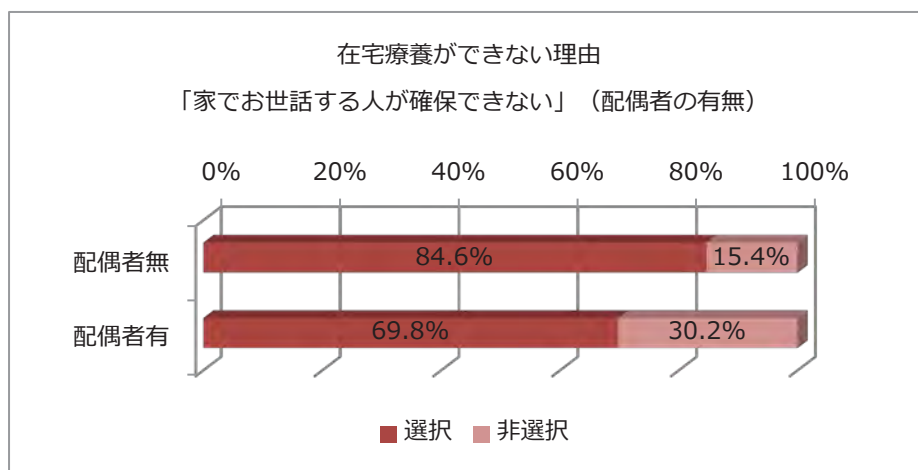
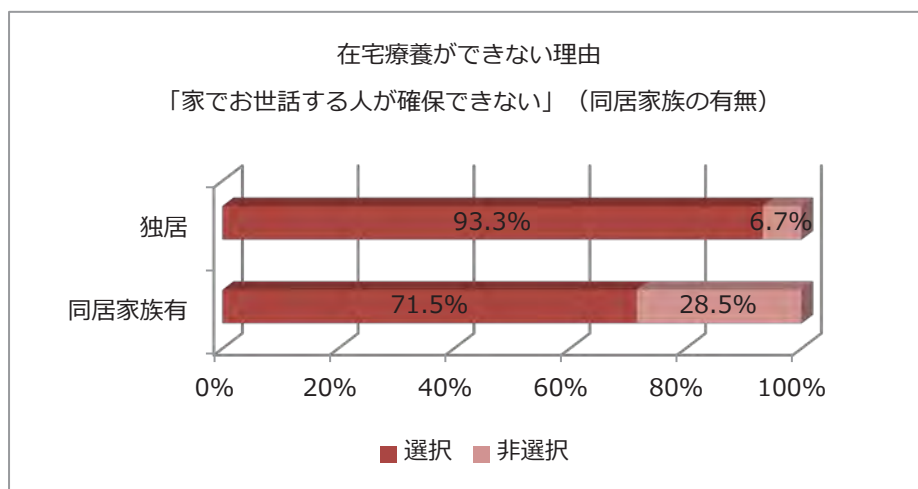
1. 家でお世話をする人が確保できないため
2. 急に病状が変わったときの対応などが不安なため
3. 療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため
4. 経済的事情や費用が心配なため

在宅療養ができない理由として「家でお世話をする人が確保できないため」を選じた人と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別、同居家族の有無、配偶者の有無で差が認められた。

年代別では、「家でお世話をする人が確保できないため」という理由を選じた人は、65歳以上では少なかった（ $p=0.046$ ）。

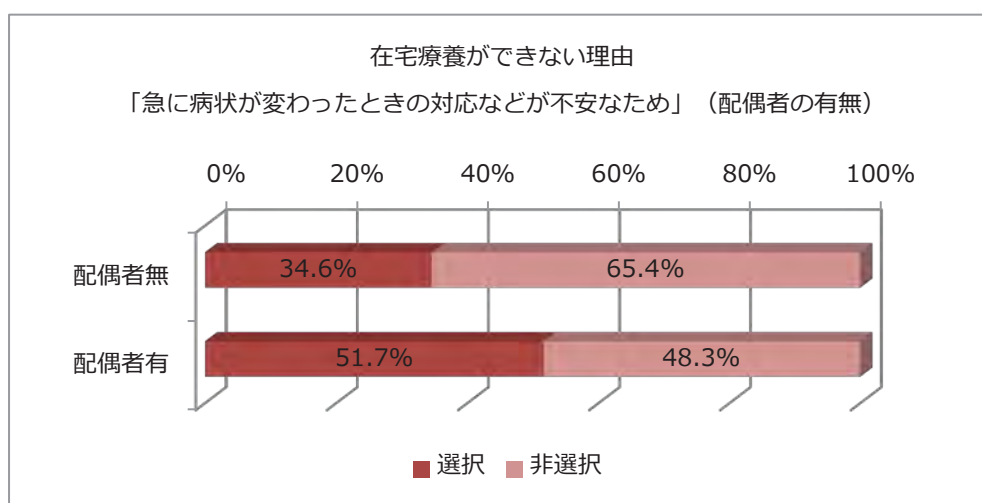


家族構成別では、「家でお世話をする人が確保できないため」という理由を選択した人は、同居家族がいない人、配偶者がいない人が多かった（独居 $p=0.01$ ，配偶者の有無 $p=0.011$ ）。



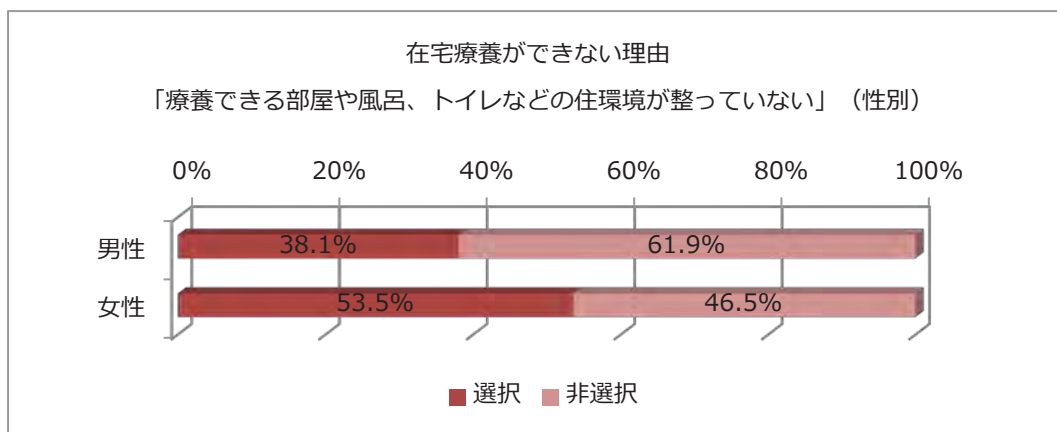
在宅療養ができない理由として「急に病状が変わったときの対応などが不安なため」を選択した人と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、配偶者の有無で差が認められた。

「急に病状が変わったときの対応などが不安なため」という理由を選択した人は、配偶者がいる人が多かった（ $p=0.01$ ）。

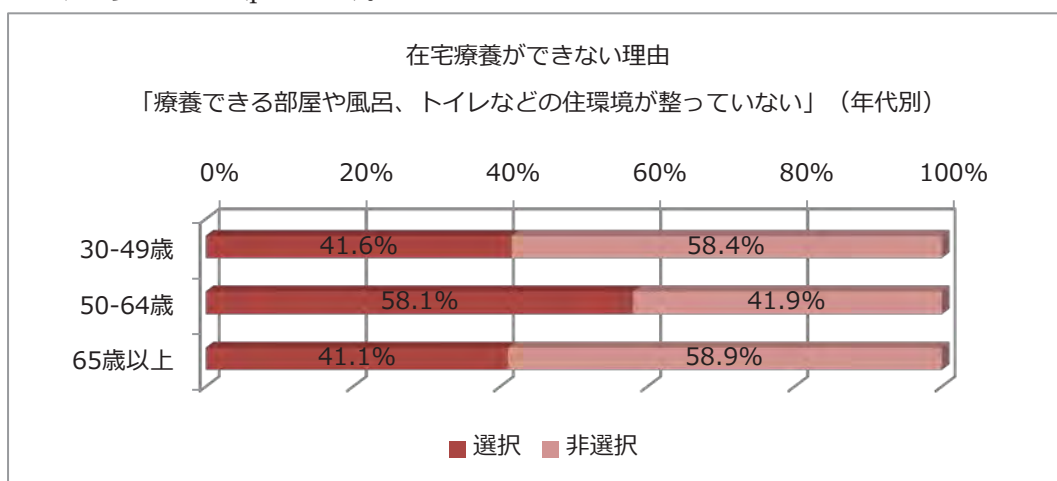


在宅療養ができない理由として「療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため」を選択した人と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、性別、年代別、同居家族の有無、配偶者の有無、子どもとの同居の有無で差が認められた。

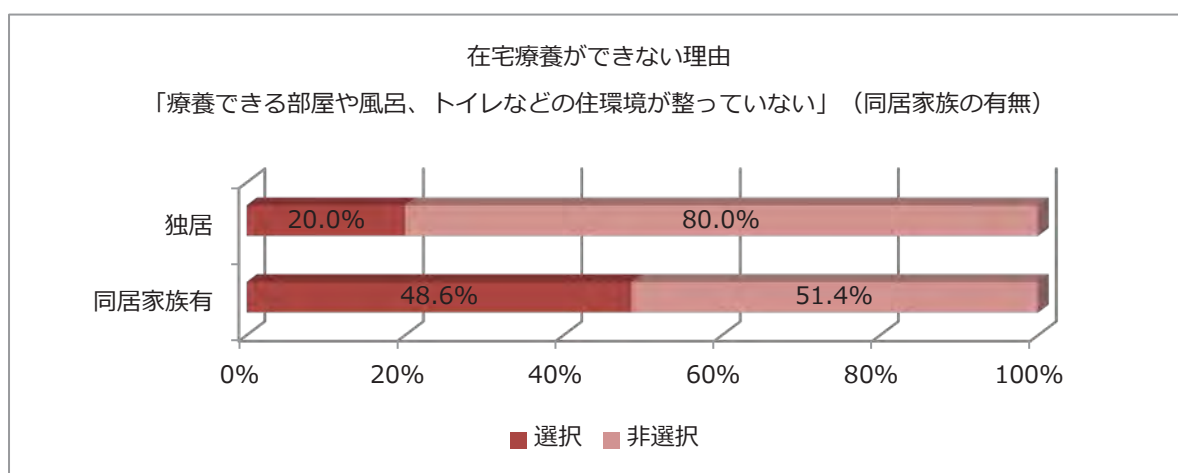
性別では、「療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため」という理由を選択した人は女性が多かった (p=0.01)。

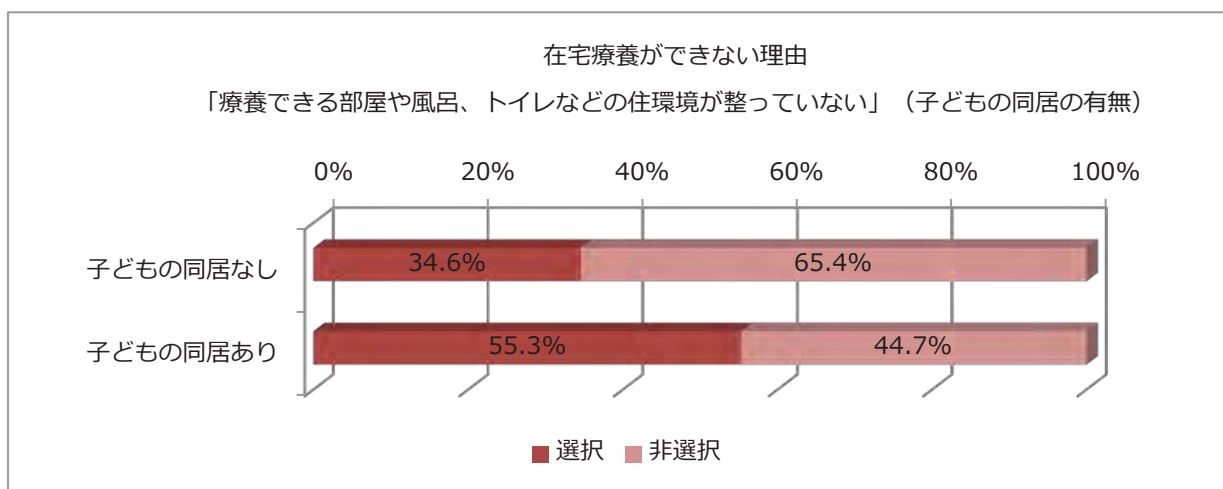
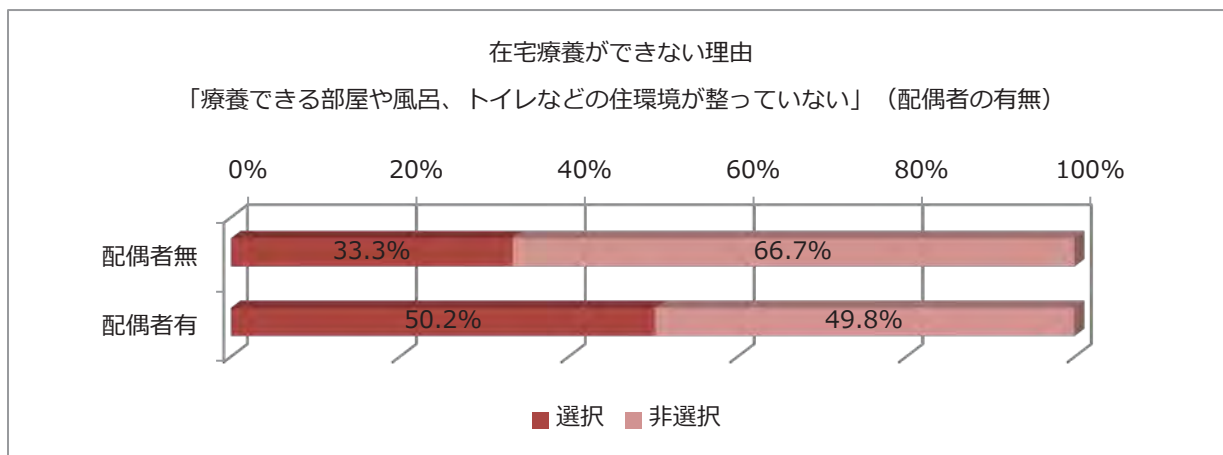


年代別では、「療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため」という理由を選択した人は、50-64歳が多かった (p=0.047)。



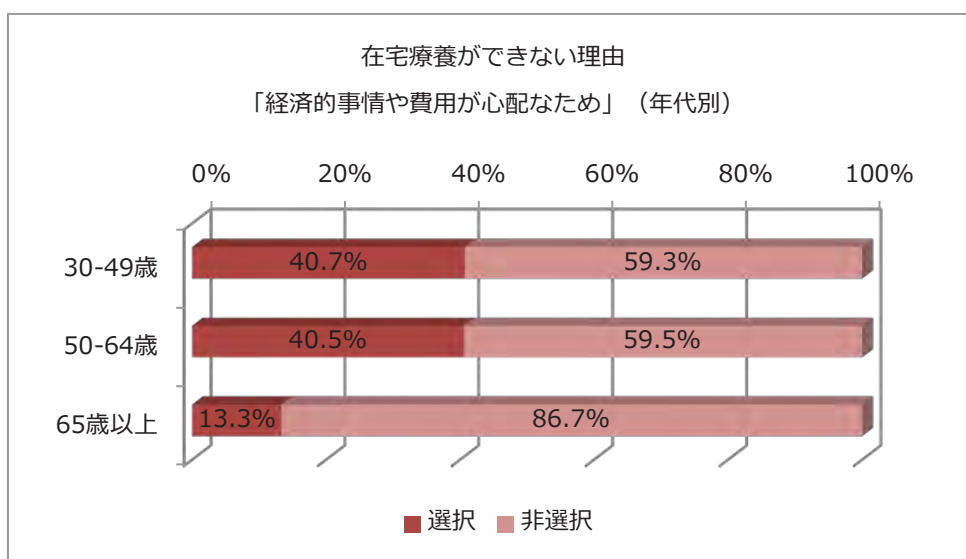
家族構成別では、「療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため」という理由を選択した人は、同居家族のいる人、配偶者のいる人、子どもと同居している人多かった。(同居家族の有無 p=0.003, 配偶者の有無 p=0.011, 子どもとの同居の有無 p<0.001)。



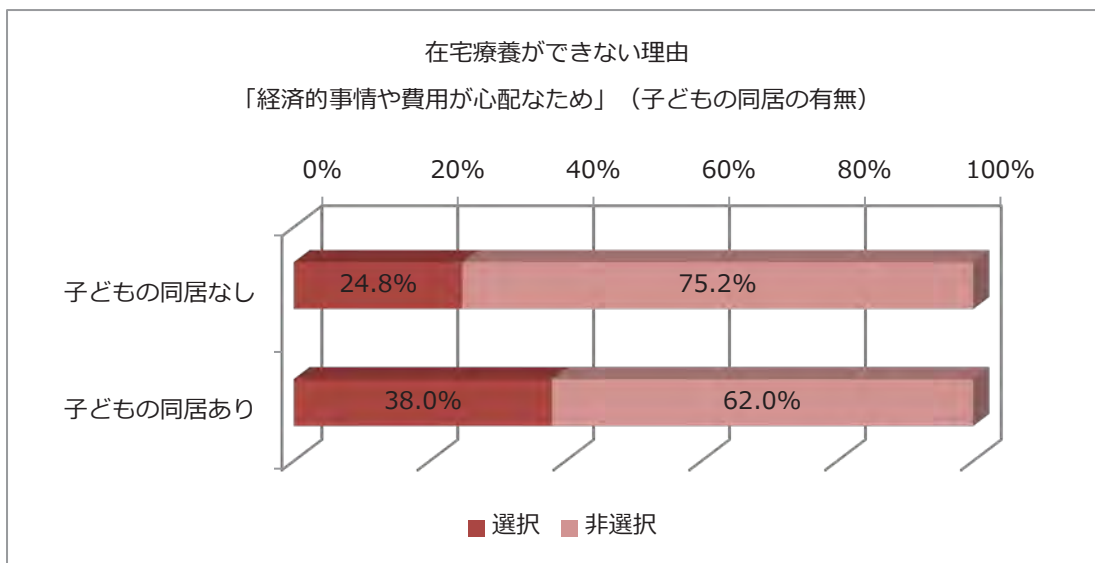


在宅療養ができない理由として「経済的事情や費用が心配なため」を選択した人と選択しなかった人で、性別、年代別、地域別、家族構成別で比較した。その結果、年代別、子どもとの同居の有無で差が認められた。

年代別では、「経済的事情や費用が心配なため」という理由を選択した人は、30-49歳で多く、65歳以上で少なかった (p<0.001)。



家族構成別では、「経済的事情や費用が心配なため」という理由を選択した人は、子どもと同居している人が多かった (p=0.017)。

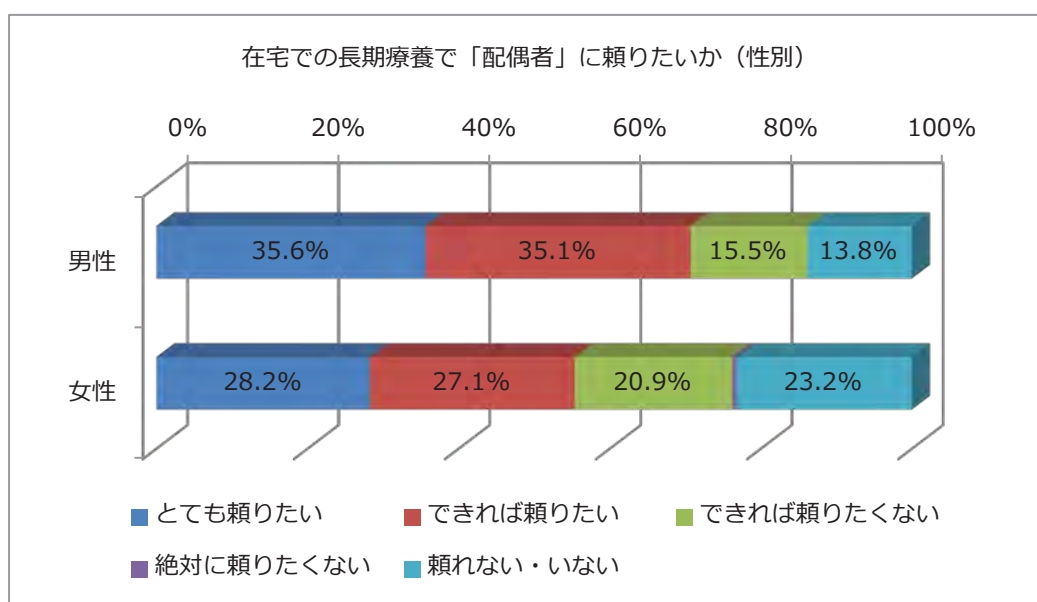


問 15 あなたやご家族が在宅で長期療養をしなければならない場合、誰にどれくらい頼りたいですか。①～⑭についてそれぞれ当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

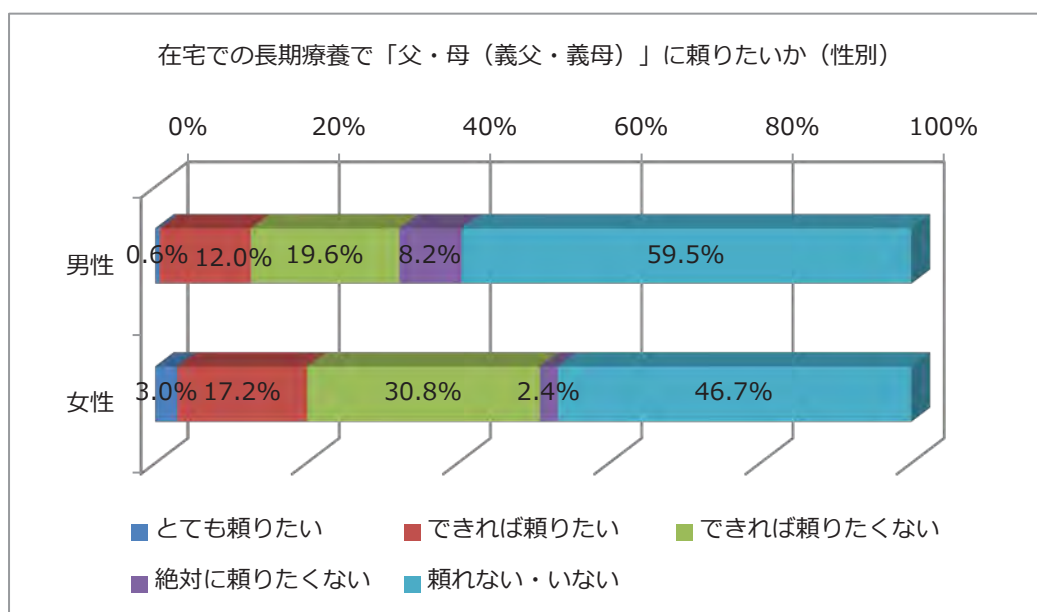
- ①配偶者 ②父・母（義父・義母） ③子ども ④兄・弟・姉・妹 ⑤友人・知人 ⑥近隣の住民
 ⑦入院施設のある大きな病院 ⑧診療所・クリニックの医師 ⑨看護師 ⑩保健師
 ⑪介護サービス業者 ⑫市役所・区役所 ⑬町内会・自治会 ⑭民生委員・児童委員

上記の①～⑭について、性別、年代別、地域別で比較した。その結果、性別で差が認められたのは「配偶者」、「父・母（義父・義母）」、「兄弟姉妹」、「近隣の住民」であった。

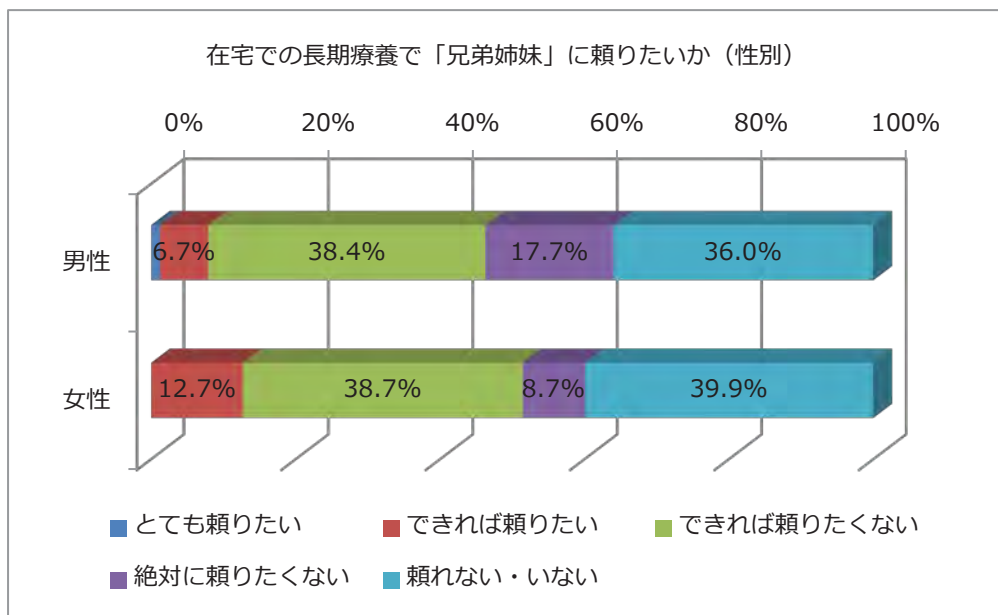
配偶者に対して、女性は「頼れない・いない」が多かった（Fisher p=0.031, Wilcoxon p=0.008）。



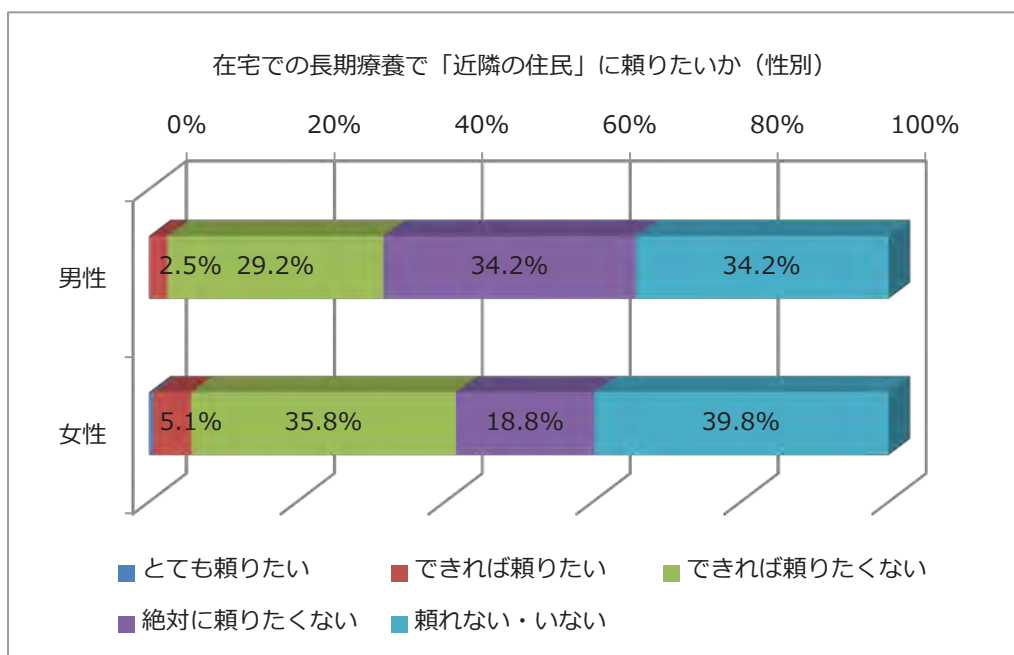
父・母（義父・義母）に対して、男性は「絶対に頼りたくない」「頼れない・いない」が多く、女性は「できれば頼りたくない」が多かった（Fisher p=0.003, Wilcoxon p=0.005）。



兄弟姉妹に対して、男性は「絶対に頼りたくない」が多かった (Fisher p=0.023, Wilcoxon p=0.633)。

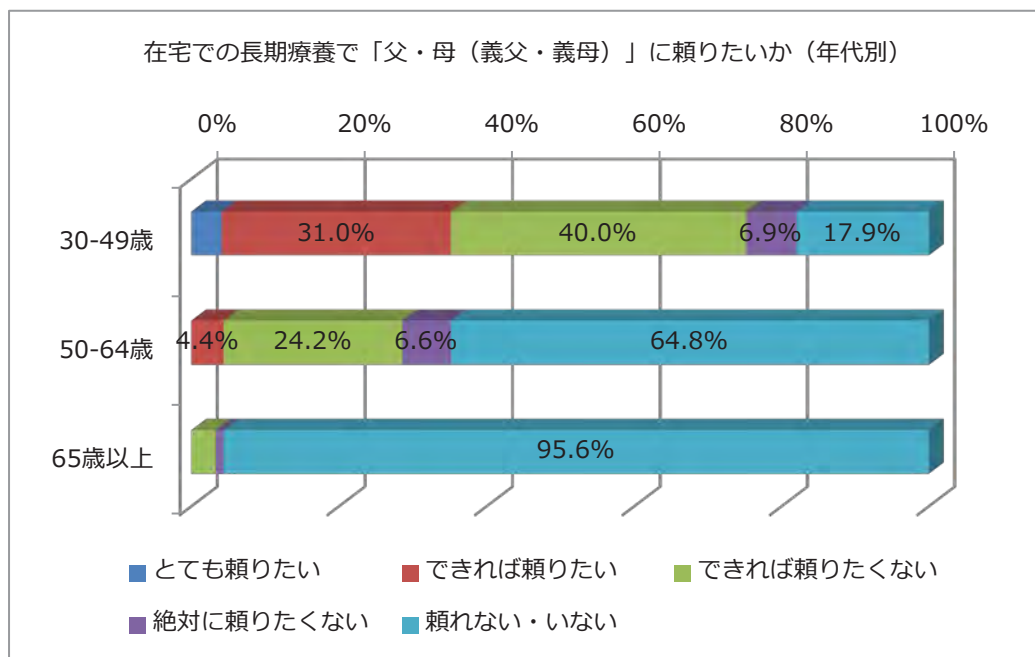


近隣住民に対して、男性は「絶対に頼りたくない」が多かった (Fisher p=0.013, Wilcoxon p=0.569)。

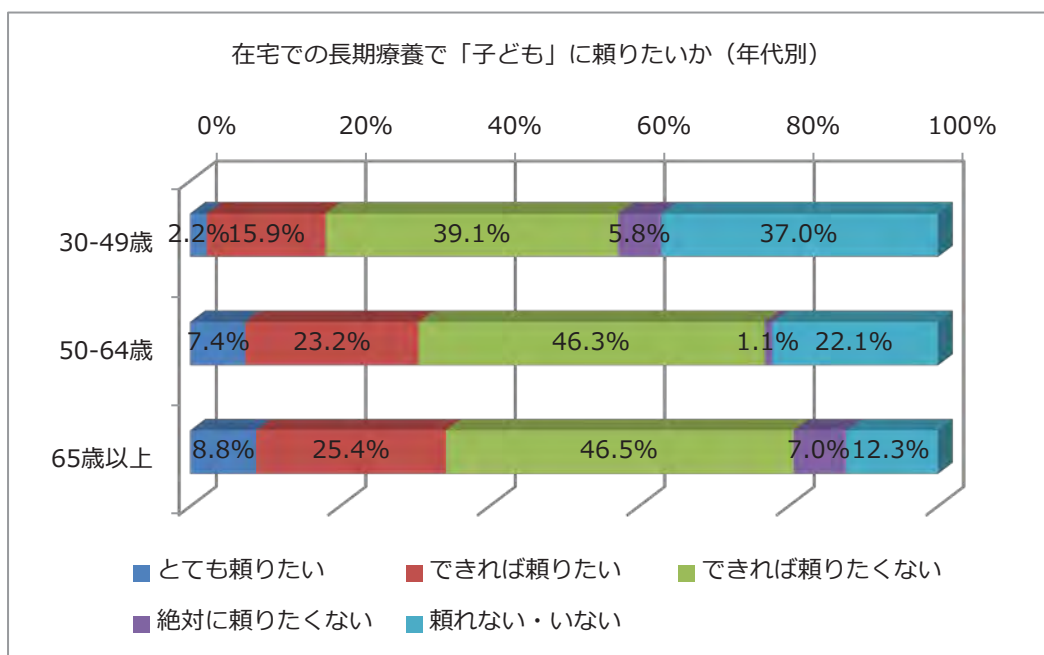


年代別で差が認められたのは、「父・母（義父・義母）」、「子ども」、「兄弟姉妹」、「友人・知人」、「近隣の住民」、「診療所・クリニックの医師」、「看護師」、「保健師」、「介護サービス業者」であった。

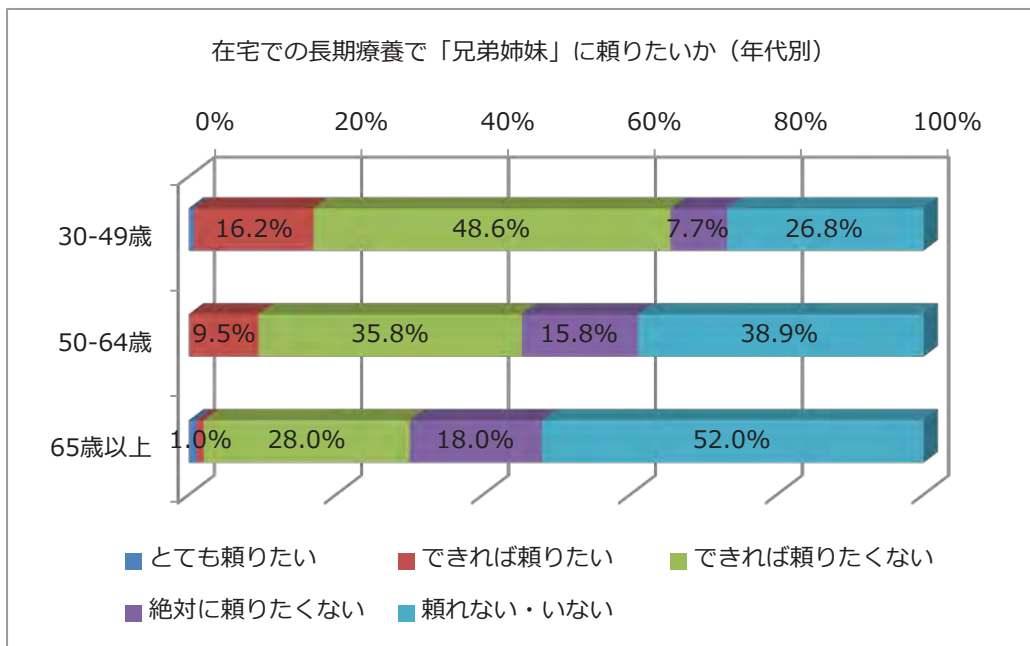
父・母（義父・義母）に対して、30-49歳は「とても頼りたい」「できれば頼りたい」「できれば頼りたくない」が多く、「頼れない・いない」が少なかった。50-64歳は「頼れない・いない」が多く、「できれば頼りたい」が少なかった。65歳以上では「頼れない・いない」が多く、「できれば頼りたい」「できれば頼りたくない」が少なかった（Fisher $p < 0.001$, Wilcoxon $p < 0.001$ ）。



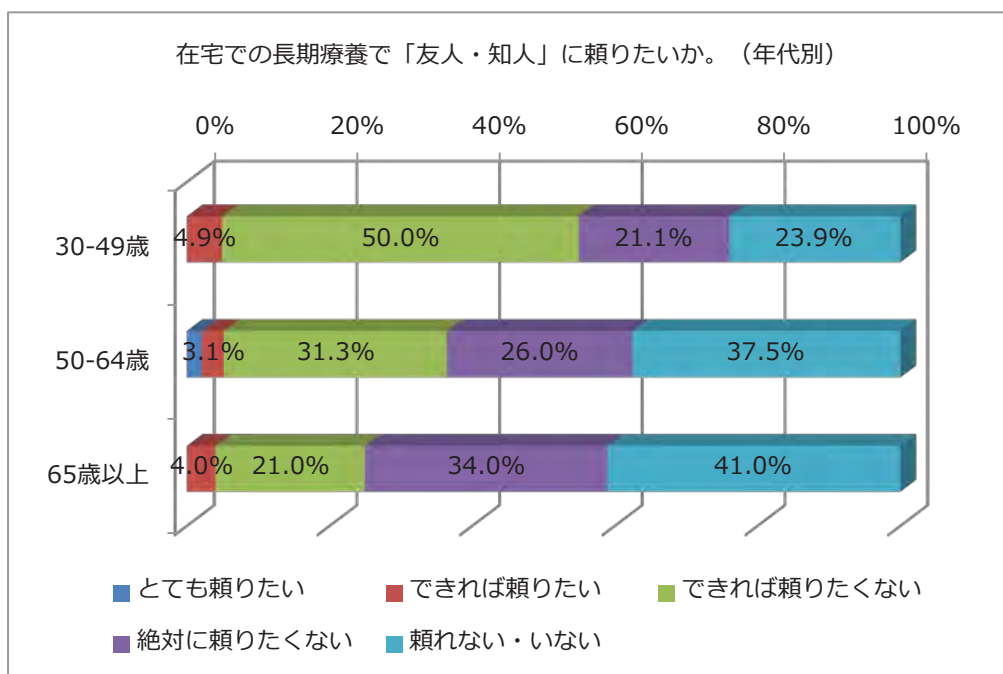
子どもに対して、30-49歳は「頼れない・いない」が多く、65歳以上では「頼れない・いない」が少なかった（Fisher $p < 0.001$, Wilcoxon $p < 0.001$ ）。



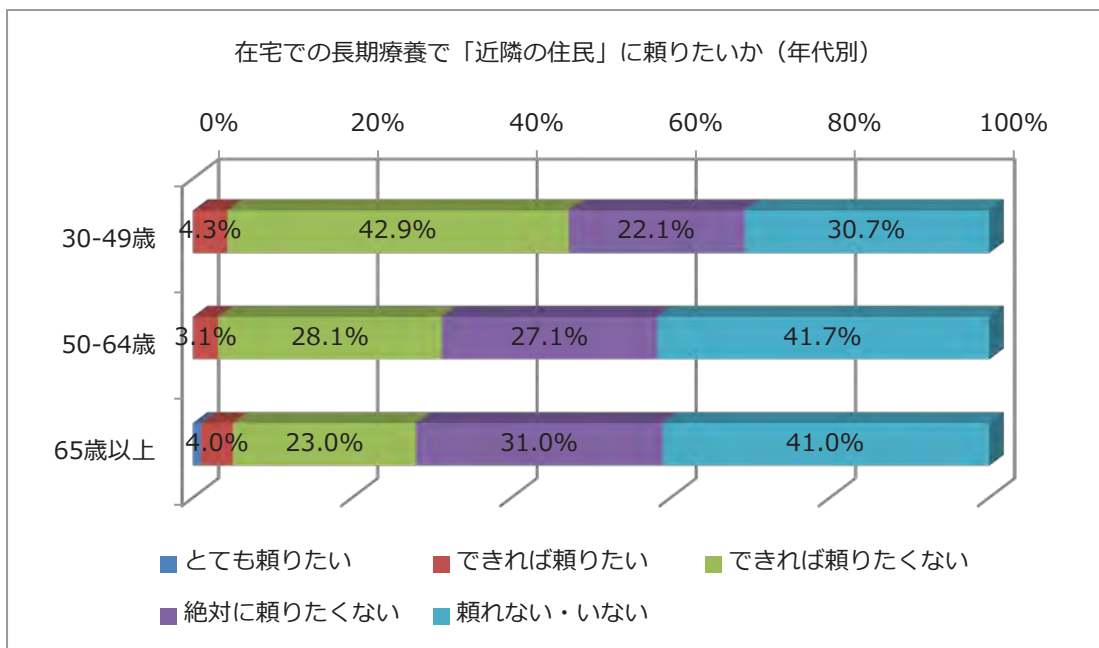
兄・弟・姉・妹に対して、30-49歳は「できれば頼りたい」「できれば頼りたくない」が多く、「絶対に頼りたくない」「頼れない・いない」が少なかった。65歳以上では「頼れない・いない」が多く、「できれば頼りたい」「できれば頼りたくない」が少なかった（Fisher $p<0.001$, Wilcoxon $p<0.001$ ）。



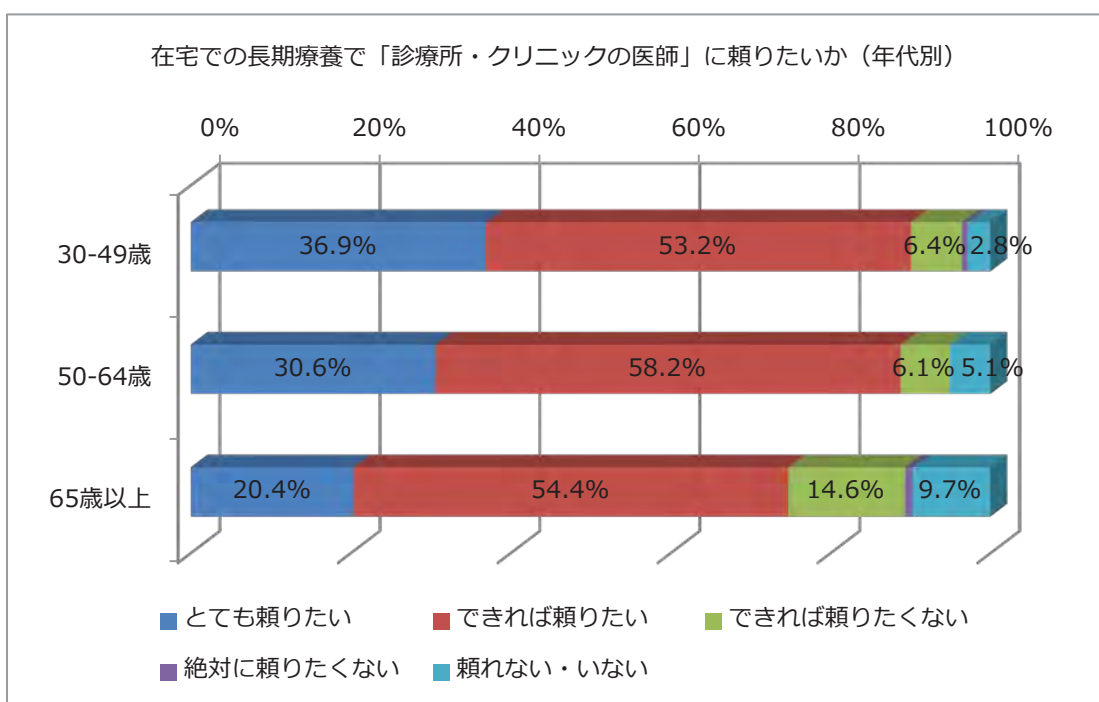
友人・知人に対して、30-49歳は「できれば頼りたくない」が多く、「頼れない・いない」が少なかった。65歳以上では「絶対に頼りたくない」「頼れない・いない」が多く、「できれば頼りたくない」が少なかった（Fisher $p<0.001$, Wilcoxon $p<0.001$ ）。



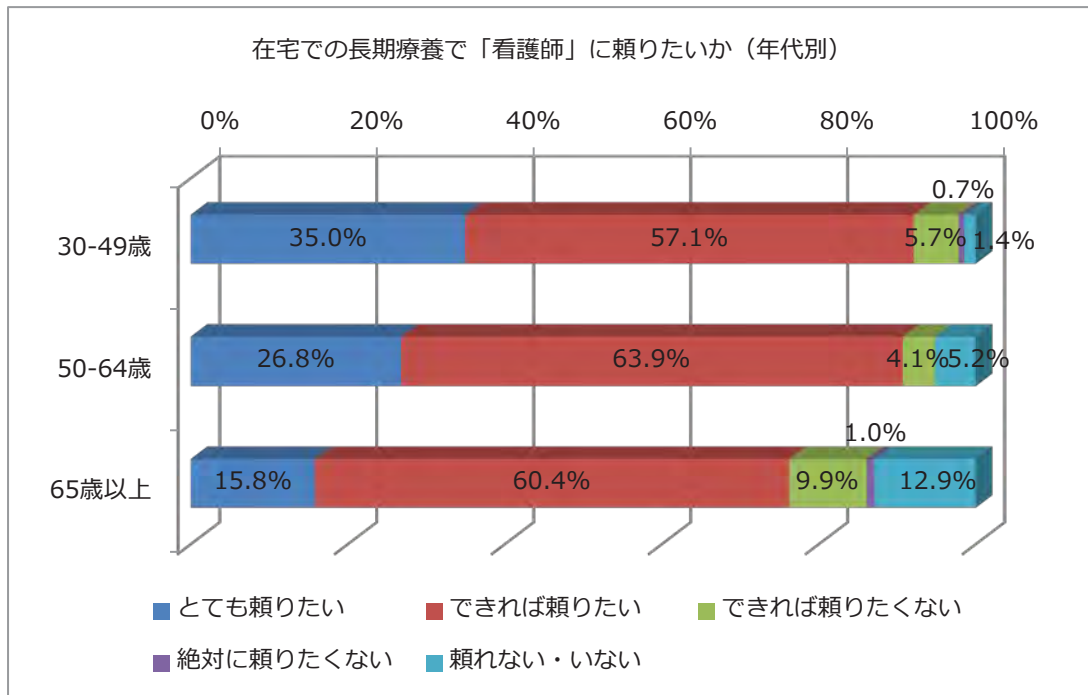
近隣の住民に対して、30-49歳は「できれば頼りたくない」が多く、「頼れない・いない」が少なかった。65歳以上では「できれば頼りたくない」が少なかった（Fisher $p=0.045$, Wilcoxon $p=0.019$ ）。



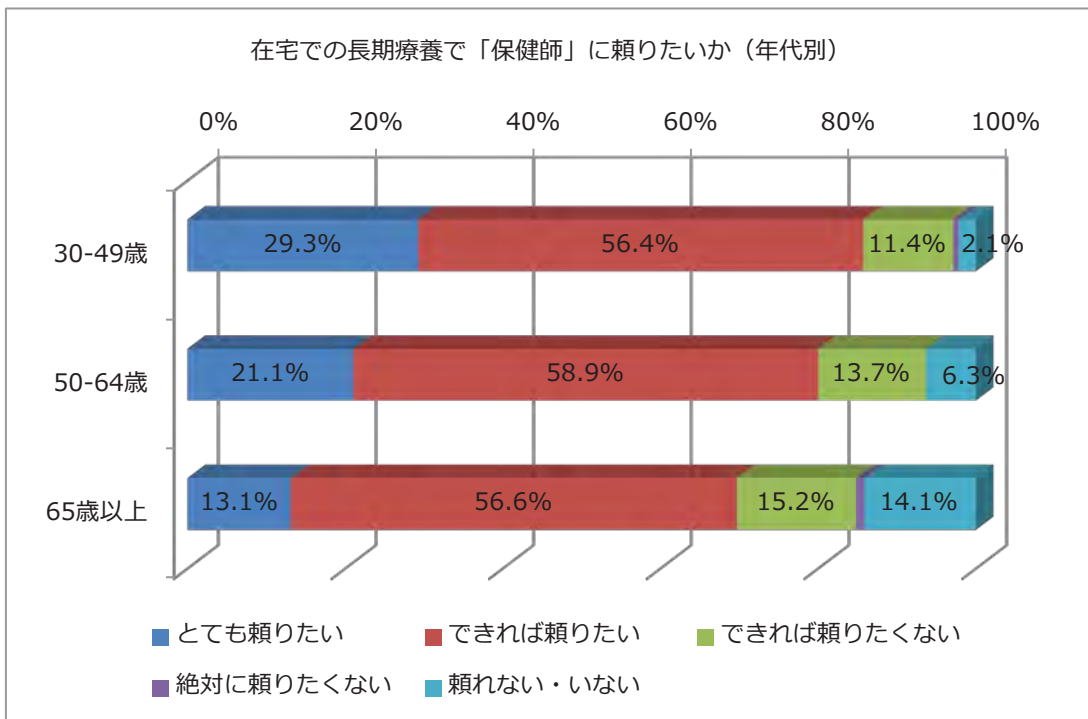
診療所・クリニックの医師に対して、30-49歳は「とても頼りたい」が多く、65歳以上では「できれば頼りたくない」「頼れない・いない」が多く、「とても頼りたい」が少なかった（Fisher $p=0.020$, Wilcoxon $p=0.001$ ）。



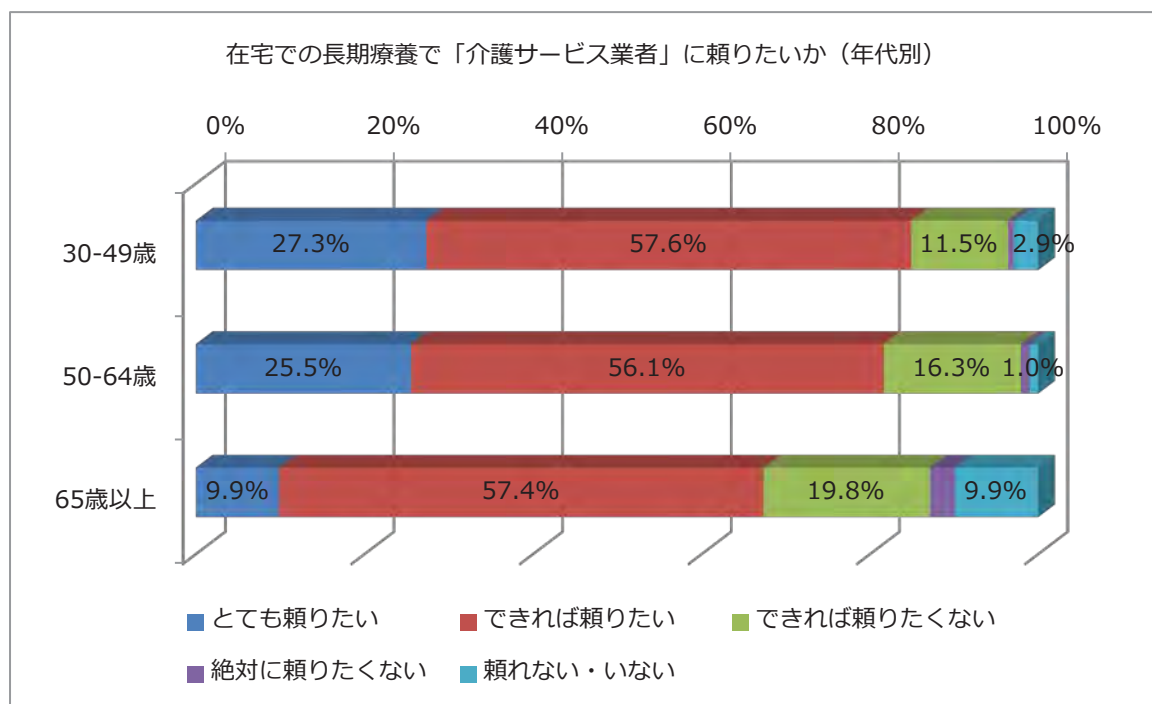
看護師に対して、30-49歳は「とても頼りたい」が多く、「頼れない・いない」が少なかった。65歳以上では「頼れない・いない」が多く、「とても頼りたい」が少なかった (Fisher p=0.001, Wilcoxon p<0.001)。



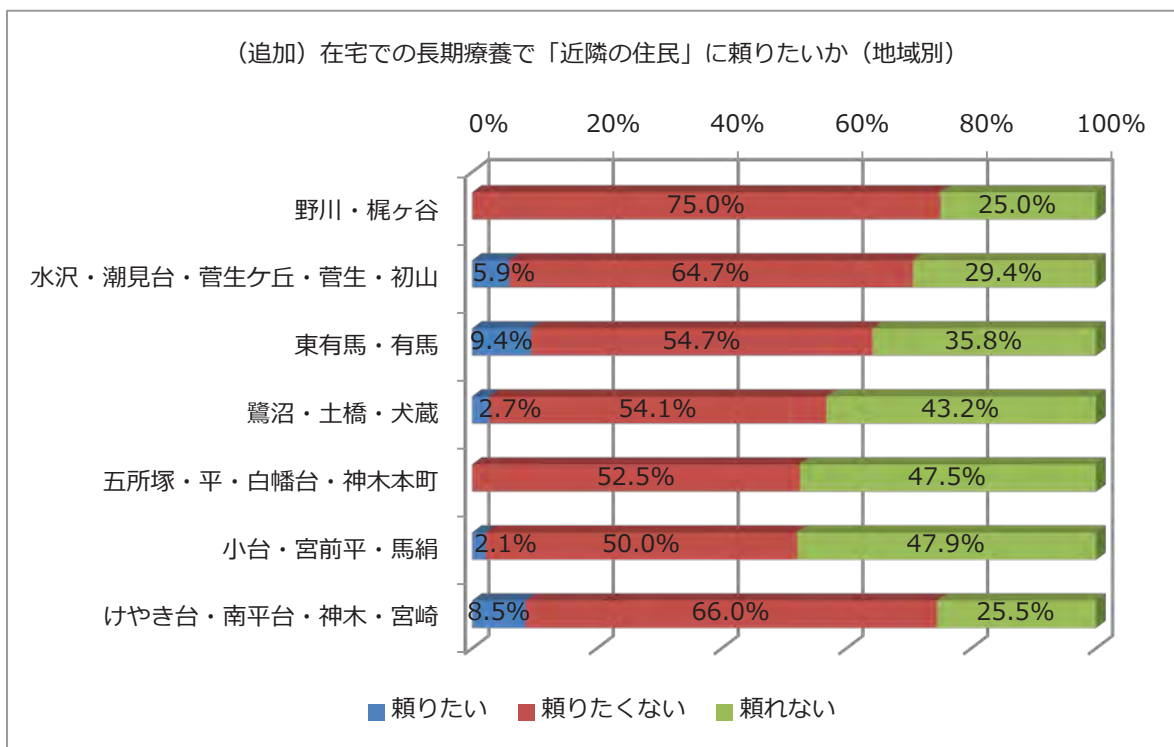
保健師に対して、30-49歳は「とても頼りたい」が多く、「頼れない・いない」が少なかった。65歳以上では「頼れない・いない」が多く、「とても頼りたい」が少なかった (Fisher p=0.004, Wilcoxon p<0.001)。



介護サービス業者に対して、30-49歳は「とても頼りたい」が多かった。65歳以上では「頼れない・いない」が多く、「とても頼りたい」が少なかった（Fisher p=0.002, Wilcoxon p<0.001）。



地域別で差が認められたものはなかった。そこで、選択肢を「とても頼りたい」と「できれば頼りたい」、「できれば頼りたくない」と「絶対に頼りたくない」を合わせて3つにした。その結果、近隣の住民に対して、地域で差が認められた。野川・梶ヶ谷地区で「頼りたくない」が多く、東有馬・有馬地区では「頼りたい」が多かった（Fisher p=0.050, Wilcoxon p=0.046）。



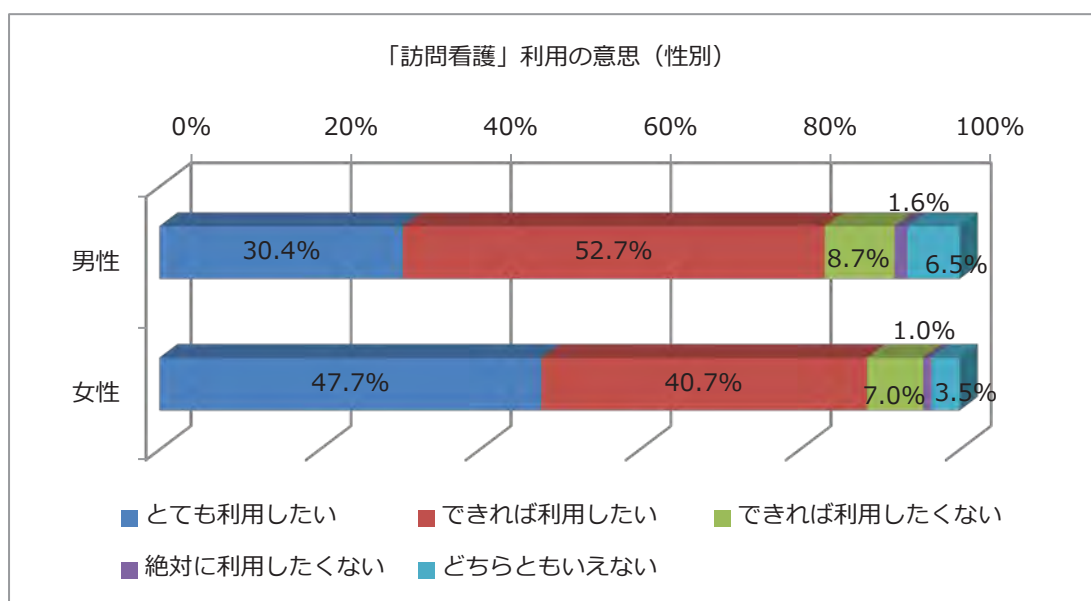
問 16 あなたが在宅で長期療養をしなければならない場合、公的制度を利用して、どのサービスをどれくらい利用してみたいですか。

- ①居宅療養管理指導 ②訪問看護 ③訪問リハビリテーション ④訪問介護 ⑤訪問入浴介護
⑥通所サービス ⑦短期入所サービス

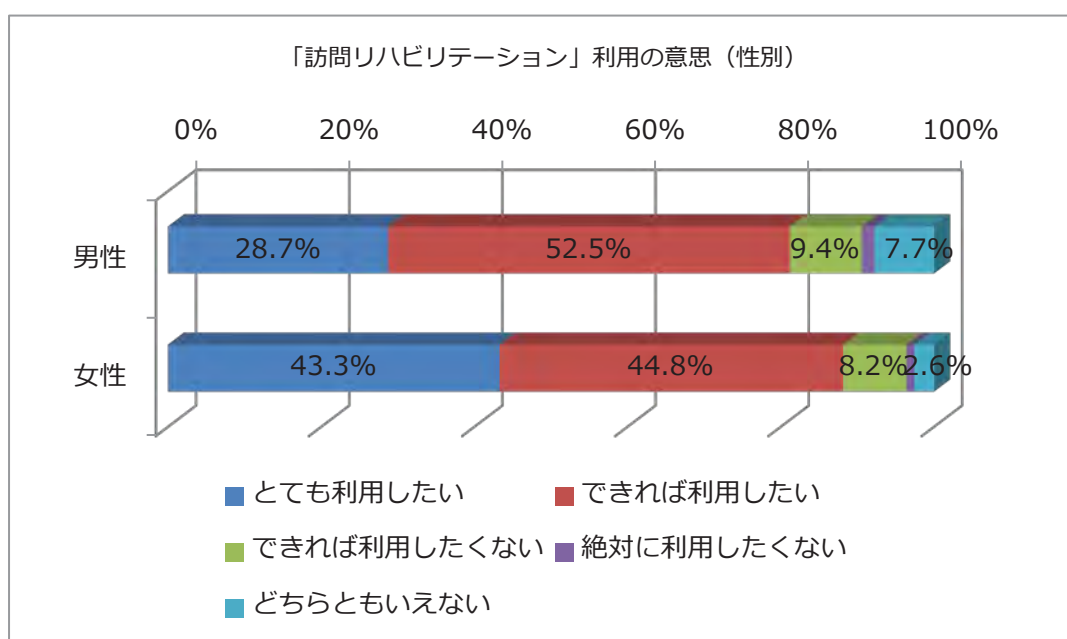
上記の①～⑦について、性別、年代別で比較した。

性別で差が認められたのは「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「通所サービス」、「短期入所サービス」であった。

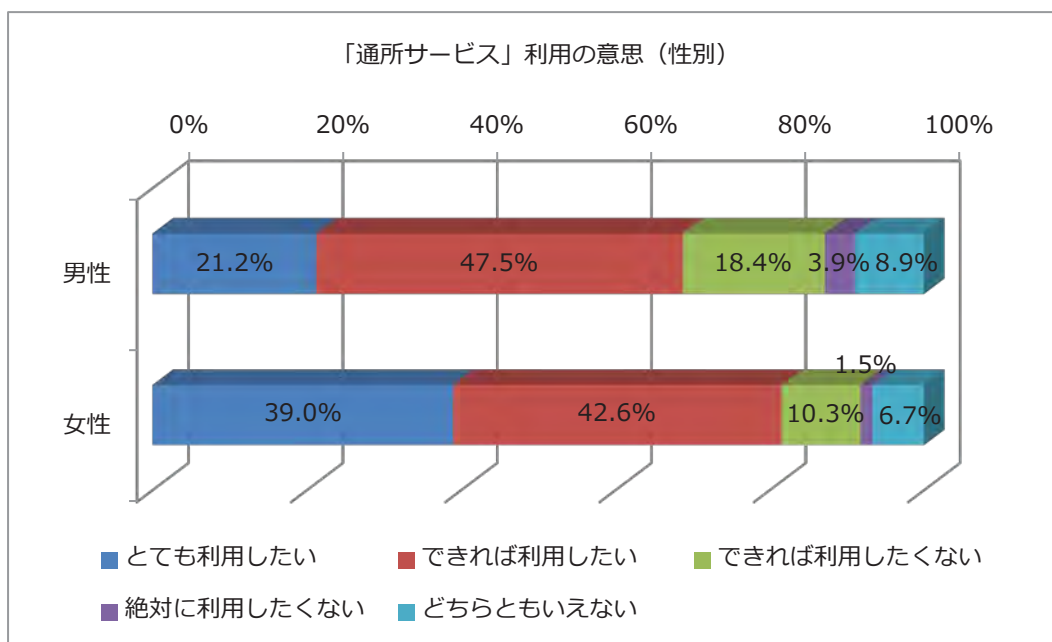
訪問看護に対して、女性は「とても利用したい」が多く、男性は「できれば利用したい」が多かった (Fisher p=0.010, Wilcoxon p=0.001)。



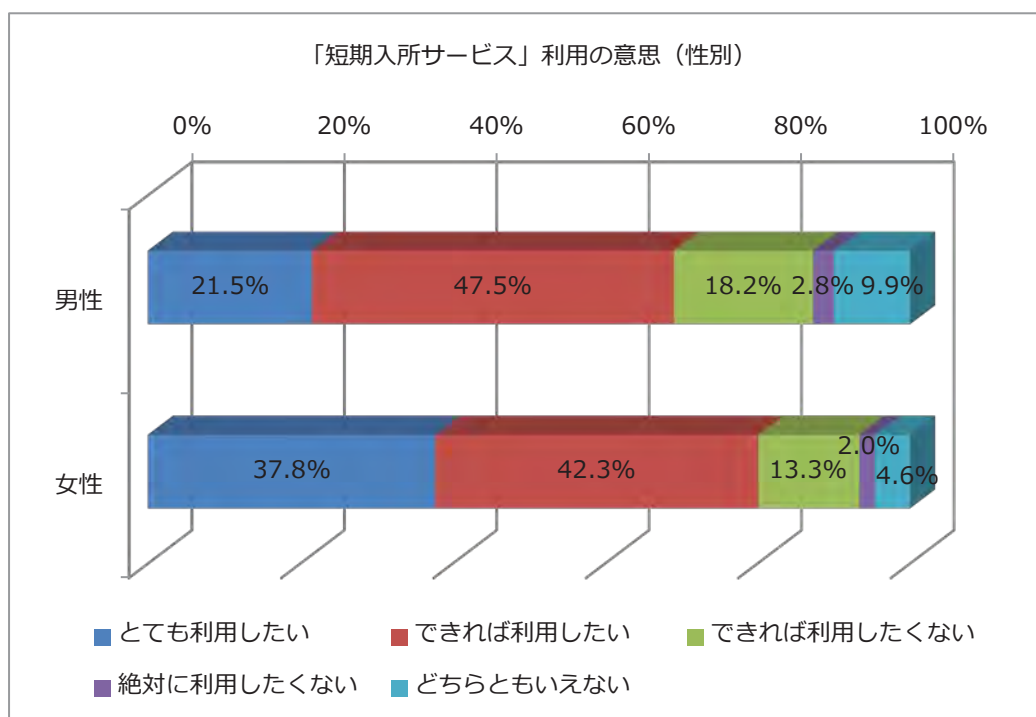
訪問リハビリテーションに対して、女性は「とても利用したい」が多く、男性は「どちらともいえない」が多かった (Fisher p=0.014, Wilcoxon p=0.003)。



通所サービスに対して、女性は「とても利用したい」が多く、男性は「できれば利用したくない」が多かった（Fisher $p=0.001$, Wilcoxon $p<0.001$ ）。

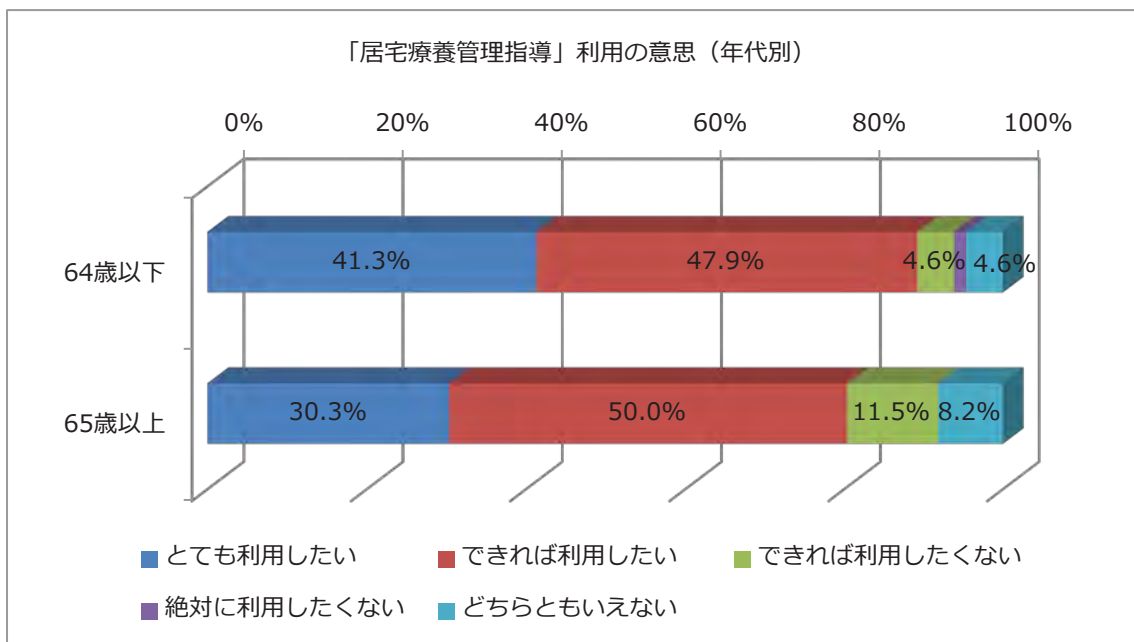


短期入所サービスに対して、女性は「とても利用したい」が多く、男性は「どちらともいえない」が多かった（Fisher $p=0.001$, Wilcoxon $p=0.001$ ）。

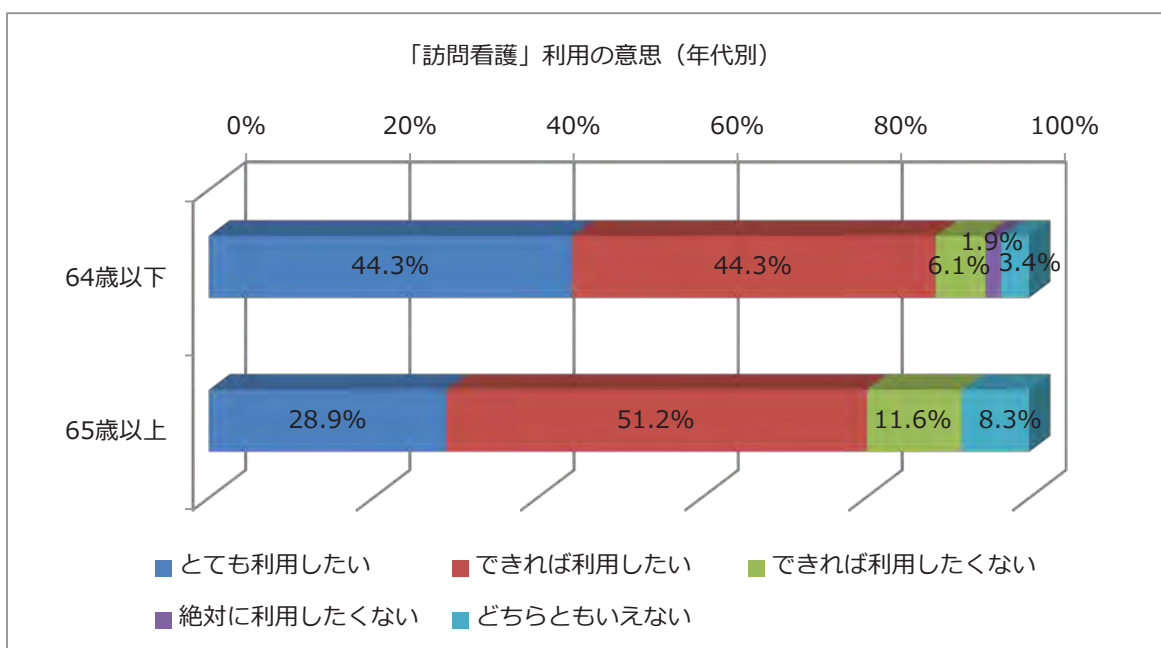


年代別で差が認められたのは「居宅療養管理指導」「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「通所サービス」であった。

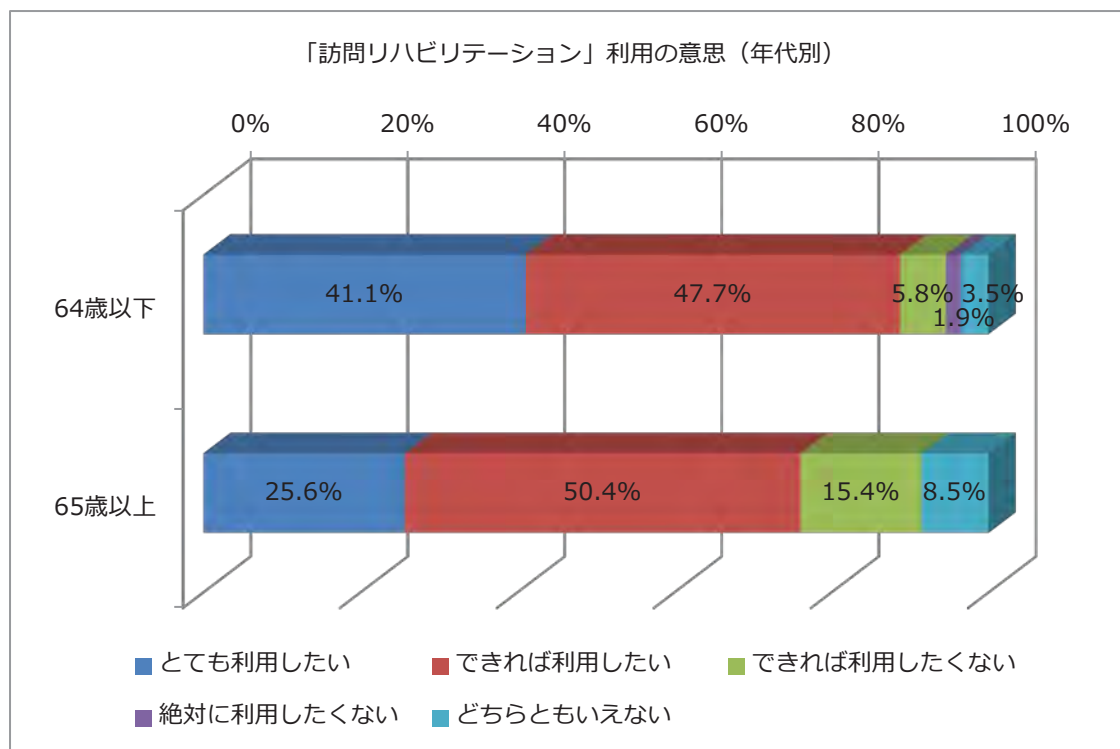
居宅療養管理指導に対して、64歳以下は「とても利用したい」が多く、65歳以上は「できれば利用したくない」が多かった (Fisher $p=0.018$, Wilcoxon $p=0.010$)。



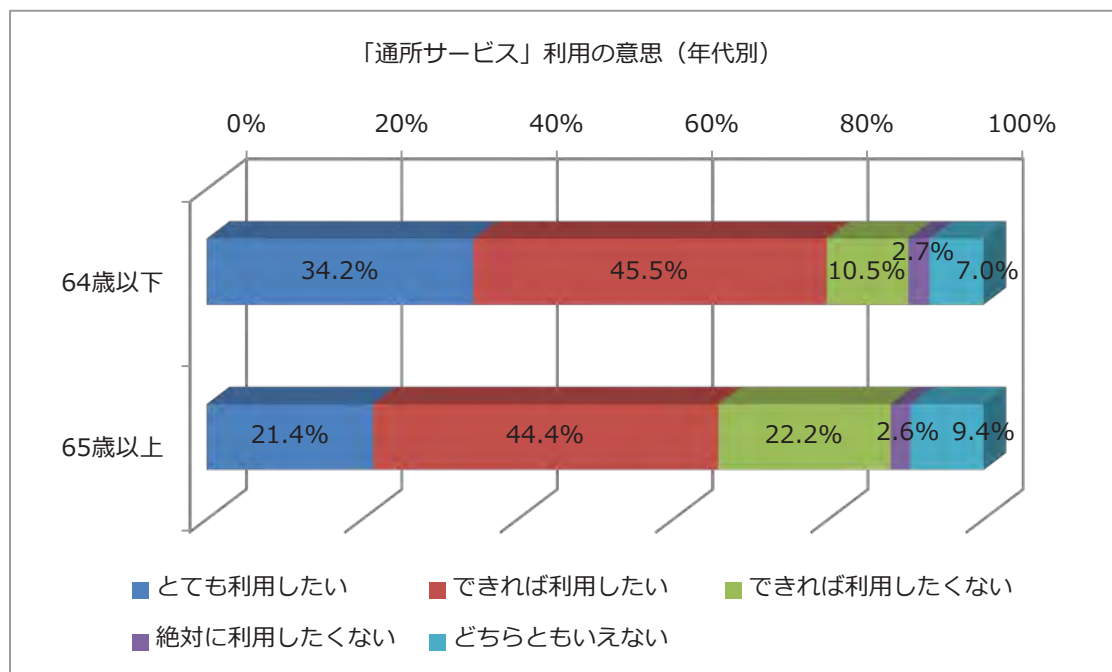
訪問看護に対して、64歳以下は「とても利用したい」が多く、65歳以上は「どちらともいえない」が多かった (Fisher $p=0.005$, Wilcoxon $p=0.002$)。



訪問リハビリテーションに対して、64歳以下は「とても利用したい」が多く、65歳以上は「できれば利用したくない」「どちらともいえない」が多かった（Fisher $p < 0.001$, Wilcoxon $p < 0.001$ ）。



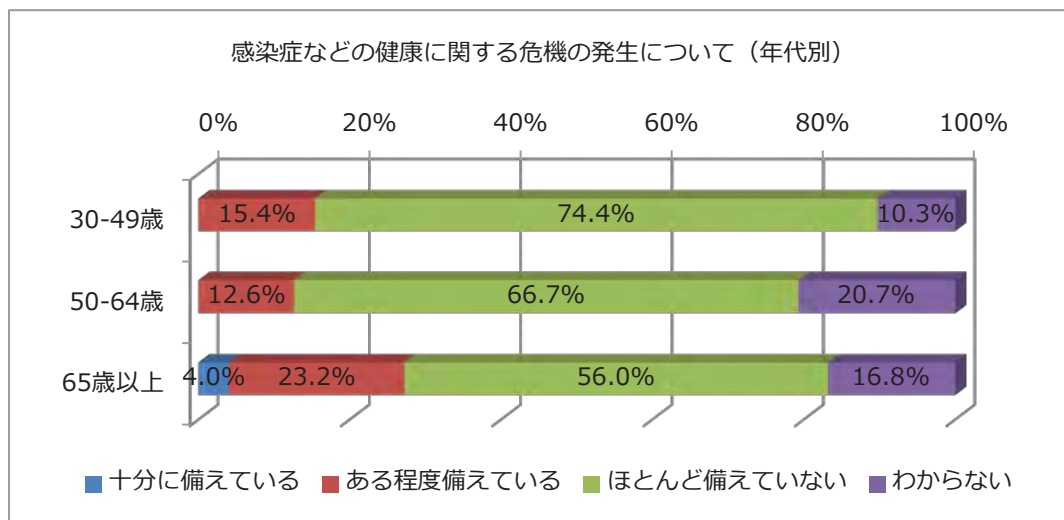
通所サービスに対して、64歳以下は「とても利用したい」が多く、65歳以上は「できれば利用したくない」が多かった（Fisher $p = 0.014$, Wilcoxon $p = 0.001$ ）。



問 17 あなたは以下の 4 項目の災害や危機に対して、日ごろからどの程度備えていますか。

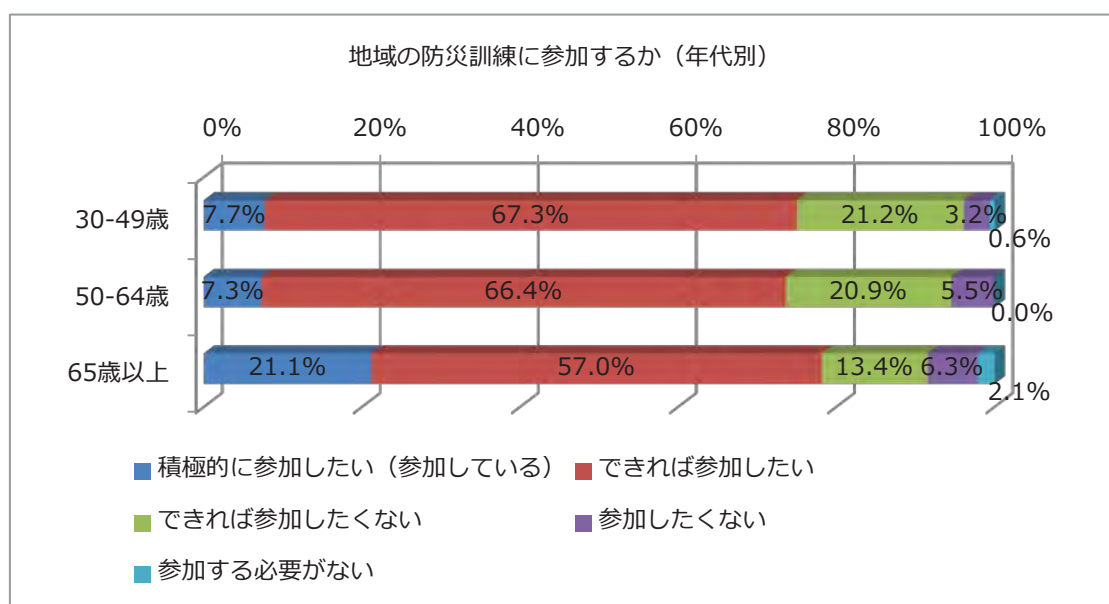
- ①地震、洪水、土砂崩れなどの自然災害
- ②原子力事故、大規模火災などの人的災害
- ③爆弾テロや殺人などの凶悪犯罪の発生
- ④感染症など健康に関する危機の発生

上記の①～④の災害や危機に対する備えについて、性別、年代別、地域別に比較した。その結果、①～③については性別、年代別、地域別の差が認められなかったが、④感染症など健康に関する危機の発生については、年代別で差が認められた。65 歳以上では「十分に備えている」「ある程度備えている」が多く、30-49 歳では「ほとんど備えていない」が多かった（Fisher $p=0.002$, Wilcoxon $p=0.034$ ）。



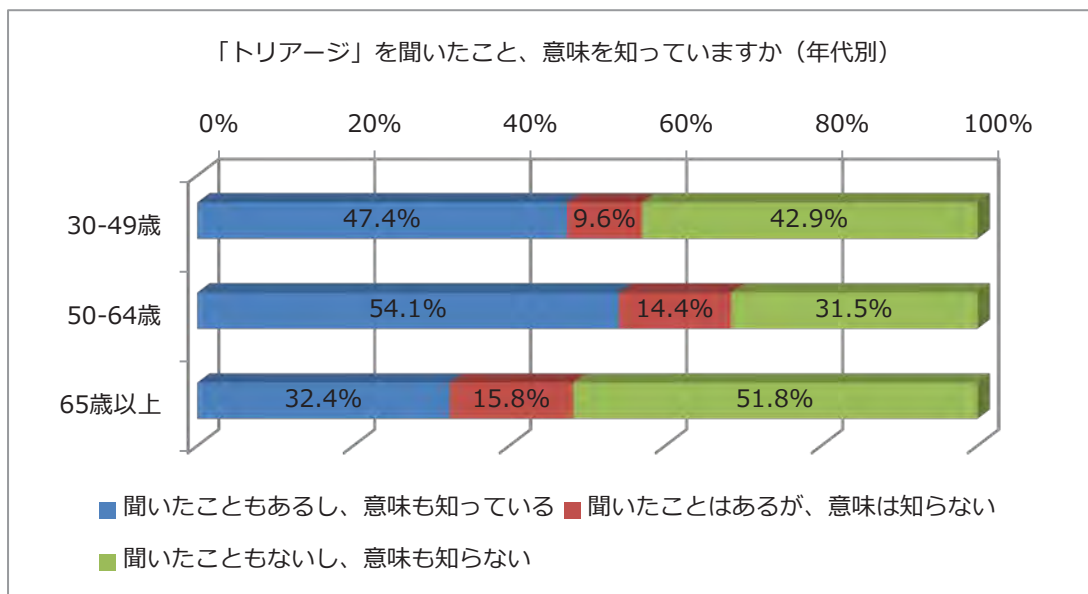
問 18 あなたのお住まいの地域を対象とした防災訓練が実施されたら参加しますか。

お住まいの地域を対象とした防災訓練が実施されたら参加するかどうかについて、性別、年代別、地域別に比較した。その結果、年代別で差が認められた。30-49 歳は「積極的に参加したい（参加している）」が少なく、65 歳以上は「積極的に参加したい」が多かった（ $p=0.003$ ）。



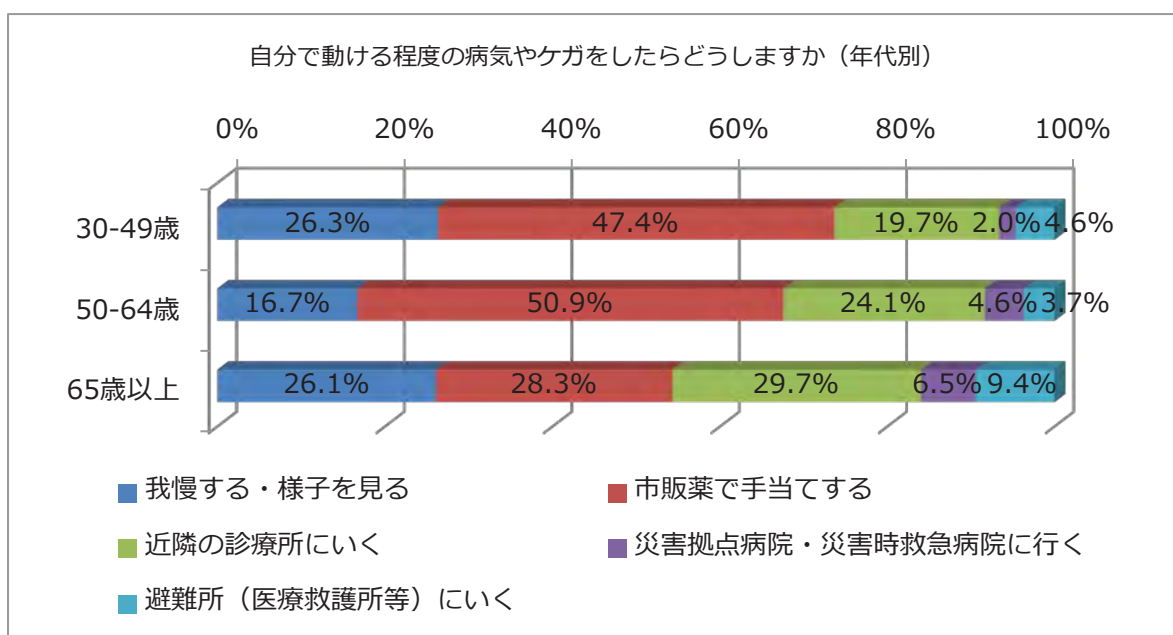
問 20 「トリアージ」とは、傷病者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めることですが、「トリアージ」という言葉を聞いたことがありますか、また意味を知っていましたか。

「トリアージ」という言葉を聞いたことがあるか、意味を知っているかについて、性別、年代別、地域別に比較した。その結果、年代別で差が認められた。50-64歳は「聞いたこともあるし、意味も知っている」が多く、「聞いたこともないし、意味も知らない」が少なかった。65歳以上は「聞いたこともないし、意味も知らない」が多く、「聞いたこともあるし、意味も知っている」が少なかった (p=0.004)。



問 22 自然災害時 (地震) で 1 週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。あなたが命には危険がなく (極めて軽傷)、自分で動ける程度の病気やけがをした場合、あなたはどうしますか。

命には危険がなく (極めて軽傷)、自分で動ける程度の病気やけがをした場合、どうするかについて、性別、年代別、地域別に比較した。その結果、年代別で差が認められた。50-64歳は「市販薬で手当てをする」が多く、65歳以上は「避難所 (医療救護所) に行く」が多かった (p=0.003)。



問 23 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。医療機関に強く望むものから順に3つ選んでください。

医療機関に1番強く望むものは「子どもを優先して診てほしい」、2番目に望むものは「高齢者を優先して診てほしい」が全世代共通して多かった。次いで、「医療機関の情報（開院状況等）を知らせてほしい」、「一般外来を早く再開して欲しい」が多かった。

【1番目に望むもの：10人以上の回答があったもの掲載】

30-49歳

子どもを優先	77
医療機関の情報（開院状況など）	19
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	16
一般外来の早期再開	15

50-64歳

子どもを優先	37
医療機関の情報（開院状況など）	25
一般外来の早期再開	17

65歳以上

子どもを優先	44
一般外来の早期再開	20
高齢者を優先	13
医療機関の情報（開院状況など）	13
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	10

【2番目に望むもの：10人以上の回答があったもの掲載】

30-49歳

高齢者を優先	27
一般外来の早期再開	27
子どもを優先	25
救急・休日・夜間の対応の増加	18
医療機関の情報（開院状況など）	18
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	17

50-64歳

高齢者を優先	23
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	22
一般外来の早期再開	14
子どもを優先	13

65歳以上

高齢者を優先	28
いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方	17
子どもを優先	16
一般外来の早期再開	16
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	15
医療機関の情報（開院状況など）	12
救急・休日・夜間の対応の増加	10

【3 番目に望むもの：10 人以上の回答があったもの掲載】

30－49 歳

医療機関の情報（開院状況など）	33
一般外来の早期再開	30
救急・休日・夜間の対応の増加	21
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	21
こころのケア	12
いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方	10

50－64 歳

いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方	21
医療機関の情報（開院状況など）	16
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	14
一般外来の早期再開	12

65 歳以上

医療機関の情報（開院状況など）	23
一般外来の早期再開	20
いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬の処方	19
避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導	16
救急・休日・夜間の対応の増加	11

Ⅲ. 調査結果と分析結果

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート

3. 宮前区民の福祉・生活に関する分析結果

クロス集計

田園調布学園大学

【集計方法】

(1) クロス集計

各設問について性別、年齢階級別、地域別、居住年数、住居形態といった基本属性、及び関連が見られそうな設問間でクロス集計を行った。検定は χ^2 乗検定を行い、両側検定で $p<0.05$ を統計学的に有意とした。ただし、一部について $p<0.1$ で有意差が見られたものを掲載した。

(2) グループ化

○年齢階級別

- ・ 30～64 歳、65 歳以上

○性別・年齢階級

一部において、30～64 歳・男性、30～64 歳・女性、65 歳以上・男性、65 歳以上・女性で分類

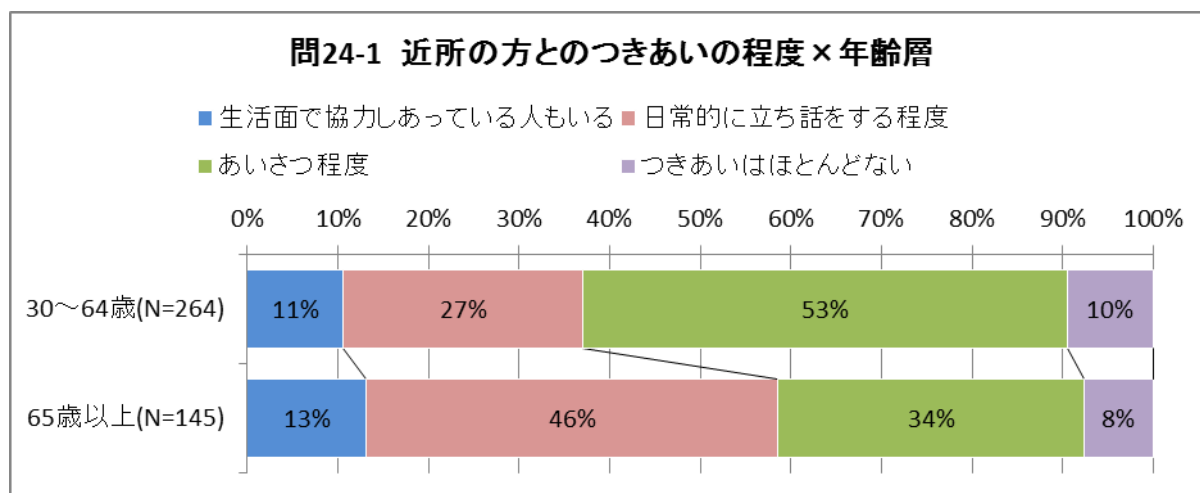
○地域別

地域分類は、川崎市宮前区の地域包括支援センターの担当地域に基づいて分類（一部変更）

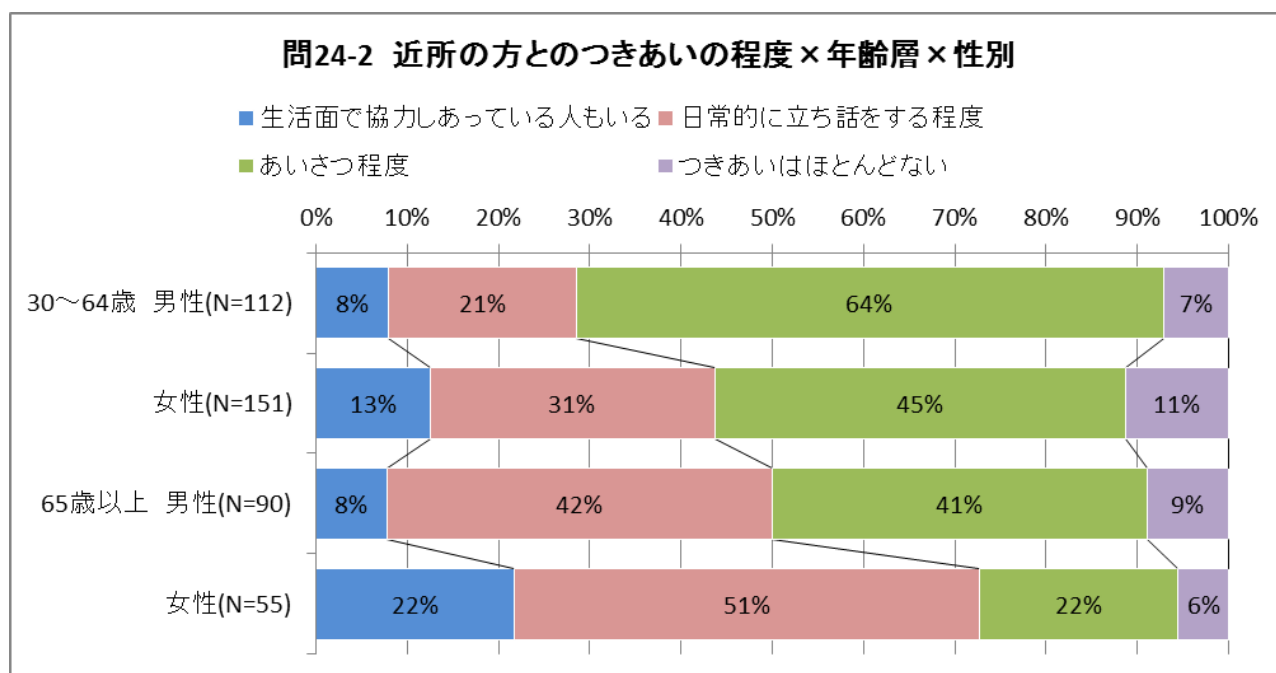
- ・ みかど荘 →野川、梶ヶ谷
- ・ 鷺ヶ峯 →水沢、潮見台、菅生ヶ丘、菅生、初山
- ・ 富士見プラザ →東有馬、有馬
- ・ レストア川崎 →鷺沼、土橋、犬蔵
- ・ フレンド神木 →五所塚、平、白幡台、神木本町
- ・ 宮前平 →小台、宮前平、馬絹
- ・ ビオラ宮崎 →けやき平、南平台、神木、宮崎、宮崎 1-6 丁目

問 24 あなたはご近所の方といま現在どのようなおつきあいをしていますか。

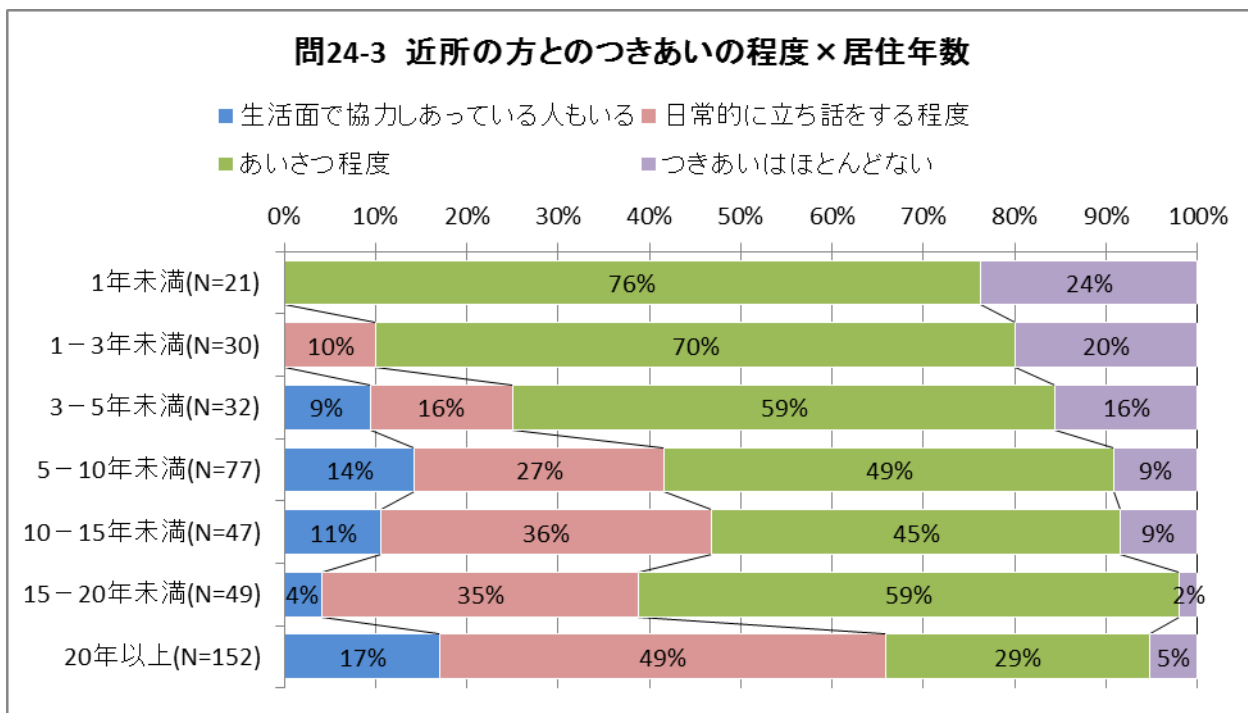
近所の方とのつきあいの程度について年齢層で比べたところ、30～64 歳では「あいさつ程度」の割合が高く、65 歳以上では「日常的に立ち話をする程度」の割合が高い (p<0.001)。



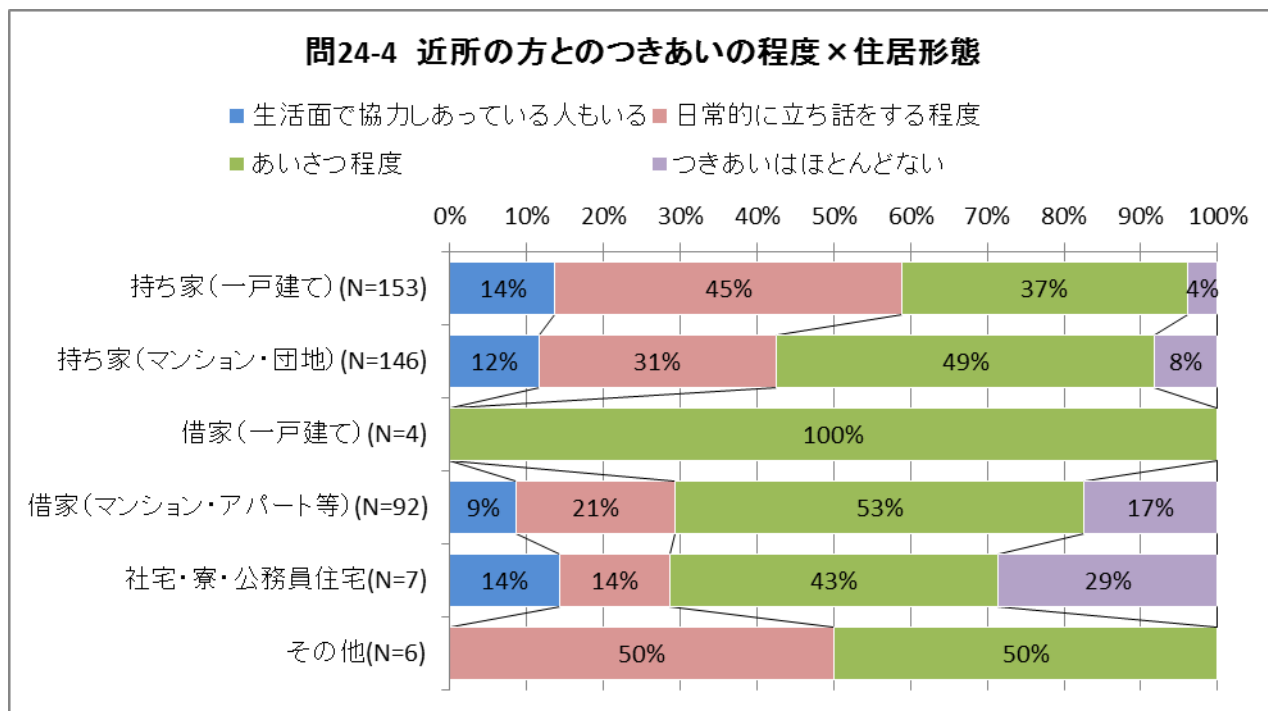
さらに、性別を含めて比較すると、どちらの年齢層も男性が「あいさつ程度」の割合が高いことがわかる (30～64 歳 p=0.022、65 歳以上 p=0.019)。また、65 歳以上の女性の「生活面で協力しあっている人もいる」の割合が高い。



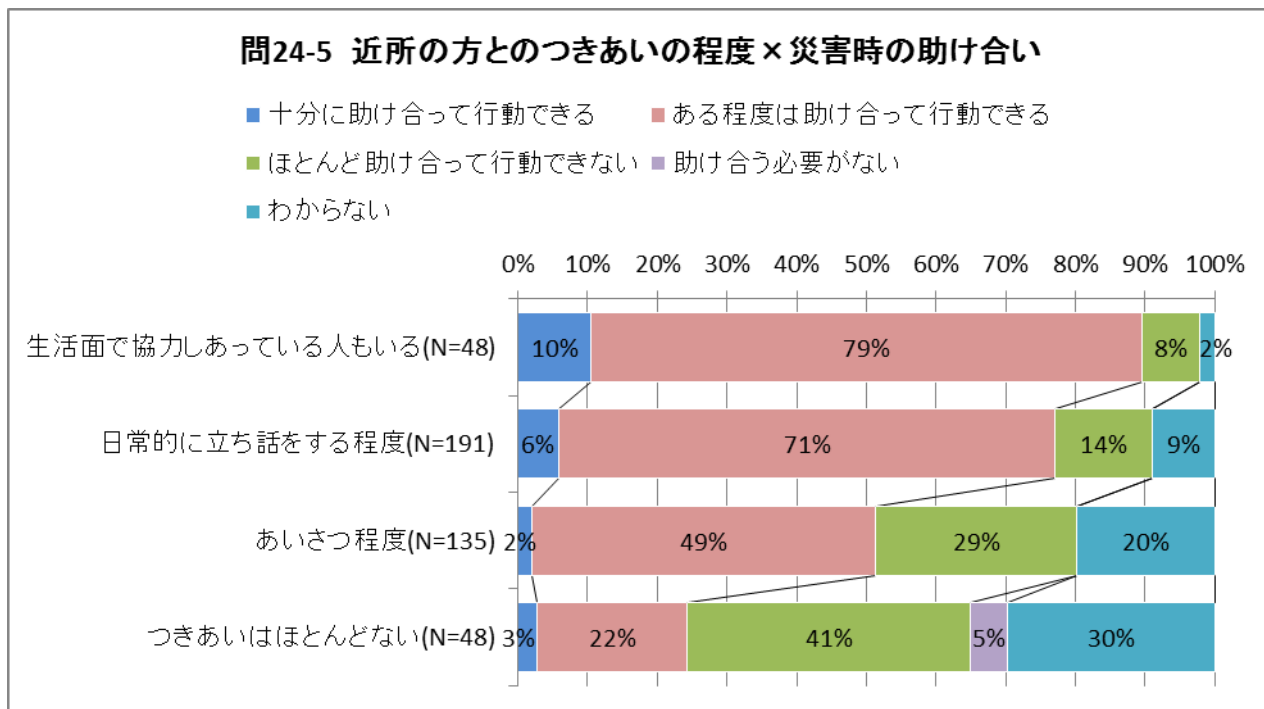
居住年数による比較では、居住年数が長くなるほど「日常的に立ち話をする程度」の割合が高まり、「あいさつ程度」と「つきあいはほとんどない」の割合が低くなる傾向が見られた (p<0.001)。



住居形態による比較では、「持ち家（一戸建て）」の方は「日常的に立ち話をする程度」の割合が高い結果となり、「借家（マンション・アパート等）」の方は「日常的に立ち話をする程度」の割合が低く、「つきあいはほとんどない」の割合が高い結果となった (p=0.001)。



「問 19 あなたがお住まいの地域では、災害や危機に対して、近隣の住民が協力し、お互いに助け合って行動できると思いますか」と比較してみると、つきあいの程度が高い方ほど「ある程度は助け合って行動できる」と回答する傾向にあり、つきあいの程度が低い方ほど「ほとんど助け合って行動できない」や「わからない」が多くなる傾向にある（ $p<0.001$ ）。また、「あいさつ程度」のつきあいがある方の 5 割程度が「ある程度は助け合って行動できる」と考えていることがわかる。

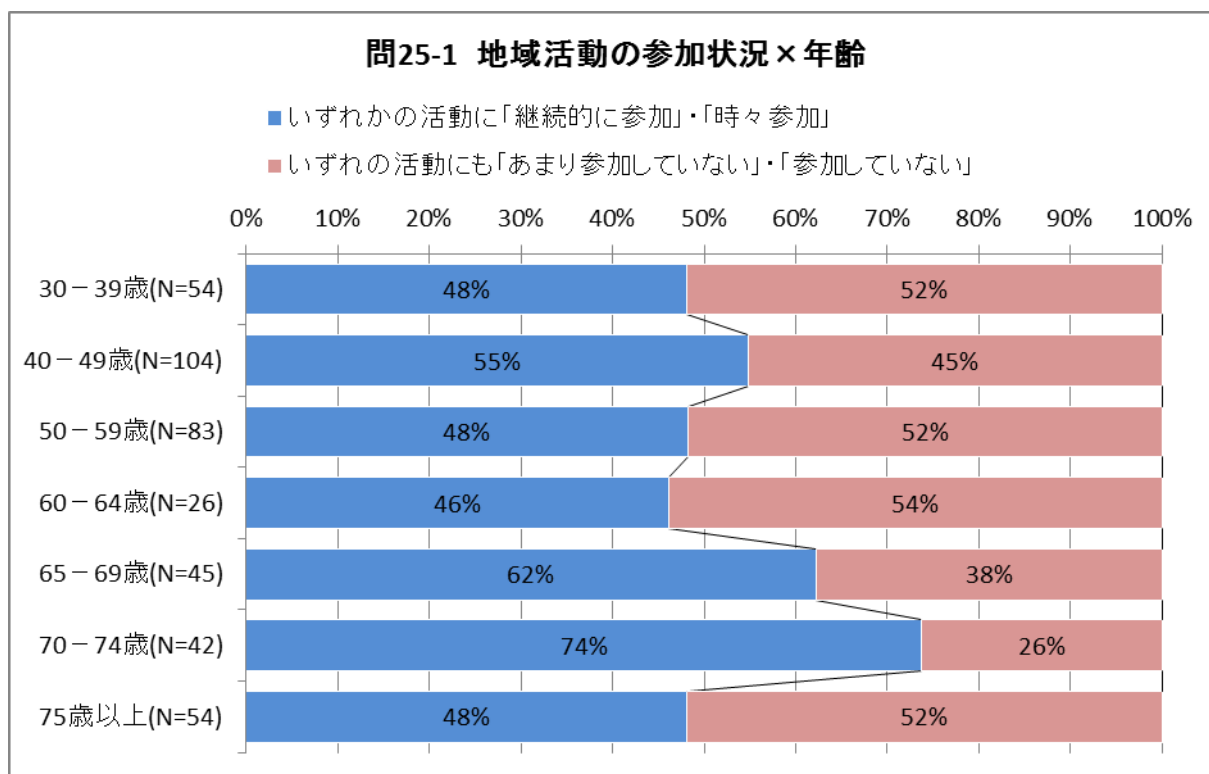


問 25 あなたは現在、下記の地域活動にどの程度参加していますか。

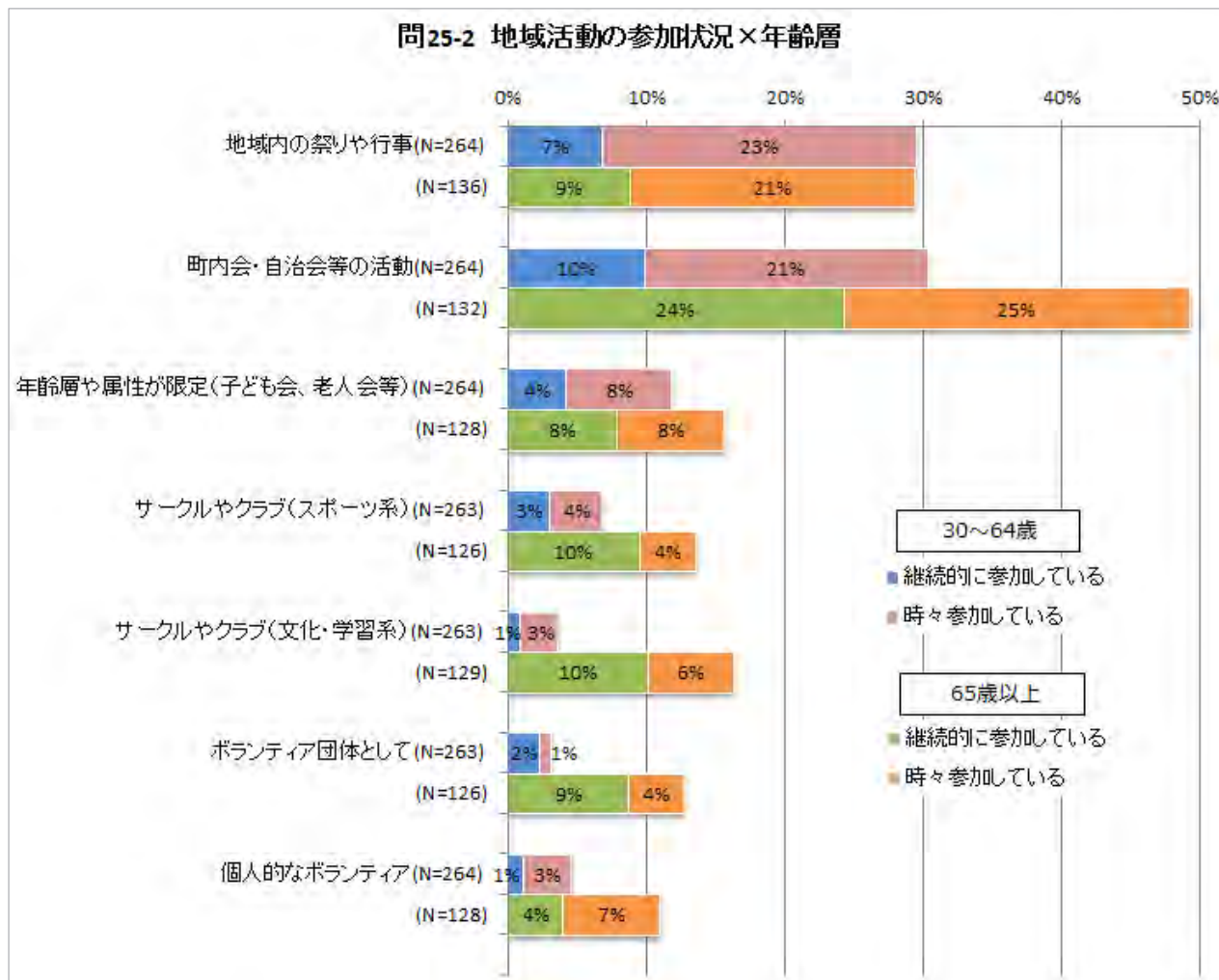
- ①地域内の祭りや行事（誰でも参加できるもの）
- ②町内会・自治会やマンション管理組合の活動
- ③年齢層や属性が限定された地縁活動（子ども会、PTA、おやじの会、婦人会、老人会等）
- ④地域内のサークルやクラブの活動（スポーツ系）
- ⑤地域内のサークルやクラブの活動（文化・学習系）
- ⑥ボランティア団体としての活動
- ⑦個人的なボランティア活動
- ⑧その他

（継続的に参加している－時々参加している－あまり参加していない－参加していない）

全体の結果では、①～⑦のすべてにおいて「参加していない」が最も高い割合になっている（①と②が 5 割弱、③～⑦が 7 割以上）。いずれかの活動に「継続的に参加」・「時々参加」しているかを年齢別に集計した結果が下記のグラフである。有意水準 10%で有意差が見られた（ $p=0.084$ ）。30～64 歳では 5 割程度だが、65 歳～69 歳が 62%、70～74 歳が 74%と割合が高くなっていく。しかし、75 歳以上では低くなっていることがわかる。

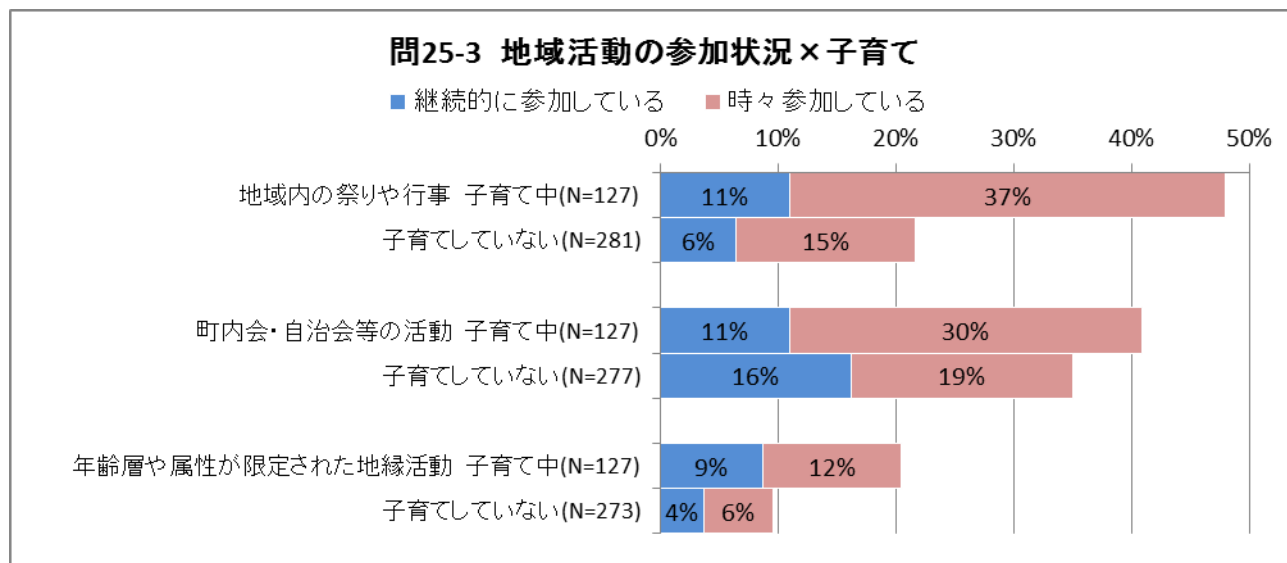


地域活動（⑧その他を除く）の参加状況について、年齢層別に分け、「継続的に参加」と「時々参加」のみを集計したものが下記のグラフである。このうち「継続的に参加」について年齢層による有意な差が見られた。「町内会・自治会やマンション管理組合の活動」（ $p<0.001$ ）、「サークルやクラブの活動（スポーツ系）」（ $p<0.001$ ）、「サークルやクラブの活動（文化・学習系）」（ $p<0.001$ ）、「ボランティア団体としての活動」（ $p=0.003$ ）であった。いずれも65歳以上の方の割合が高い結果となっている。



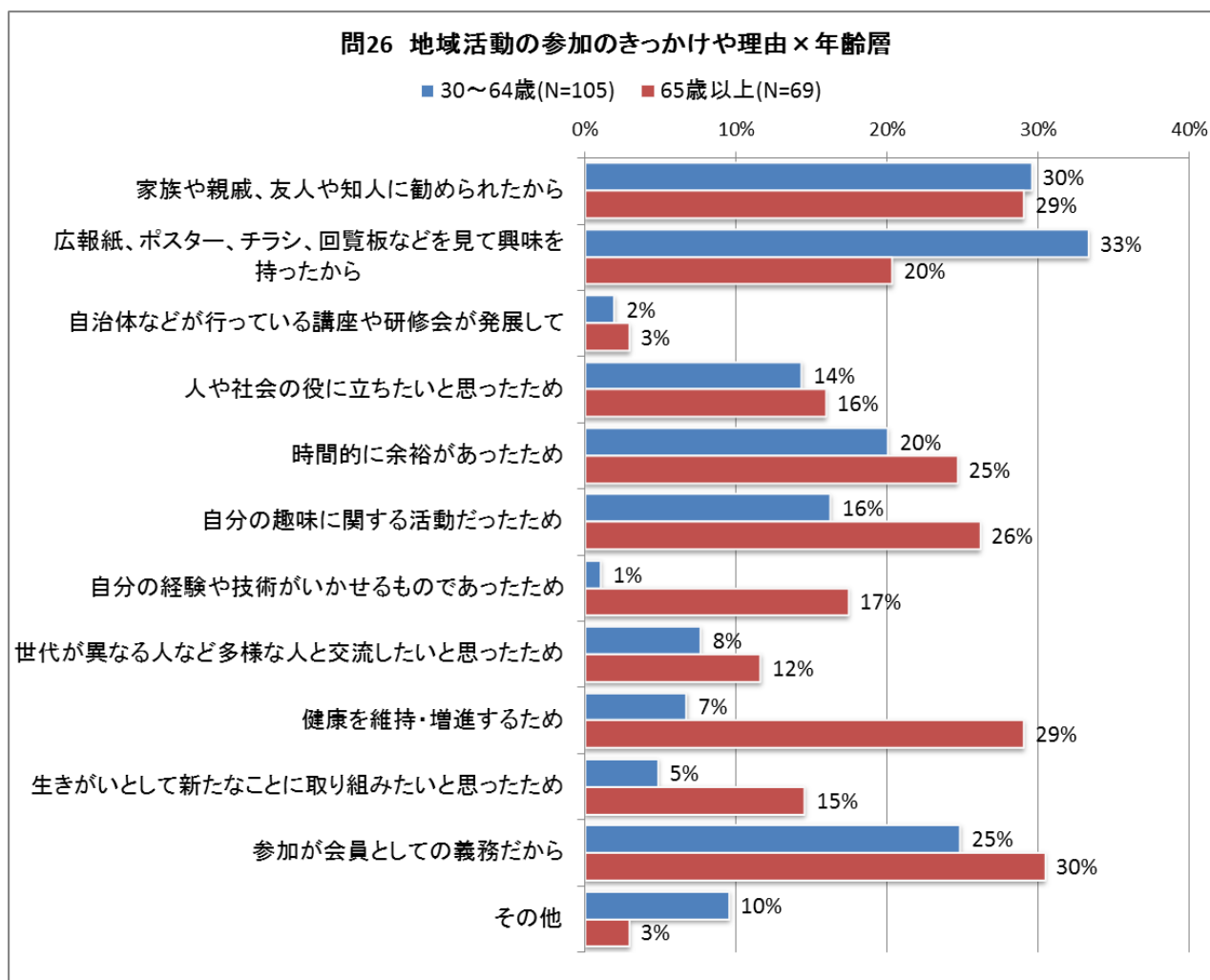
*割合は各年齢層の回答者総数を分母とする。

世帯の状況（問 28）によって比較したところ、「子育て中」であることによって、「地域内の祭りや行事」（ $p<0.001$ ）、「町内会・自治会やマンション管理組合の活動」（ $p=0.047$ ）、「年齢層や属性が限定された地縁活動」（ $p<0.001$ ）の「時々参加している」の割合が高いことがわかった。「年齢層や属性が限定された地縁活動」については、「継続的に参加している」の割合も有意に高い。



問26 問25 であなたが「継続的に参加している」、「時々参加している」と答えた地域活動について、参加のきっかけや理由として当てはまるもの。(複数回答可)

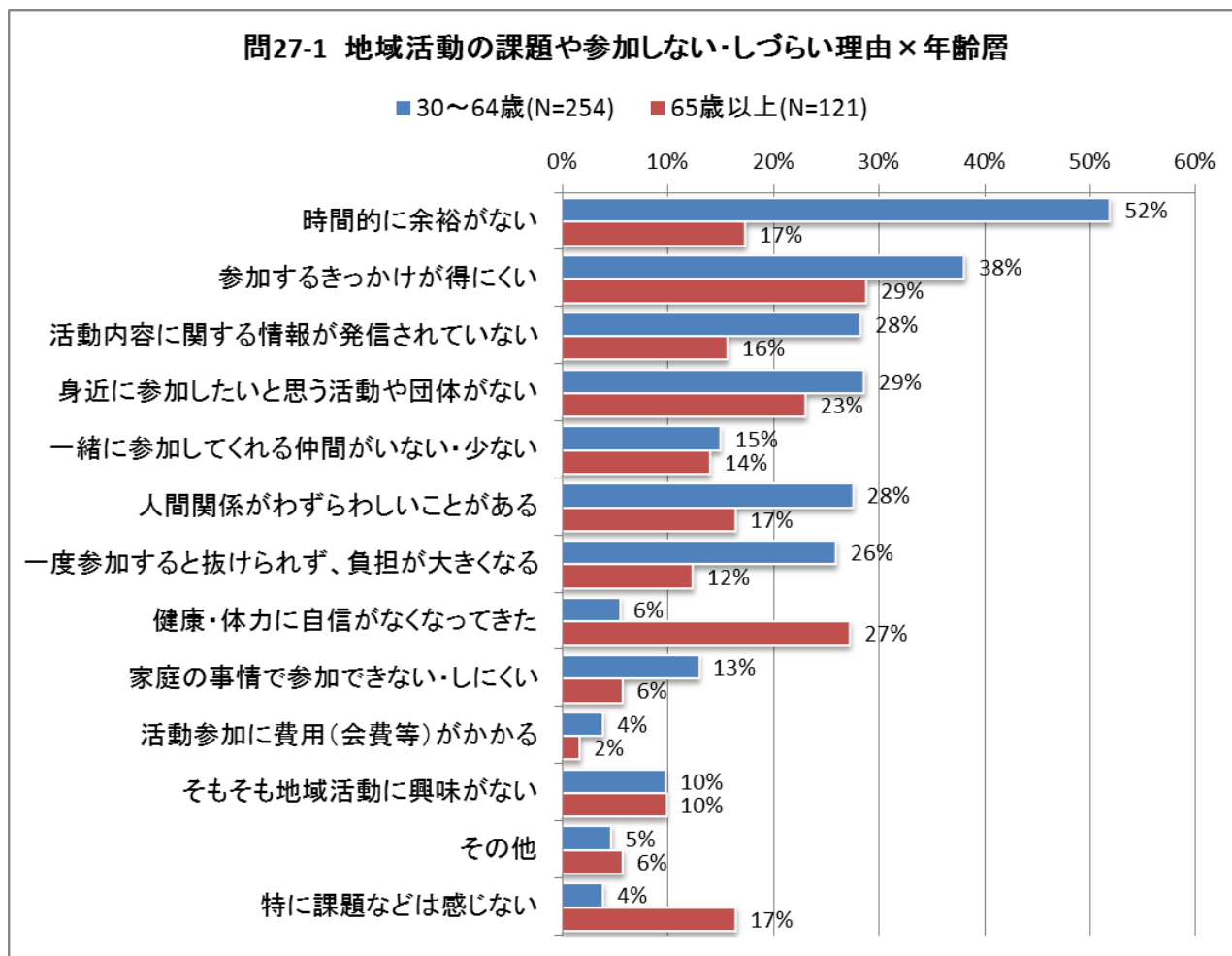
地域活動の参加のきっかけや理由について年齢層によって比較したところ、「自分の経験や技術がいかせるものであったため」(p<0.001)、「健康を維持・増進するため」(p<0.001)、「生きがいとして新たなことに取り組みたいと思ったため」(p=0.026) に有意な差があり、いずれも 65 歳以上が高い割合となっている。30～64 歳では、有意水準 10%での有意差であるが、「広報紙、ポスター、チラシ、回覧板などを見て興味を持ったから」が最も高い割合となっている (p=0.075)。



*割合は各年齢層の回答者総数を分母とする。

問 27 あなたが地域活動に参加していて課題を感じる点、または、地域活動に参加しない・しづらい理由として当てはまるもの。(複数回答可)

地域活動の課題や参加しない・しづらい理由について年齢層別に比較した結果、有意な差があったもののうち、30～64歳において高い割合だったものは、「時間的に余裕がない」(p<0.001)、「活動内容に関する情報が発信されていない」(p=0.001)、「人間関係がわずらわしいことがある」(p=0.003)、「一度参加すると抜けられず、負担が大きくなる」(p<0.001)であった。65歳以上において高い割合だったものは「健康・体力に自信がなくなってきた」(p<0.001)であった。



*割合は各年齢層の回答者総数を分母とする。

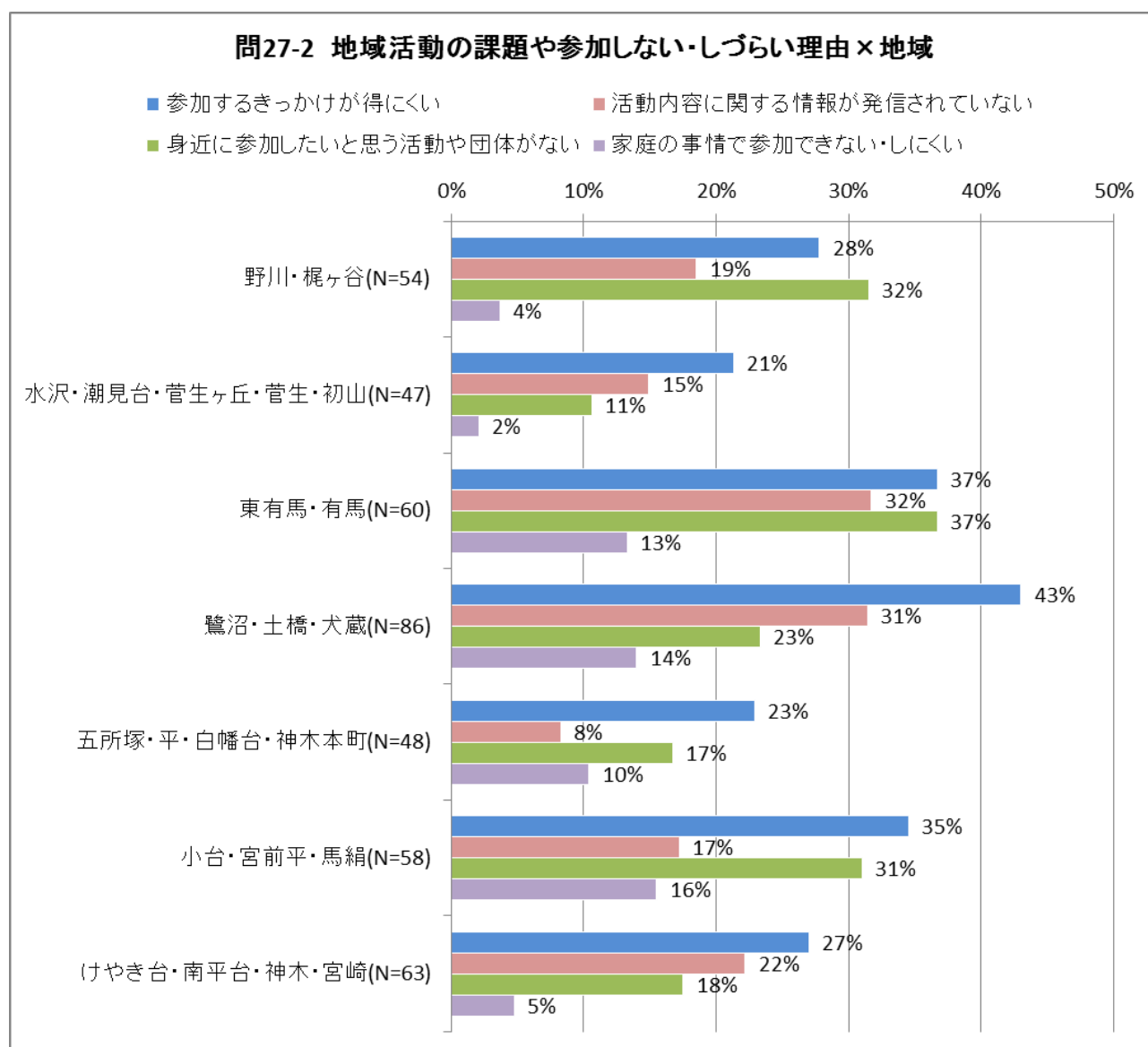
地域包括支援センターの圏域で比較したところ、有意水準 5%で 2 項目、有意水準 10%に広げると計 4 項目に差がみられた。

「参加するきっかけが得にくい」は、「鷺沼・土橋・犬蔵」で高い割合を示した (p=0.086)。

「活動内容に関する情報が発信されていない」は、「東有馬・有馬」と「鷺沼・土橋・犬蔵」で高い割合を示し、「五所塚・平・白幡台・神木本町」で低い割合を示した (p=0.017)。

「身近に参加したいと思う活動や団体がない」は、「東有馬・有馬」で高い割合を示し、「鷺沼・土橋・犬蔵」で低い割合を示した (p=0.014)。

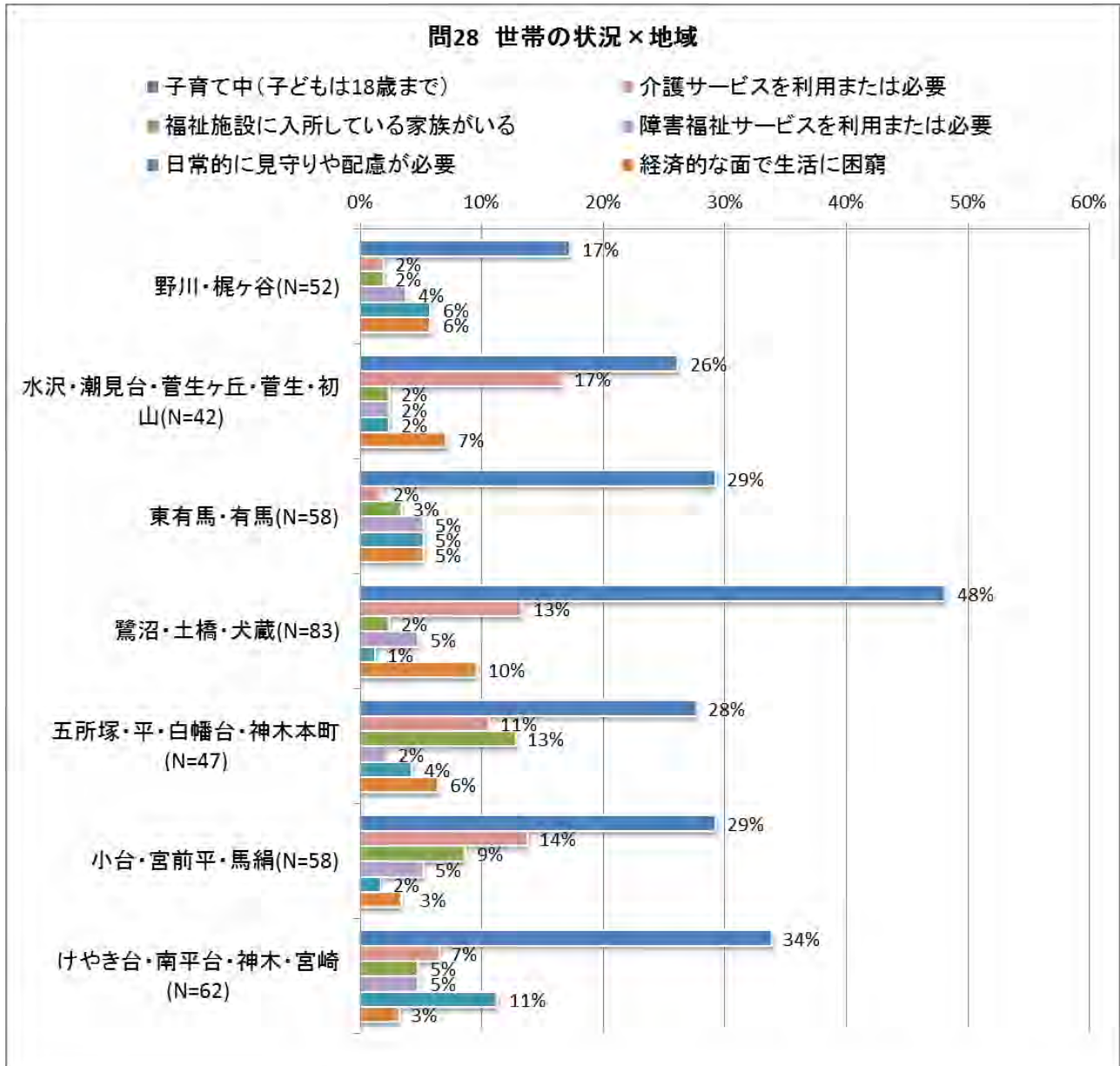
「家庭の事情で参加できない・しにくい」は、「水沢・潮見台・菅生ヶ丘・菅生・初山」、「野川・梶ヶ谷」、「けやき台・南平台・神木・宮崎」の順にやや低い割合を示した (p=0.060)。



*割合は各地域の回答者総数を分母とする。

問28 あなたの世帯の状況にあてはまるもの。(複数回答可)

世帯の状況について地域包括支援センターの圏域ごとの集計結果はグラフの通りである。有意な差は見られなかったが、参考として提示する。



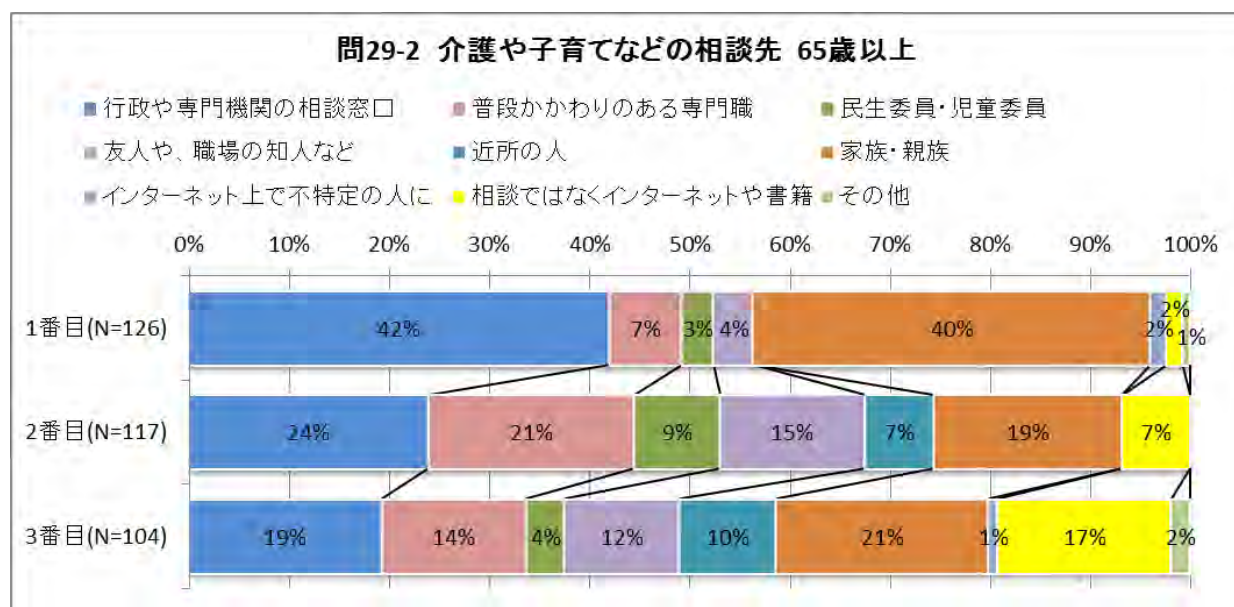
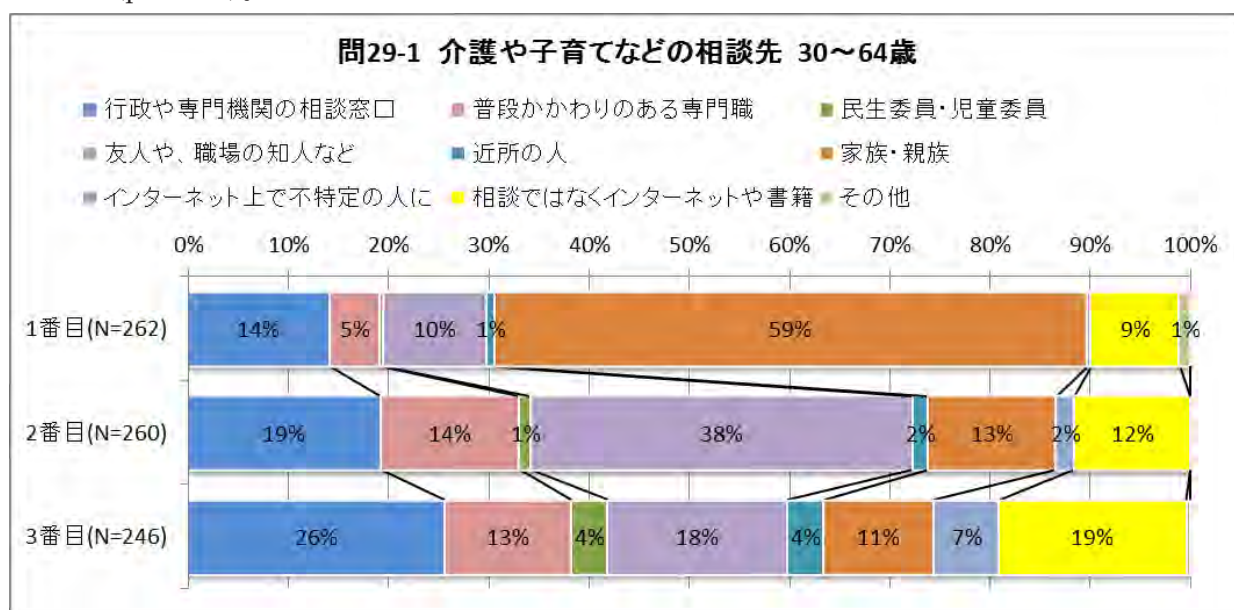
*割合は各地域の回答者総数を分母とする。

問 29 あなたは家族の介護や子育てなどで悩んだとしたら、誰に相談しますか。あなたが最初に頼るものから順に3つまで選んでください。

介護や子育てなどの相談先について年齢層で比較したところ、1番目の相談先については、30～64歳では「家族・親族」が高い割合を示し、65歳以上では「行政や専門機関の相談窓口」が高い割合を示した ($p<0.001$)。また、30～64歳において「友人や、職場の知人など」、「相談ではなくインターネットや書籍に頼る」が65歳以上よりも高い割合であった。

2番目の相談先については、30～64歳において「友人や、職場の知人など」が高い割合を示した ($p<0.001$)。また、65歳以上において「民生委員・児童委員」、「近所の人」が、30～64歳よりも高い割合であった。

3番目の相談先については、30～64歳において「行政や専門機関の相談窓口」が高い割合を示し、また、「友人や、職場の知人など」、「インターネット上で不特定の人に相談」が65歳以上よりも高い割合であった ($p<0.001$)。



問 30 日常生活に困難を感じている近所の方へのお手伝いについて、あなたの活動状況や思いについて伺います。各項目について、あなたに当てはまるもの。

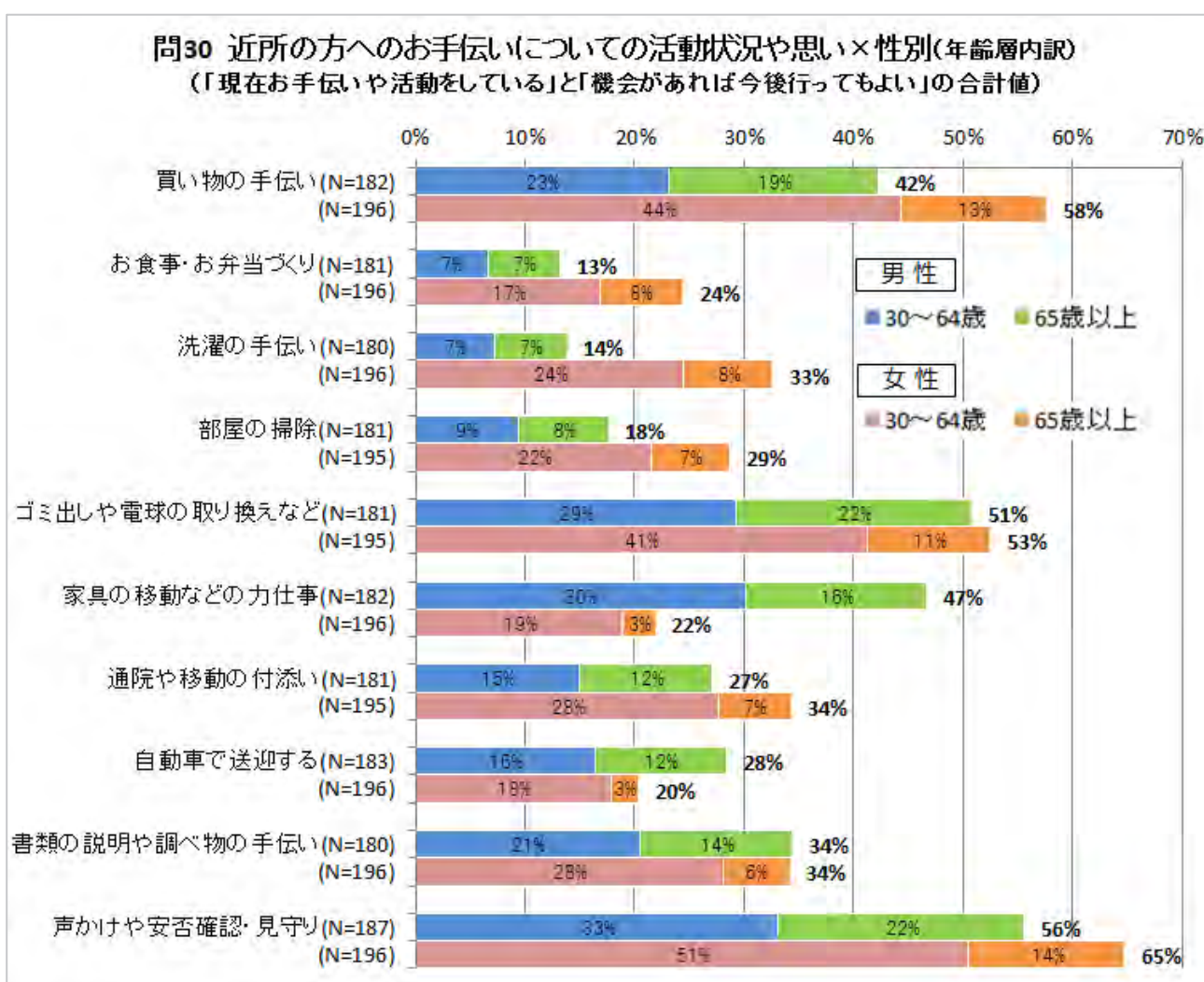
(現在お手伝いや活動をしているー機会があれば今後行ってもよいーできるが、あまりやりたくないーできない又はやりたくない)

グラフは「現在お手伝いや活動をしている」と「機会があれば今後行ってもよい」の合計を、性別ごとに集計し、年齢層別の内訳も記載したものである。

性別による有意差が見られたものについて、女性の割合が高かったものは、「買い物の手伝い」(p=0.008)、「お食事・お弁当づくり」(p<0.001)、「洗濯の手伝い」(p<0.001)、「部屋の掃除」(p=0.043)であった。男性の割合が高かったものは、「家具の移動などの力仕事」(p<0.001)、「自動車で送迎する」(p=0.014)であった。

年齢層も含めて分析すると、30～64歳において女性は、上記にあげたもの以外に「声かけや安否確認・見守り」の割合が高い(p=0.041)。また、「自動車で送迎する」は、30～64歳においては性別による有意差はなく、65歳以上において男性が高い割合を示した(p=0.009)。

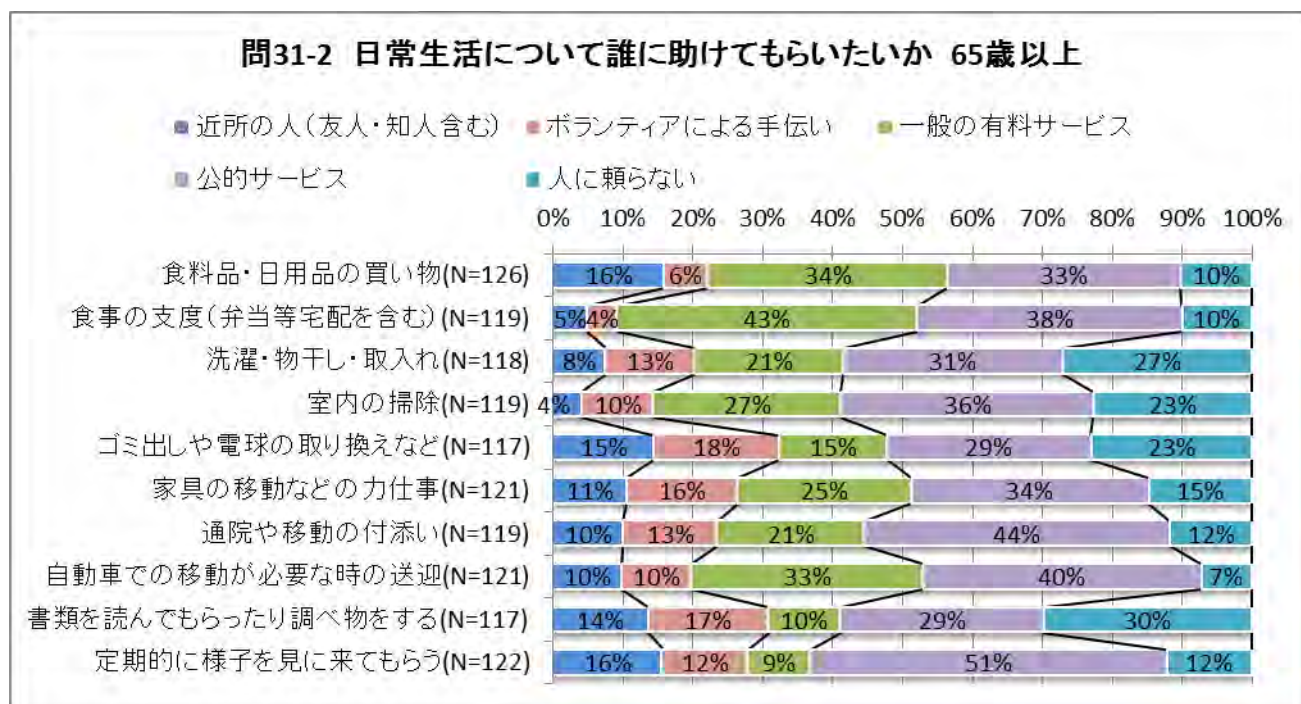
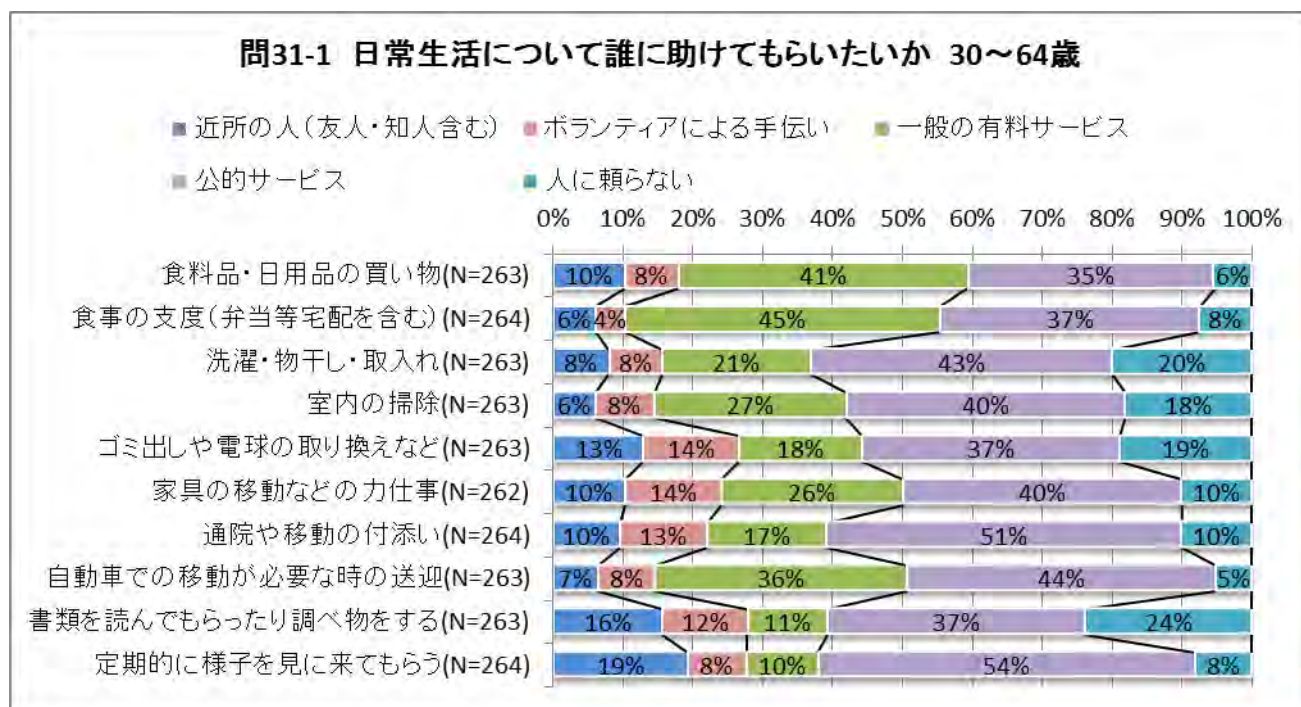
なお、年齢層のみによる比較においては、有意な差が見られなかった。



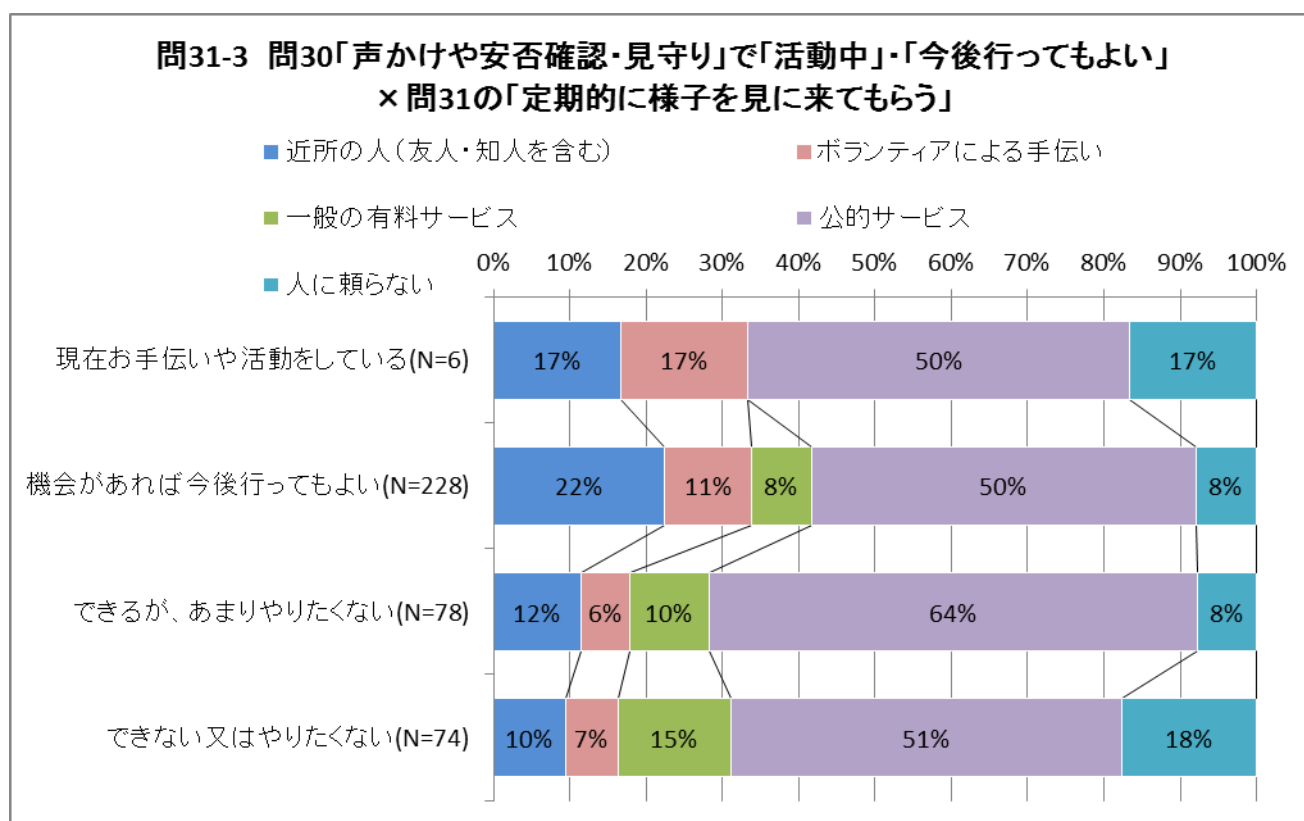
*割合は各性別の回答者総数を分母とする。

問 31 あなたは自分の体が弱って、家事や育児等の日常生活に不具合が出てきたときに、家族や親戚の世話を受けられないとしたら、以下の事柄を誰に助けてもらいたいですか。

年齢層別の集計結果は下記のグラフの通りである。年齢層による有意な差は見られなかったが、参考として提示する。全体的に、「公的サービス」に頼る割合が高く、また、「買い物」・「食事の支度」・「自動車での送迎」は「一般の有料サービス」の割合も高い結果となっている。



年齢層以外にも、地域、居住年数、つきあいの程度（問 24）、地域活動の参加状況（問 25）で比較してみたが有意な差はなかった。関連が見られたものとしては、「近所の方へのお手伝いについての活動状況や思い」（問 30）において「声かけや安否確認・見守り」で「現在お手伝いをしている」・「機会があれば今後行ってもよい」を選んでいる方が、問 31 において「定期的に様子を見に来てもらう」について「近所の人」・「ボランティアによる手伝い」を選択する割合が高いことがわかった（ $p=0.044$ ）。しかし、それでも半数の方は「公的サービス」を選んでいる。



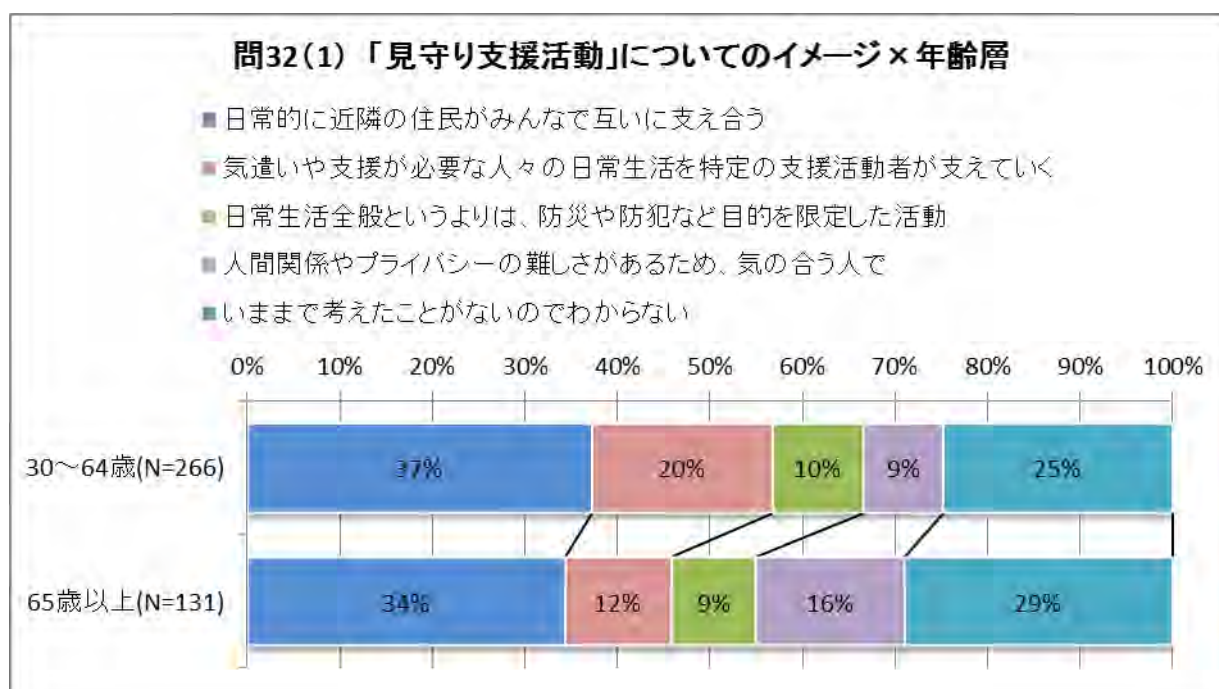
問 32 近隣での「見守り支援活動」に関する以下の問いにお答えください。

(1) あなたは「見守り支援活動」について、どのようなイメージを持っていますか。

年齢層で比較したところ、両者で最も高い割合だったものは「日常的に近隣の住民がみんなで互いに支え合う」であった。

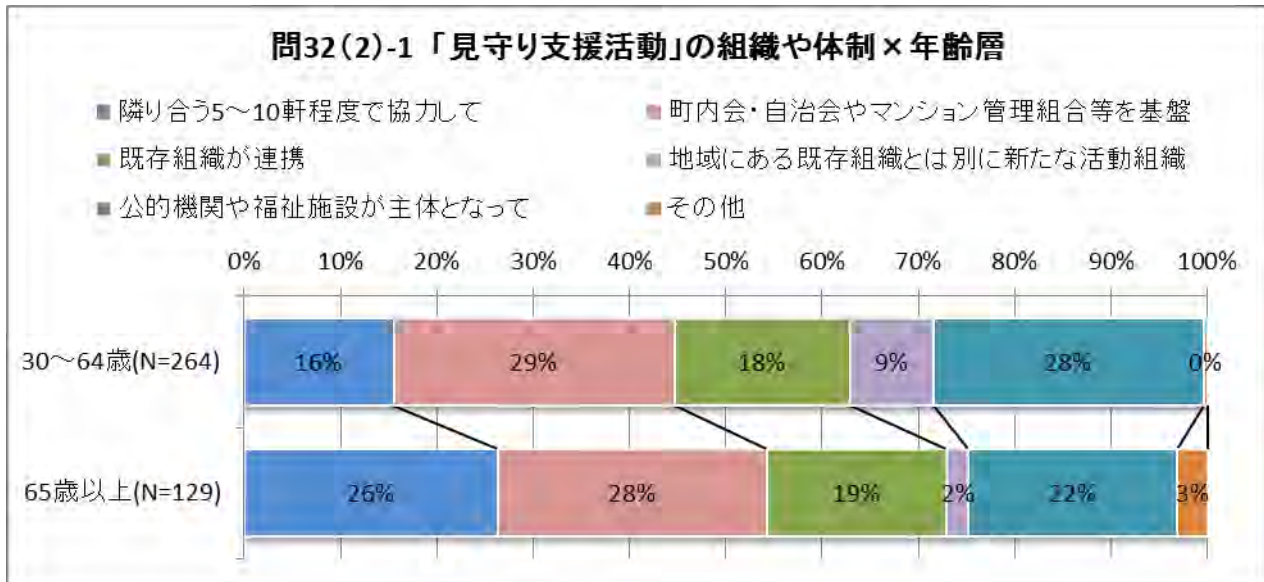
有意水準 10%で有意差が見られたのは以下の点である。30～64 歳では「気遣いや支援が必要な人々の日常生活を特定の支援活動者が支えていく」の割合が高い傾向があり、65 歳以上では「人間関係やプライバシーの難しさがあるため、気の合う人で」の割合が高い傾向が見られた (p=0.073)。

居住年数、住居形態、つきあいの程度 (問 24) による比較も行ったが有意な差はなかった。

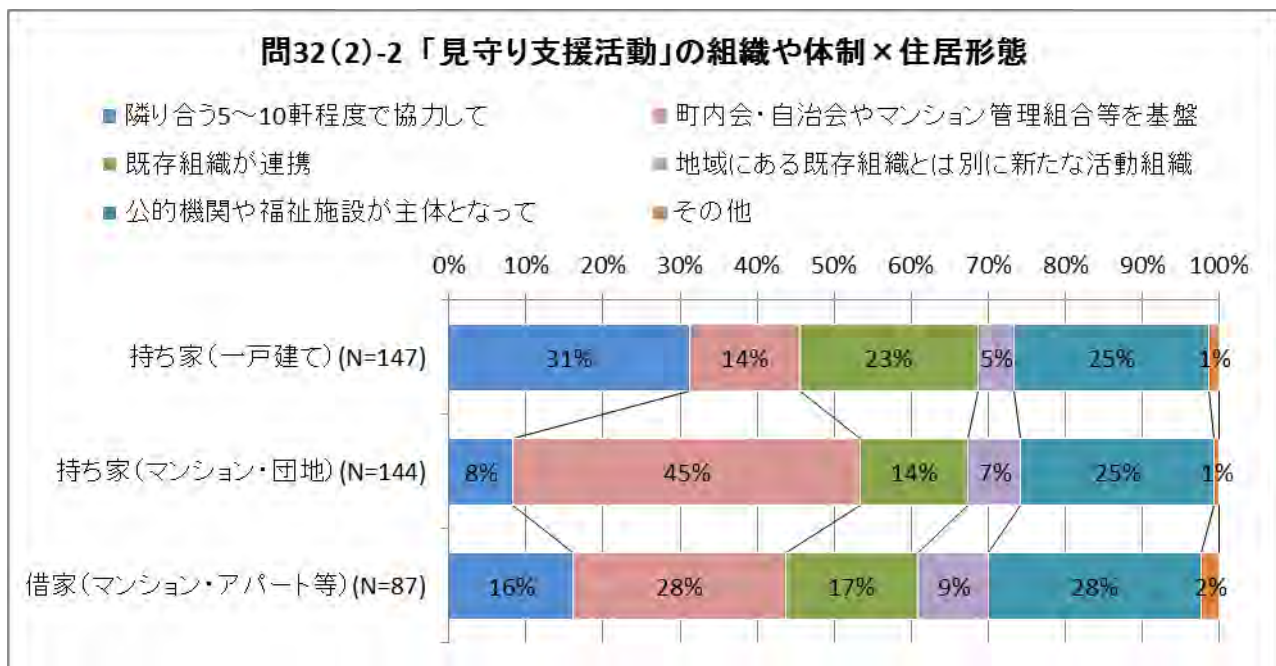


(2) あなたの近隣で「見守り支援活動」を行うとしたら、どのような組織や体制が望ましいと考えますか。

年齢層で比較したところ、30～64歳では「町内会・自治会等を基盤」、「公的機関や福祉施設が主体」、の順に、65歳以上では「町内会・自治会等を基盤」、「隣り合う5～10軒程度で協力して」の順に割合が高かった。年齢層による有意差が見られたのは以下の点である。30～64歳では「地域にある既存組織とは別に新たな活動組織」が高い割合を示し、65歳以上では「隣り合う5～10軒程度で協力して」が高い割合を示した (p=0.004)。



住居形態による比較（回答者の少ない「借家（一戸建て）」・「社宅・寮・公務員住宅」を除く）においては、「持ち家（一戸建て）」の方は「隣り合う5～10軒程度で協力して」が、「持ち家（マンション・団地）」の方は「町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤」が高い割合を示した (p<0.001)。

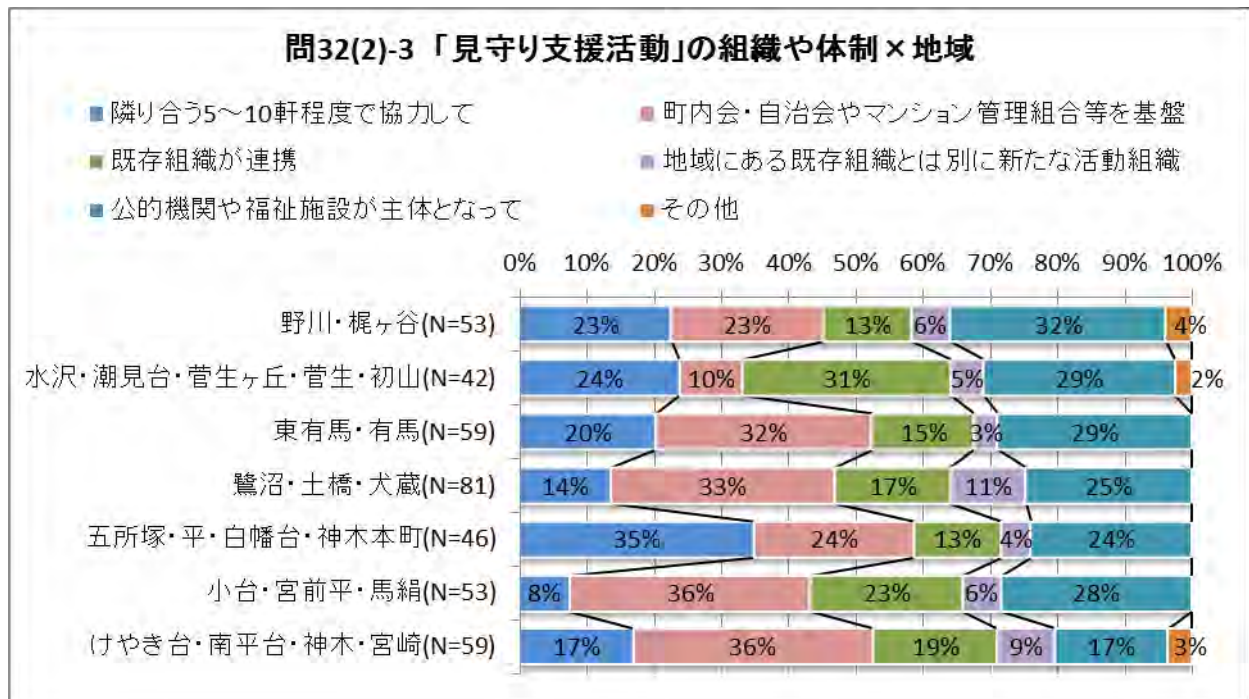


地域包括支援センターの圏域での比較では、有意水準 10%で以下のような有意差が見られた (p=0.060)。

「水沢・潮見台・菅生ヶ丘・菅生・初山」において「町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤」の割合が低く、「既存組織が連携」の割合が高い結果であった。

また、「鷺沼・土橋・犬蔵」は「地域にある既存組織とは別に新たな活動組織」が、「五所塚・平・白幡台・神木本町」は「隣り合う 5～10 軒程度で協力して」の割合が高い結果となった。

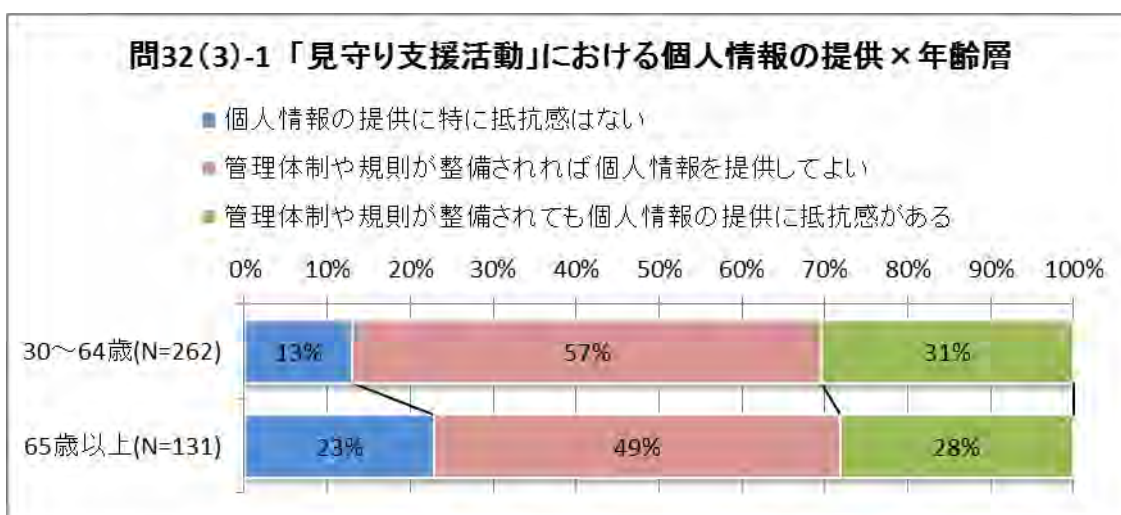
「小台・宮前平・馬絹」では、「隣り合う 5～10 軒程度で協力して」の割合が低かった。



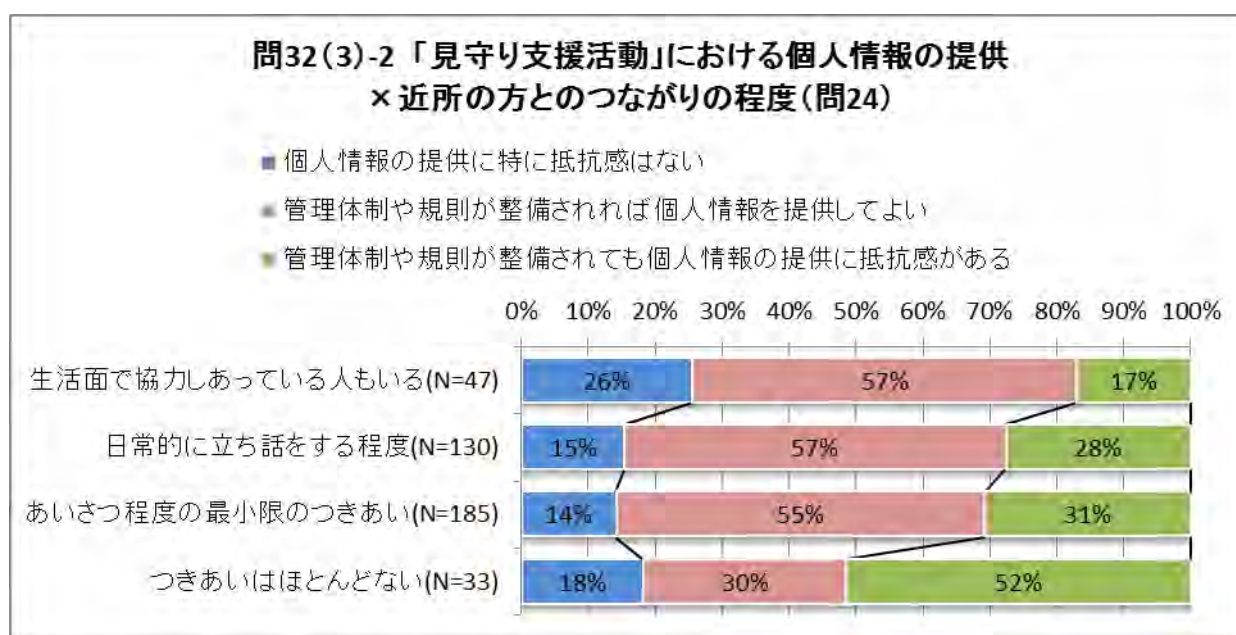
(3) 上記(2)で選択した組織・体制で「見守り支援活動」を行う場合、その組織に自分や家族の個人情報(緊急連絡先など)を提供することについてあなたの考えに近いもの。

※ 個人情報を得る際には、目的を明確にし、本人の同意を得ることを前提とする。

年齢層による比較では、どちらも「管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい」が最も高い割合を示した。有意差があった点については、65歳以上の方が「個人情報の提供に特に抵抗感はない」の割合が高かった(p=0.041)。

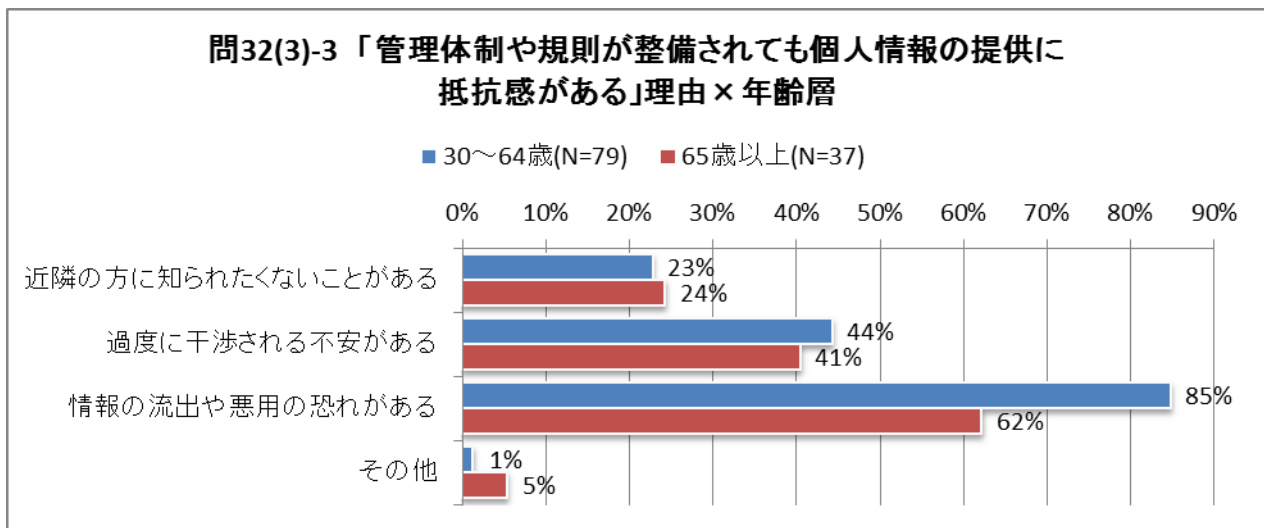


近所の方とのつながりの程度(問24)との比較では、「生活面で協力」を選んだ方について「個人情報の提供に特に抵抗感はない」の割合が高く、「管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」の割合が低い結果であった(p=0.020)。また、「つきあいはほとんどない」を選んだ方について「管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい」の割合が低く、「管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」の割合が高い結果であった。



(3) において「3. 管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある」を選んだ方の理由（複数回答可）

年齢層別の理由の集計結果はグラフの通りである。どちらの年齢層も「情報の流出や悪用の恐れがある」が最も割合が高い。また、「情報の流出や悪用の恐れがある」について年齢層による差が見られ、30～64歳の方の割合が高かった（ $p=0.010$ ）。

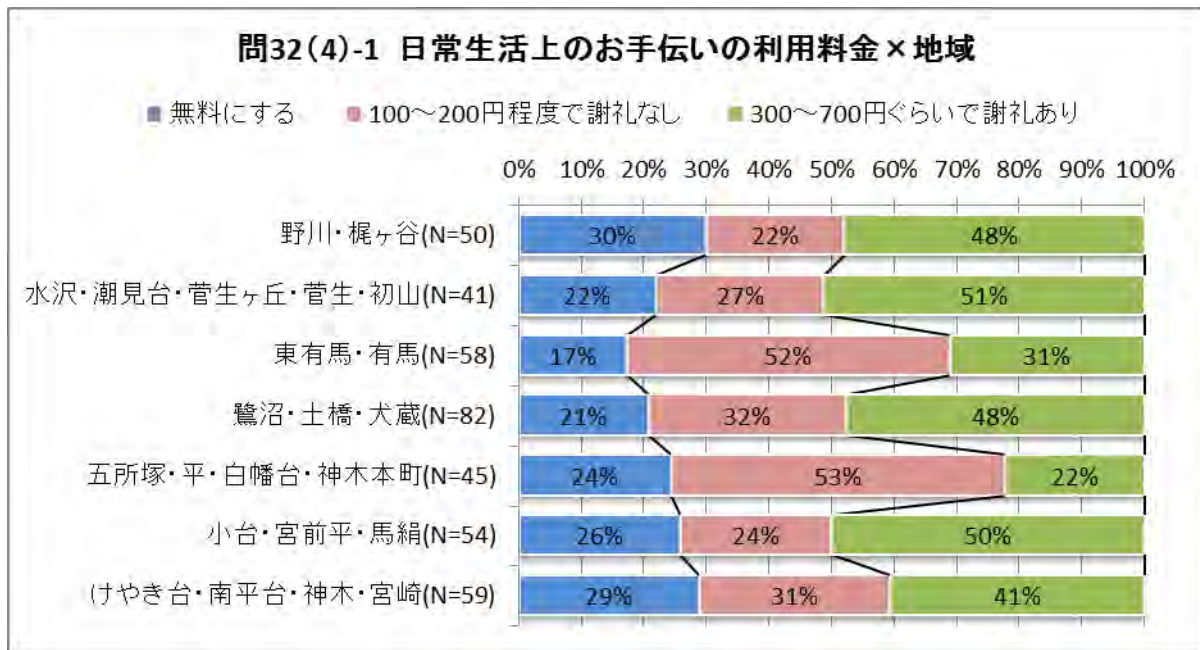


*割合は各年齢層の回答者総数を分母とする。

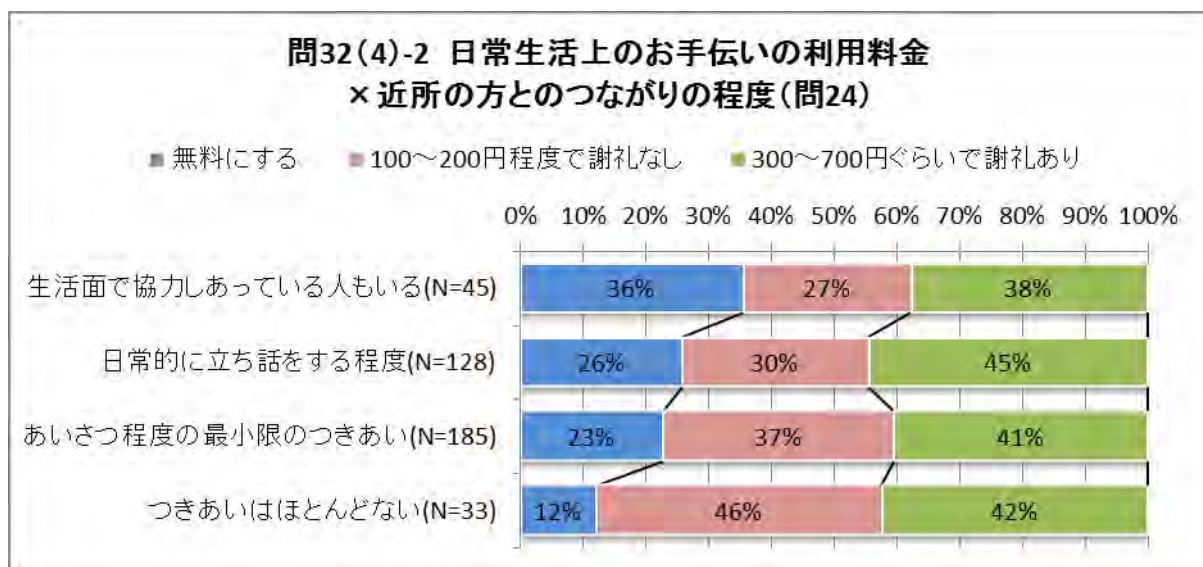
(4) あなたの近隣で「見守り支援活動」の一環として日常生活上のお手伝い（問 30 であげた各項目のようなこと）を実施する場合、利用料金についてどのようにするとよいと思いますか。

※ 材料費や交通費等の実費は利用料金とは別に利用者が支払うものとする。

年齢層による比較では有意な差がなかったが、地域包括支援センターの圏域で比較したところ有意な差があった (p=0.009)。「100～200 円程度で謝礼なし」の割合が高かったのが「東有馬・有馬」と「五所塚・平・白幡台・神木本町」であった。また、「五所塚・平・白幡台・神木本町」については「300～700 円ぐらいで謝礼あり」の割合が低かった。

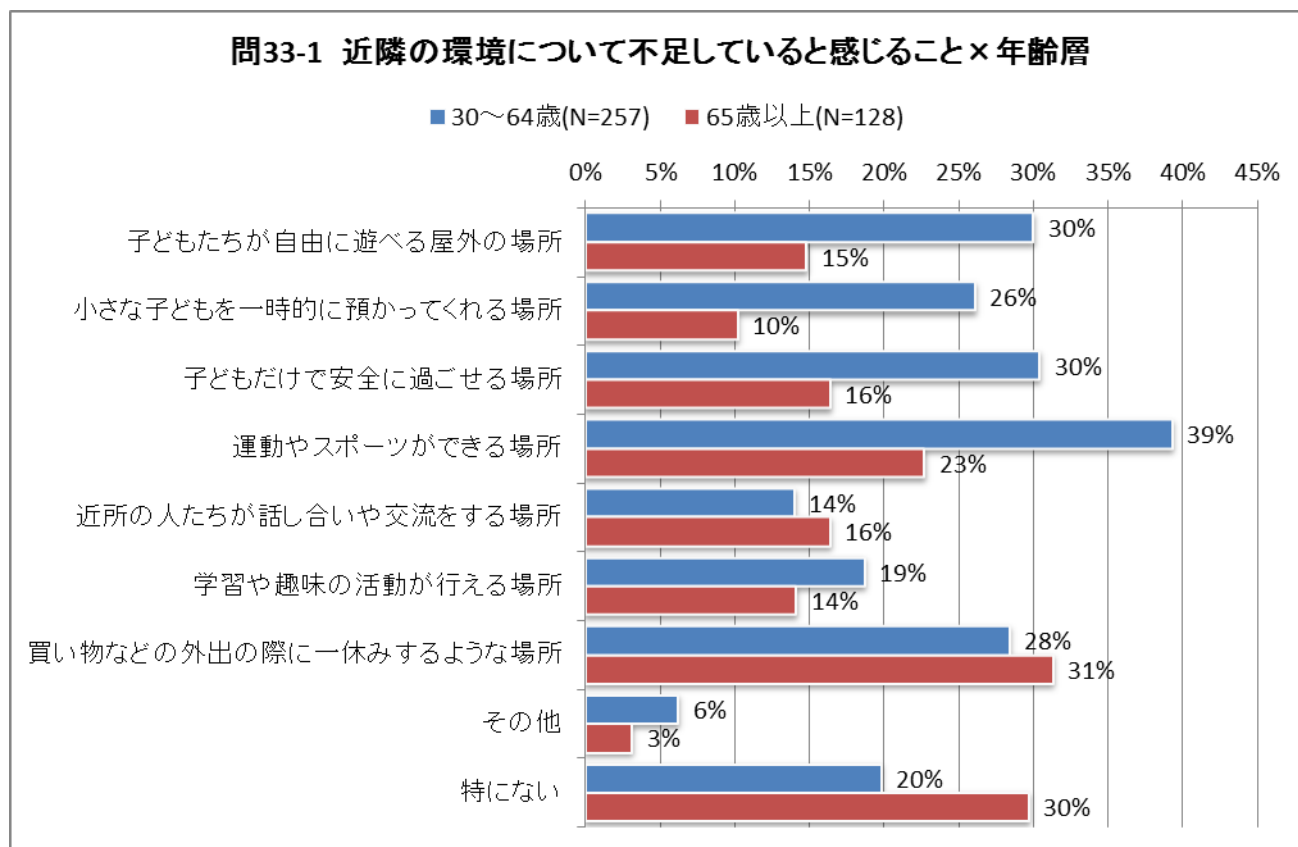


近所の方とのつきあいの程度（問 24）との関連性があるのではないかと考え比較してみたが、有意な差はなく、特に、つきあいの程度に関わらず「300～700 円ぐらいで謝礼あり」の割合はほぼ変わらなかった。



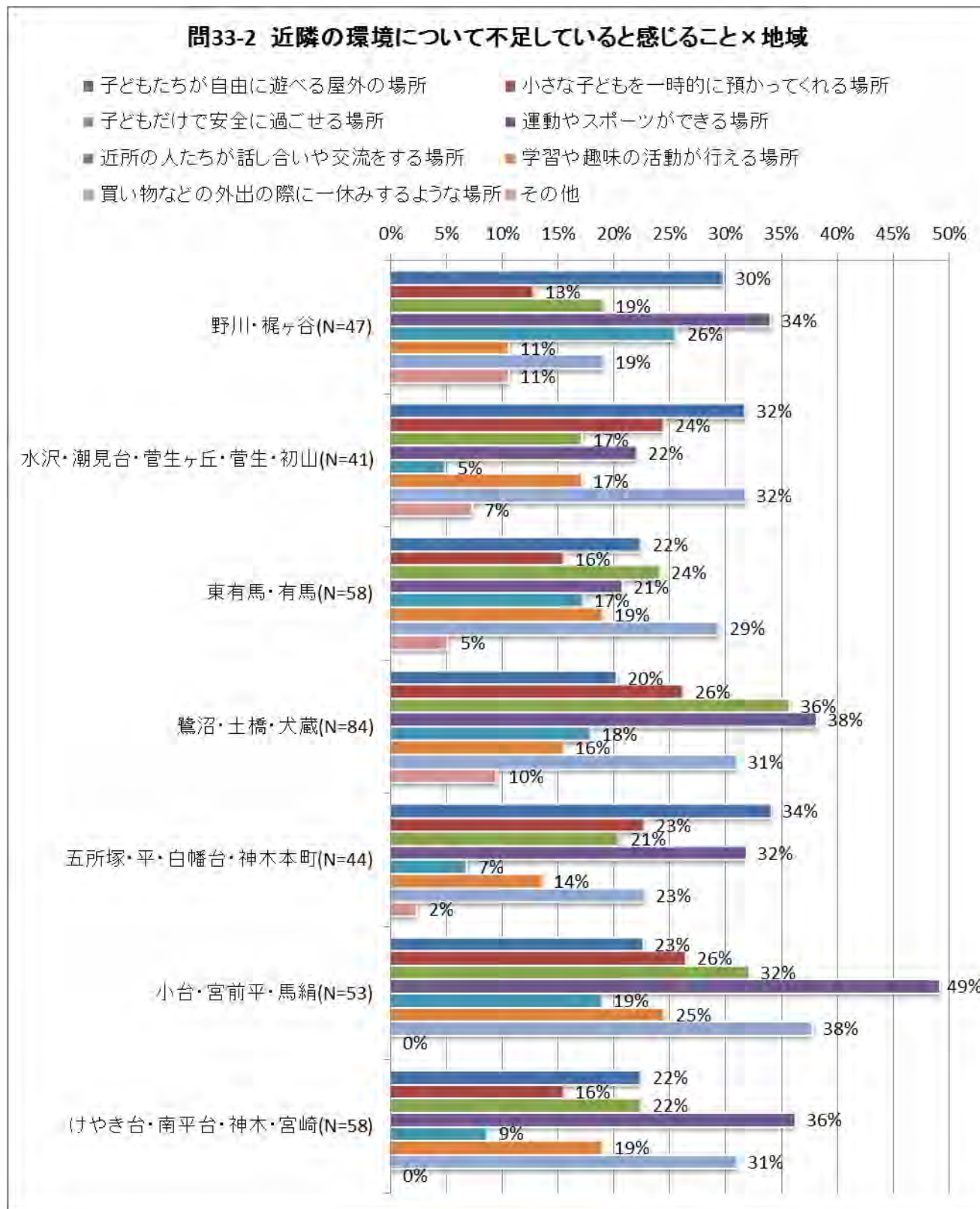
問 33 あなたが日常生活を送っている近隣の環境について、不足していると感じることとして当てはまるもの。(複数回答可)

年齢層による比較では、30～64 歳において、「子どもたちが自由に遊べる屋外の場所（公園など）」(p<0.001)、「小さな子どもを一時的に預かってくれる場所（一時保育など）」(p<0.001)、「子どもだけで安全に過ごせる場所（児童館など）」(p=0.001)、「運動やスポーツができる場所（運動公園、体育館など）」(p<0.001) の割合が高かった。「買い物などの外出の際に一休みするような場所（ベンチ、屋根のある休憩所など）」は、年齢層を問わず 30%程度の回答があった。



*割合は各世代の回答者総数を分母とする。

地域包括支援センターの圏域での比較を行った。有意な差が見られたのは以下の通りである。「運動やスポーツができる場所（運動公園、体育館など）」について、「小台・宮前平・馬絹」が高い割合を示し、「水沢・潮見台・菅生ヶ丘・菅生・初山」と「東有馬・有馬」が低い割合を示した（ $p=0.037$ ）。「近所の人たちが話し合いや交流をする場所（集会所など）」について、「野川・梶ヶ谷」が高い割合を示し、「水沢・潮見台・菅生ヶ丘・菅生・初山」が低い割合を示した（ $p=0.044$ ）。



*割合は各地域の回答者総数を分母とする。

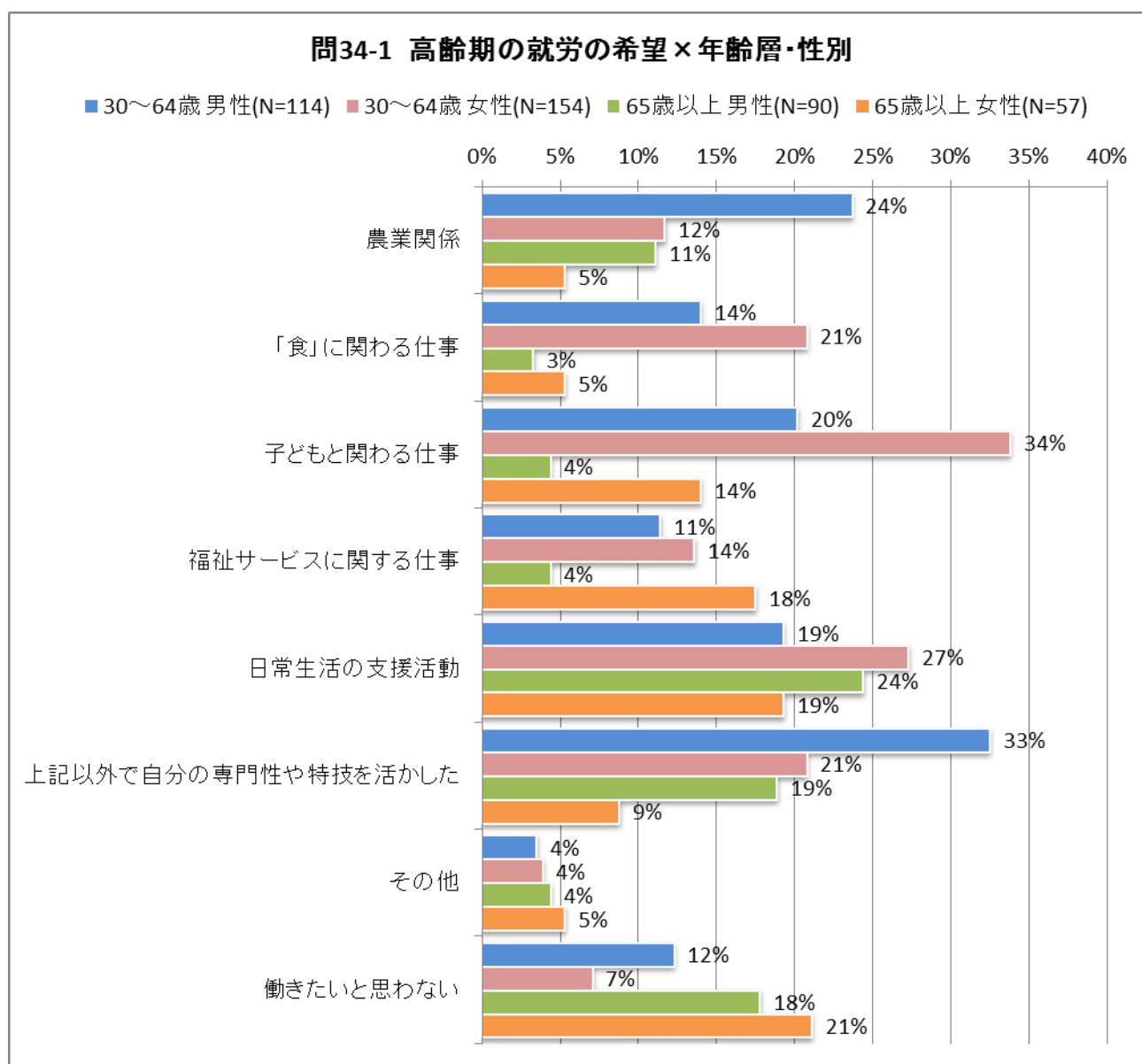
問 34 あなたが高齢期になってそれまでの仕事をリタイアしたあと、近隣で就労できるとしたらどのようなことをしたいですか。(複数回答可)

年齢層と性別による 4 類型で集計した結果をグラフにまとめた。各回答項目において有意な差が見られたのは以下の通りである。

「農業関係（農作業、農産物の加工など）」と「上記以外で自分の専門性や特技を活かした仕事」は、30～64 歳・男性の割合が高く、65 歳以上・女性の割合が低い（両者とも $p=0.003$ ）。

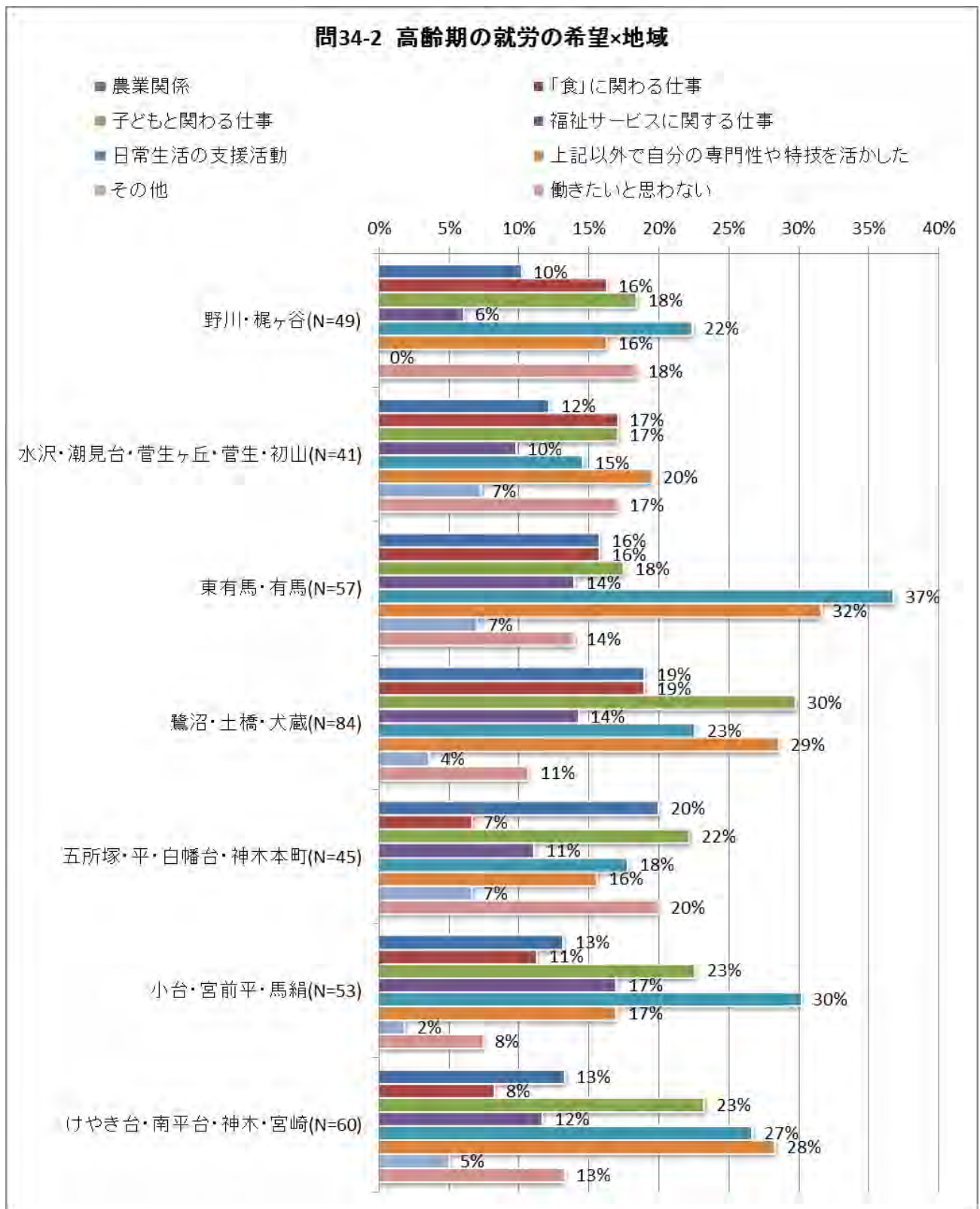
『食』に関わる仕事（食堂・配食サービスなど）」と「子どもに関わる仕事（保育・子育て支援、学童保育など）」は、30～64 歳・女性の割合が高く、65 歳以上・男性が低い（両者とも $p<0.001$ ）。

「働きたいと思わない」は、65 歳以上の男女の割合が高く、30～64 歳の男女の割合が低い ($p=0.019$)。



*割合は各年齢の性別ごとの回答者総数を分母とする。

地域包括支援センターの圏域ごとの結果はグラフの通りである。圏域による比較で有意な差はなかったが、参考として提示する。



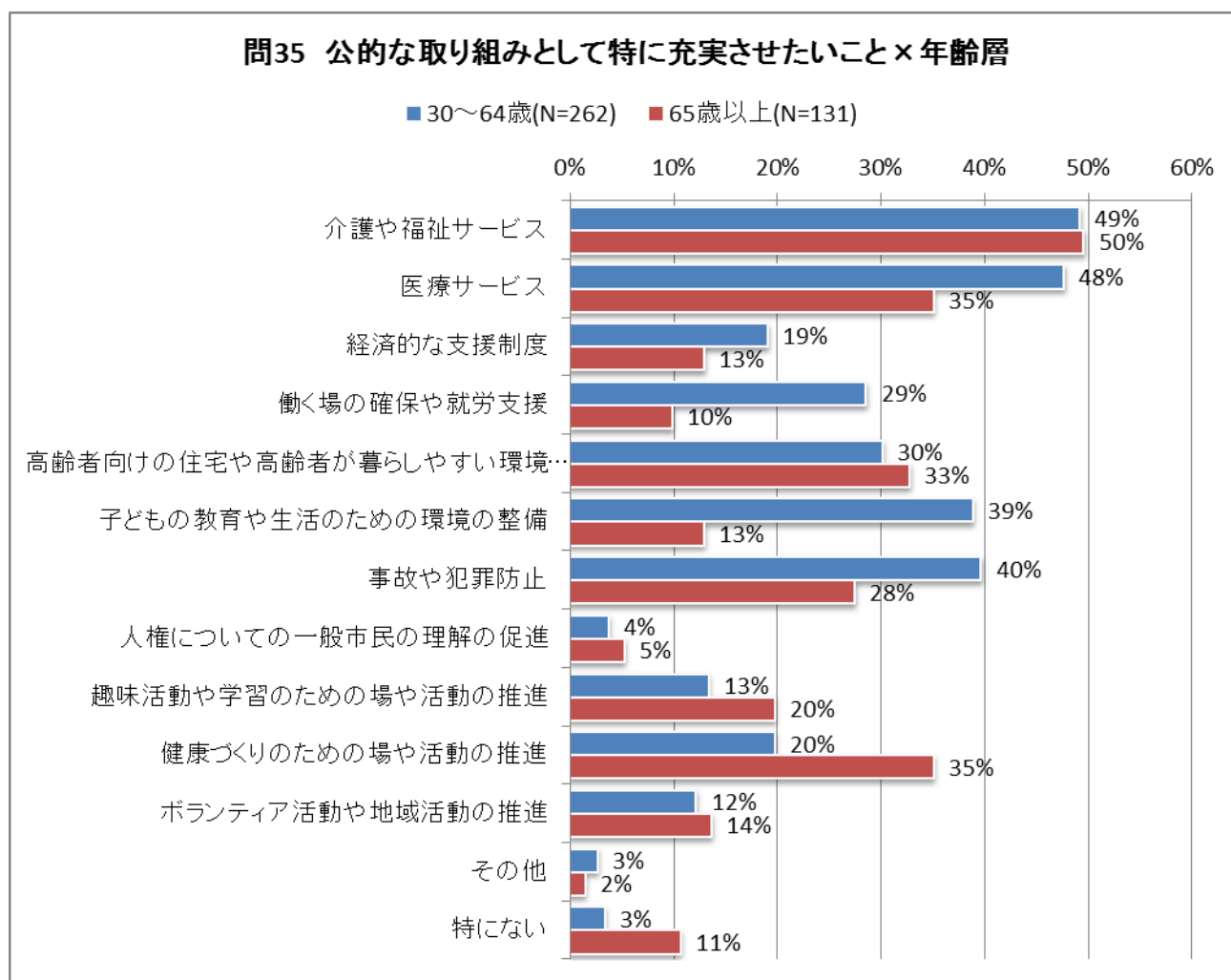
*割合は各地域の回答者総数を分母とする。

問35 今後お住まいの地域で生活していくうえで、公的な取り組みとして特に充実させたいと思うことについて、当てはまるもの。(複数回答可)

年齢層で比較したところ、以下の点について有意な差が見られた。

30～64歳で高い割合を示したのは、「医療サービス」(p=0.003)、「働く場の確保や就労支援」(p<0.001)、「子どもの教育や生活のための環境の整備」(p<0.001)、「事故や犯罪防止」(p=0.003)であった。

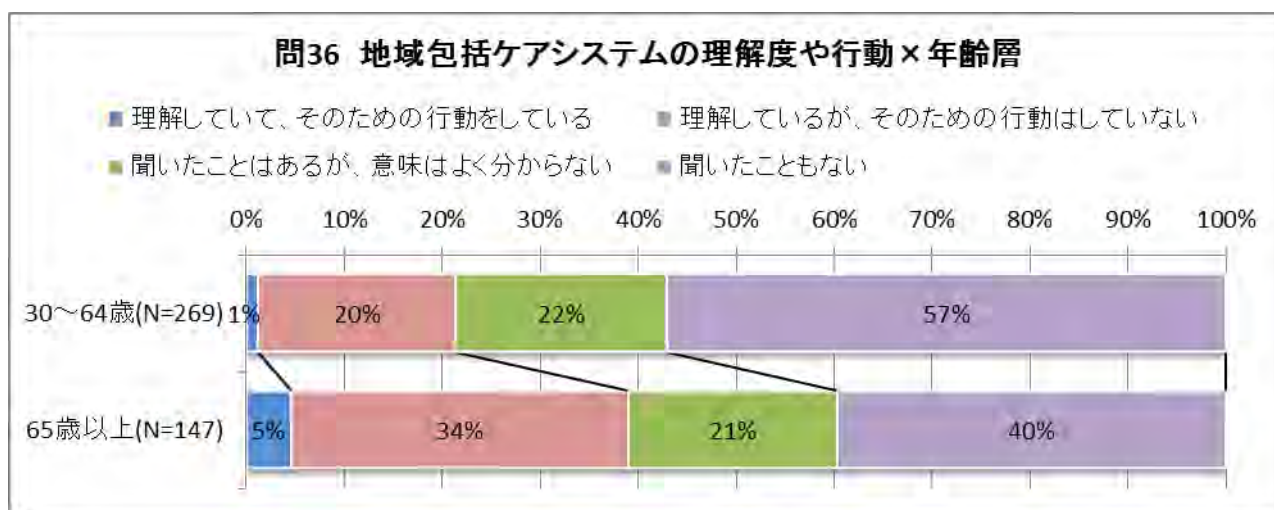
65歳以上で高い割合を示したのは、「健康づくりのための場や活動の推進」(p=0.006)、「特にない」(p=0.008)であった。



*割合は各年齢層の回答者総数を分母とする。

問 36 宮前区では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めているところです。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、当てはまるもの。

年齢層で比較したところ、30～64歳は「聞いたこともない」の割合が高く、65歳以上は「理解していて、そのための行動をしている」と「理解しているが、そのための行動はしていない」の割合が高かった (p<0.001)。



IV. 調査票

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート
調査票原本

宮前区民のくらしを豊かにするためのアンケート

日頃から宮前区の地域づくりにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。このアンケートは、医療・福祉に関する区民の方のニーズや不安を明らかにし、その生活上の課題を把握することで、今後進めていく地域医療体制の整備や地域福祉の実現に資することを目的に、宮前区役所が聖マリアンナ医科大学と田園調布学園大学と連携して実施するものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年9月

◆アンケートの対象者について

宮前区内にお住まいの30歳以上の方の中から、1,000名の方を無作為で選ばせていただきました。

◆個人情報の取り扱いについて

アンケートには、ご回答者のお名前やご住所などの個人情報をご記入いただく必要はございません。アンケートの結果は統計的に処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。

◆アンケートへの同意について

アンケートは郵送にて回収させていただきます。回収をもってアンケートへの同意がえられたものとさせていただきます。

—ご記入にあたってのお願い—

1. ご回答は、**封筒のあて名のご本人について**ご記入ください。
ご本人のご記入が難しい場合は、代筆でも可能です。
2. ご記入日における現状をもとにご記入ください。
3. ご記入は、黒の鉛筆かボールペンでお願いいたします。
4. ご回答いただきましたアンケートは、**9月20日(水)**までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

〈調査についてのお問い合わせ先〉

宮前区役所保健福祉センター地域みまもり支援センター地域支援担当

電話：044-856-3303、3255（平日8：30～17：00）

FAX：044-856-3237

I. あなたの性別・年齢・お住まいなどについておたずねします。

問1 あなたの性別について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 30－39歳 2. 40－49歳 3. 50－59歳
4. 60－64歳 5. 65－69歳 6. 70－74歳
7. 75歳以上

問3 あなたのお住まいの町域について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。(町名は50音順)

1. 有馬 2. 犬蔵 3. 梶ヶ谷 4. けやき平 5. 小台
6. 五所塚 7. 鷺沼 8. 潮見台 9. 神木 10. 神木本町
11. 白幡台 12. 菅生 13. 菅生ヶ丘 14. 平 15. 土橋
16. 南平台 17. 野川 18. 初山 19. 東有馬 20. 馬絹
21. 水沢 22. 宮崎 23. 宮前平 24. その他()

問4 現在のお住まいにあなたは何年住んでいるか、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 1年未満 2. 1－3年未満 3. 3－5年未満
4. 5－10年未満 5. 10－15年未満 6. 15－20年未満
7. 20年以上

問5 現在のあなたのお住まいについて、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンション・団地）
3. 借家（一戸建て） 4. 借家（マンション・アパート・団地・下宿等）
5. 社宅・寮・公務員住宅 6. その他()

問6 あなたの同居している家族について、当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可) ※こどもは人数も記載してください。

1. なし 2. 配偶者 3. こども (人)
4. 父・母 (義父・義母) 5. 祖父・祖母 (義祖父・義祖母)
6. 孫 7. 兄・弟・姉・妹 8. その他 ()

問7 あなたの職業について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 自 営
2. お勤め ⇒勤務形態で、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。
- ①常勤 ②非常勤 ③パート・アルバイト
3. その他 (主婦 (夫)、学生、無職等含む)

次のページに続く⇒

II. 地域の医療についておたずねします。

問8 あなたのお住まいの地域の**医療施設の数**についてどのように感じていますか。
当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

(1) 病院（入院できる医療施設）の数

1. 多い
2. 特に不便を感じていない
3. 少ない
4. 受診しないので必要ない
5. わからない

(2) 診療所・クリニック（入院できない医療施設）の数

1. 多い
2. 特に不便を感じていない
3. 少ない
4. 受診しないので必要ない
5. わからない

問9 あなたのお住まいの地域に**かかりつけの医療機関**はありますか。
当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. ある
2. ない
3. 住んでいる地域にはないが、かかりつけの医療機関はある
4. 受診しないので必要ない

問10 あなたや家族が病気やけがをしたとき、あなたのお住まいの地域に**受診したいと思**
う病院、診療所・クリニックはありますか。
それぞれについて、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-------|-------|----------|
| (1) 病院 | 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
| (2) 診療所・クリニック | 1. ある | 2. ない | 3. わからない |

問1 1 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設、または問い合わせ先（連絡先）について知っていますか。

当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 両方知っている
2. どちらかは知っている
3. 両方知らない
4. 受診しないので必要ない
5. わからない

問1 2 あなたのお住まいの地域の休日・夜間診療に対応している医療施設の数について、どのように感じていますか。当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 多い
2. 特に不便を感じていない
3. 少ない
4. 受診しないので必要ない
5. わからない

問1 3 あなたのお住まいの地域の医療体制について、より充実してもらいたい医療機能について、当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|----------|
| 1. 小児医療 | 2. 救急医療（夜間・休日の医療） | 3. 周産期医療（産科） | |
| 4. がん医療 | 5. 脳疾患医療 | 6. 心疾患医療 | 7. 糖尿病医療 |
| 8. 精神科医療（認知症含む） | 9. 災害時医療 | 10. 在宅医療（往診・訪問診療） | |
| 11. わからない | 12. その他（ | | ） |

問1 4 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気・けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 可能である（または、現在行っている） | } ⇒ 「3」または「4」を選択された方は★へ |
| 2. 試してみたい | |
| 3. できれば避けたい | |
| 4. 無理である | |

★「3. できれば避けたい」または「4. 無理である」と回答された方に伺います。
その理由について当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 家でお世話をする人が確保できないため
2. 訪問診療や訪問看護などの医療サービスを利用したくないため
3. 療養できる部屋や風呂、トイレなどの住環境が整っていないため
4. 急に病状が変わったときの対応などが不安なため
5. 経済的事情や費用が心配なため
6. 在宅医療や在宅介護には関心がないため
7. 特に理由はない
8. その他（具体的に _____)

問15 あなたやご家族が在宅で長期療養をしなければならない場合、誰にどれくらい頼りたいですか。①～⑭についてそれぞれ当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

	とても 頼りたい	できれば 頼りたい	できれば 頼りたくない	絶対に 頼りたくない	頼れない いない
①配偶者	1	2	3	4	5
②父・母（義父・義母）	1	2	3	4	5
③子ども	1	2	3	4	5
④兄・弟・姉・妹	1	2	3	4	5
⑤友人・知人	1	2	3	4	5
⑥近隣の住民	1	2	3	4	5
⑦入院施設のある大きな病院	1	2	3	4	5
⑧診療所・クリニックの医師	1	2	3	4	5
⑨看護師	1	2	3	4	5
⑩保健師	1	2	3	4	5
⑪介護サービス業者	1	2	3	4	5
⑫市役所・区役所	1	2	3	4	5
⑬町内会・自治会	1	2	3	4	5
⑭民生委員・児童委員	1	2	3	4	5

問16 あなたが在宅で長期療養をしなければならない場合、公的制度を利用して、どのサービスをどれくらい利用してみたいですか。①～⑦について、それぞれ当てはまるものをつだけ選んで○をつけてください。

サービス	内容	とても利用したい	できれば利用したい	できれば利用したくない	絶対に利用したくない	どちらともいえない
①居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師等が 診療や服薬指導 などを行う	1	2	3	4	5
②訪問看護	看護師が医師の指示に基づいて 医療処置、医療機器の管理 などを行う。	1	2	3	4	5
③訪問リハビリテーション	リハビリテーションの 指導・支援 などを行う	1	2	3	4	5
④訪問介護	買い物や掃除、食事や排せつの 介護 などを行う	1	2	3	4	5
⑤訪問入浴介護	移動式浴槽による室内での 入浴 などを行う	1	2	3	4	5
⑥通所サービス (デイケア) (デイサービス)	施設に通い 、食事や排せつの介護、リハビリやレクリエーションなどを行う	1	2	3	4	5
⑦短期入所サービス (ショートステイ)	施設に短期入所 し、食事や排せつの介護、リハビリやレクリエーションなどを行う	1	2	3	4	5

Ⅲ. 災害時における行動や医療についておたずねします。

問17 あなたは以下の4項目の災害や危機に対して、日ごろからどの程度備えていますか。
①~④について、それぞれ当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

	十分に 備えている	ある程度 備えている	ほとんど 備えていない	わから ない
①地震、洪水、土砂崩れなどの 自然災害	1	2	3	4
②原子力事故、大規模火災などの 人的災害	1	2	3	4
③爆弾テロや殺人などの凶悪犯罪 の発生	1	2	3	4
④感染症など健康に関する危機の 発生	1	2	3	4

問18 あなたのお住まいの地域を対象とした防災訓練が実施されたら参加しますか。
当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 積極的に参加したい（参加している）
2. できれば参加したい
3. できれば参加したくない
4. 参加したくない
5. 参加する必要がある

問19 あなたがお住まいの地域では、災害や危機に対して、近隣の住民が協力し、お互いに助け合って行動できると思いますか。当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 十分に助け合って行動できる
2. ある程度は助け合って行動できる
3. ほとんど助け合って行動できない
4. 助け合う必要がある
5. わからない

問20 「トリアージ」とは、傷病者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めることですが、「トリアージ」という言葉を聞いたことがありますか、また意味を知っていましたか。当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 聞いたこともあるし、意味も知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 聞いたこともないし、意味も知らない

問21 災害時に常備薬（病院のお薬や薬局で売っている薬）やお薬手帳を持って避難できるようにしていますか。当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 薬は持ち出せるようにしている
2. お薬手帳は持ち出せるようにしている
3. 両方持ち出せる
4. 両方持ち出せない
5. 薬は飲んでいない（飲まない）
6. お薬手帳を持っていない

問22 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。あなたが**命には危険がなく（極めて軽傷）、自分で動ける程度の病気やけがをした場合**、あなたはどうしますか。当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 我慢する・様子を見る
2. 市販薬を使い自分で手当とする
3. 救急車を呼ぶ
4. 近隣の診療所に行く
5. 災害拠点病院に行く
6. 災害時救急病院に行く
7. 避難所（医療救護所等）に行く

⇒「4. 5. 6. 7.」を選択された方は★へ

★「4. 5. 6. 7.」を選択された方に伺います。どのような手段でいきますか。当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 自家用車
2. タクシー
3. 徒歩
4. 自転車・バイク
5. 動いていればバス・電車
6. その他（ ）

問23 自然災害時（地震）で1週間が経過し、救出救助活動が徐々に収束し、医療の提供機能も徐々に回復してきました。**医療機関に強く望むものから順に3つ選んでください。**

1 番目 () 2 番目 () 3 番目 ()

1. 子どもを優先して診てほしい
2. 高齢者を優先して診てほしい
3. 病院に来た順番で診てほしい
4. 重症度に関係なく入院させてほしい
5. 一般外来を早く再開してほしい
6. 救急・休日・夜間の対応を増やしてほしい
7. 慢性疾患の管理をしてほしい
8. いつも飲んでいる薬や塗り薬、貼り薬を処方してほしい
9. こころのケアをしてほしい
10. 訪問診療や往診を早く再開してほしい
11. 避難所で健康相談、診察、歯科治療、服薬指導などをしてほしい
12. 医療機関の情報（開院状況など）を知らせてほしい

IV. 日常生活についておたずねします。

問24 あなたはご近所の方といま現在どのようなおつきあいをしていますか。つきあいの程度について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4. つきあいはほとんどない

問25 あなたは現在、下記の地域活動にどの程度参加していますか。各項目について当てはまる程度をそれぞれ一つだけ選んで○をつけてください。

	継続的に参加 している	時々参加 している	あまり参加 していない	参加して いない
①地域内の祭りや行事 (誰でも参加できるもの)	1	2	3	4
②自治会・町内会やマンション管理組合 の活動	1	2	3	4
③年齢層や属性が限定された地縁活動 (子ども会、PTA、おやじの会、婦人会、 老人会等)	1	2	3	4
④地域内のサークルやクラブの活動 (スポーツ系)	1	2	3	4
⑤地域内のサークルやクラブの活動 (文化・学習系)	1	2	3	4
⑥ボランティア団体としての活動	1	2	3	4
⑦個人的なボランティア活動	1	2	3	4
⑧その他	1	2	/	/
内容 ()				

問26 問25であなたが「継続的に参加している」、「時々参加している」と答えた**地域活動**について、**参加のきっかけや理由**として当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

⇒ 該当しない方は問27へ

1. 家族や親戚、友人や知人に勧められたから
2. 広報紙、ポスター、チラシ、回覧板などを見て興味を持ったから
3. 自治体などが行っている講座や研修会が発展して
4. 人や社会の役に立ちたいと思ったため
5. 時間的に余裕があったため
6. 自分の趣味に関する活動だったため
7. 自分の経験や技術がいかせるものであったため
8. 世代が異なる人など多様な人と交流したいと思ったため
9. 健康を維持・増進するため
10. 生きがいとして新たなことに取り組みたいと思ったため
11. 参加が会員としての義務だから
12. その他 ()
13. 特に思い当たることはない

問27 あなたが**地域活動**に参加していて**課題を感じる点**、または、**地域活動に参加しない・しづらい理由**として当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 時間的に余裕がない
2. 参加するきっかけが得にくい
3. 活動内容に関する情報が発信されていない
4. 身近に参加したいと思う活動や団体がない
5. 一緒に参加してくれる仲間がいない・少ない
6. 人間関係がわずらわしいことがある
7. 一度参加すると抜けられず、負担が大きくなる
8. 健康・体力に自信がなくなってきた
9. 家庭の事情で参加できない・しにくい
10. 活動参加に費用(会費等)がかかる
11. そもそも地域活動に興味がない
12. その他 ()
13. 特に課題などは感じない

問28 あなたの**世帯の状況**に当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 現在子育て中である（子どもは18歳までとします）
2. 介護サービスを利用している、または、利用が必要な方がいる
3. 現在福祉施設に入所している家族がいる
（子・父母・祖父母等の本人・配偶者の直系親族や生計を共にする兄弟姉妹の範囲で）
4. 障害福祉サービスを利用している、または、利用が必要な方がいる
5. 特に福祉サービスを利用していないが、日常的に見守りや配慮が必要な方がいる
6. 経済的な面で生活に困窮している
7. 特に当てはまることはない

問29 あなたは**家族の介護や子育てなどで悩んだ**としたら、**誰に相談**しますか。あなたが**最初に頼るものから順に3つまで選んで**ください。

1 番目（ ） 2 番目（ ） 3 番目（ ）

1. 行政や専門機関の相談窓口
2. 普段かかわりのある専門職の人（保育士、学校の先生、ケアマネジャー等の福祉職員など）
3. 民生委員・児童委員
4. 友人や、職場の知人など
5. 近所の人
6. 家族・親族
7. インターネット上で不特定の人に質問・相談する
8. 相談ではなくインターネットや書籍などで情報を得る
9. その他（)

問30 日常生活に困難を感じている近所の方へのお手伝いについて、あなたの活動状況や思いについて伺います。各項目について、あなたに当てはまるものをそれぞれ一つだけ選んで○をつけてください。

	現在お手伝いや 活動をしている	機会があれば 今後行ってもよい	できるが、 あまりやりたくない	できない 又は やりたくない
①買い物の手伝い	1	2	3	4
②お食事・お弁当づくり	1	2	3	4
③洗濯の手伝い	1	2	3	4
④部屋の掃除	1	2	3	4
⑤ゴミ出しや電球の取り換えなど些細なこと	1	2	3	4
⑥家具の移動などの力仕事	1	2	3	4
⑦通院や移動の付添い	1	2	3	4
⑧自動車で送迎する	1	2	3	4
⑨書類の説明や調べ物の手伝い	1	2	3	4
⑩声かけや安否確認・見守り	1	2	3	4
⑪その他	1	2		
内容 ()				

問31 あなたは自分の体が弱って、家事や育児等の日常生活に不具合が出てきたときに、家族や親戚の世話を受けられないとしたら、以下の事柄を誰に助けてもらいたいですか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

	近所の人 (身近な友人や 知人を含む)	ボランティア による手伝い	一般の 有料サービス	公的サービス	人に頼らない
①食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5
②食事の支度(弁当などの宅配を含む)	1	2	3	4	5
③洗濯・物干し・取入れ	1	2	3	4	5
④室内の掃除	1	2	3	4	5
⑤ゴミ出しや電球の取り換えなど些細なこと	1	2	3	4	5
⑥家具の移動などの力仕事	1	2	3	4	5
⑦通院や移動の付添い	1	2	3	4	5
⑧自動車での移動が必要な時の送迎	1	2	3	4	5
⑨書類を読んでもらったり調べ物をする	1	2	3	4	5
⑩定期的に様子を見に来てもらう	1	2	3	4	5

※一般の有料サービス：スーパーマーケットやインターネットなどの宅配サービス、ハウスクリーニング、タクシーなど、誰でも利用できる有料サービス。

※公的サービス：行政サービスや、社会福祉の制度に基づいて行われるサービス。専門職員によるサービスを低額で利用できるが、利用には手続きや要件を満たす必要がある。

問3 2 近隣での「見守り支援活動」に関する以下の問いにお答えください。

ここでいう「見守り支援活動」とは、一人暮らしの高齢者など、日常生活において気遣いや支援が必要な人について、地域の住民同士で声かけ・安否確認や日常生活のお手伝いを行う活動のことをいいます。

(1) あなたは「見守り支援活動」について、どのようなイメージを持っていますか。あなたの考えにもっとも近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 日常的に近隣の住民がみんなで互いに支え合うべき
2. 気遣いや支援が必要な人々の日常生活を特定の支援活動者が支えていくべき
3. 日常生活全般というよりは、防災や防犯など目的を限定した活動を行うべき
4. 人間関係やプライバシーの難しさがあるため、気の合う人で行えばよい
5. いままで考えたことがないのでわからない

(2) あなたの近隣で「見守り支援活動」を行うとしたら、どのような組織や体制が望ましいと考えますか。あなたの考えに近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 隣り合う5～10軒程度で協力して取り組む
2. 町内会・自治会やマンション管理組合等を基盤として活動グループをつくる
3. 町内会・自治会、地区社協、民生委員・児童委員、老人クラブ、PTA等の既存組織が連携して活動グループをつくる
4. 地域にある既存組織とは別に新たな活動組織（ボランティア団体、NPO）を立ち上げる
5. 公的機関や福祉施設が主体となって活動グループを運営する
6. その他（)

(3) 上記(2)で選択した組織・体制で「見守り支援活動」を行う場合、その組織に**自分や家族の個人情報(緊急連絡先など)を提供すること**についてあなたの考えに近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

※ 個人情報を得る際には、目的を明確にし、本人の同意を得ることを前提とします。

1. 個人情報の提供に特に抵抗感はない
2. 個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されれば個人情報を提供してよい
3. 個人情報取り扱いの管理体制や規則が整備されても個人情報の提供に抵抗感がある
⇒ 3.の場合の理由(複数回答可)
 1. 近隣の方に知られたくないことがある
 2. 過度に干渉される不安がある
 3. 情報の流出や悪用の恐れがある
 4. その他()

(4) あなたの近隣で「見守り支援活動」の一環として**日常生活上のお手伝い**(問30であげた各項目のようなこと)を実施する場合、**利用料金**についてどのようにするとよいと思いますか。あなたの考えに近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

※ 材料費や交通費等の実費は利用料金とは別に利用者が支払うものとします。

1. 無料にする(運営費は補助金等に頼る。活動者への謝礼は無し)
2. 1回のお手伝いにつき100~200円程度の最低限度の利用料を払ってもらい、受け取った料金は運営費にあて、活動者へ謝礼は渡さない
3. 1回のお手伝いにつき300~700円ぐらいの利用料を払ってもらい、受け取った料金の一部を活動者に謝礼として渡す

問33 あなたが日常生活を送っている**近隣の環境**について、不足していると感じることとして当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 子どもたちが自由に遊べる屋外の場所（公園など）
2. 小さな子どもを一時的に預かってくれる場所（一時保育など）
3. 子どもだけで安全に過ごせる場所（児童館など）
4. 運動やスポーツができる場所（運動公園、体育館など）
5. 近所の人たちが話し合いや交流をする場所（集会所など）
6. 学習や趣味の活動が行える場所（社会教育施設など）
7. 買い物などの外出の際に一休みするような場所（ベンチ、屋根のある休憩所など）
8. その他（ ）
9. 特にない

問34 あなたが**高齢期**になってそれまでの**仕事をリタイア**したあと、**近隣で就労**できるとしたらどのようなことをしたいですか。当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 農業関係（農作業、農産物の加工など）
2. 「食」に関わる仕事（食堂、配食サービスなど）
3. 子どもに関わる仕事（保育・子育て支援、学童保育など）
4. 福祉サービスに関する仕事（高齢者や障害者の施設・サービスにおける業務）
5. 日常生活の支援活動（問30の各項目のような活動）
6. 上記以外で自分の専門性や特技を活かした仕事（ ）
7. その他（ ）
8. 働きたいと思わない
9. わからない

問35 今後お住まいの地域で生活していくうえで、**公的な取り組みとして特に充実させたい**と思うことについて、当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 介護や福祉サービス
2. 医療サービス
3. 経済的な支援制度
4. 働く場の確保や就労支援
5. 高齢者向けの住宅や高齢者が暮らしやすい環境の整備
6. 子どもの教育や生活のための環境の整備
7. 事故や犯罪防止
8. 人権についての一般市民の理解の促進
9. 趣味活動や学習のための場や活動の推進
10. 健康づくりのための場や活動の推進
11. ボランティア活動や地域活動の推進
12. その他 ()
13. 特にない

問36 宮前区では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めているところです。あなたの「**地域包括ケアシステム**」の**理解度や行動**について、当てはまるものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 地域包括ケアシステムについて、理解していて、そのための行動をしている
2. 地域包括ケアシステムについて、理解しているが、そのための行動はしていない
3. 地域包括ケアシステムについて、聞いたことはあるが、意味はよく分からない
4. 地域包括ケアシステムについて、聞いたこともない

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉、生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組と地域づくりの取り組みのことです。

区民のお一人お一人に期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近所の方々との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあります。

【アンケートの結果について】

アンケートの結果は報告書としてまとめ、宮前区の地域づくりのための基礎資料として活用させていただきます。他の目的に使用することはありません。報告書は川崎市ホームページ (<http://www.city.kawasaki.jp/>) の宮前区のページに掲載を予定しています。

また、各大学において研究発表などに使用する予定です。その際には、個人情報特定されないよう十分配慮致します。

